

令和2年度
市政全般に関する市民意識調査
集計結果

安曇野市 政策部 政策経営課

目次

調査の概要	2
I あなたやご家族のことについて	3
II 安曇野市の行政に関すること（総合計画の施策分野ごと）	9
(1) いきいきと健康に暮らせるまちについて（健康・福祉分野）	9
(2) 魅力ある産業を維持・創造するまちについて（観光・農業分野）	26
(3) 安全・安心で快適なまちについて（景観・防災・住環境等の分野）	32
(4) 学び合い 人と文化を育むまちについて（教育・生涯学習・交流活動等）	37
III 安曇野市の行政に関すること（個別テーマ）	54
(1) 水道水について	54
(2) 食品ロスについて	57
(3) 人口減対策について	59
(4) 地域包括支援センターについて	66
設問別 その他の意見（自由記載）	68
調査票	86

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の意見等を把握し、社会情勢の変化や新たなニーズに対応した市政の推進を図ることを目的に実施しました。

2. 調査の概要

(1) 調査対象者

市内在住の18歳以上(令和3年3月1日時点)の市民2,000人(無作為抽出)

(2) 調査方法

郵送調査

(3) 調査期間

令和3年3月23日から4月9日まで

(4) 配布数

2,000件

(5) 有効回答者数

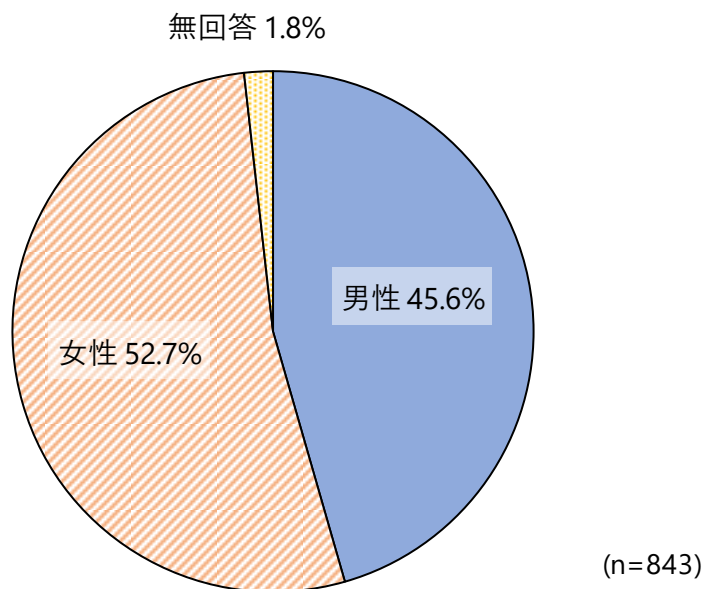
843件(回答率42.2%)

※前年度:817件(回答率40.9%)

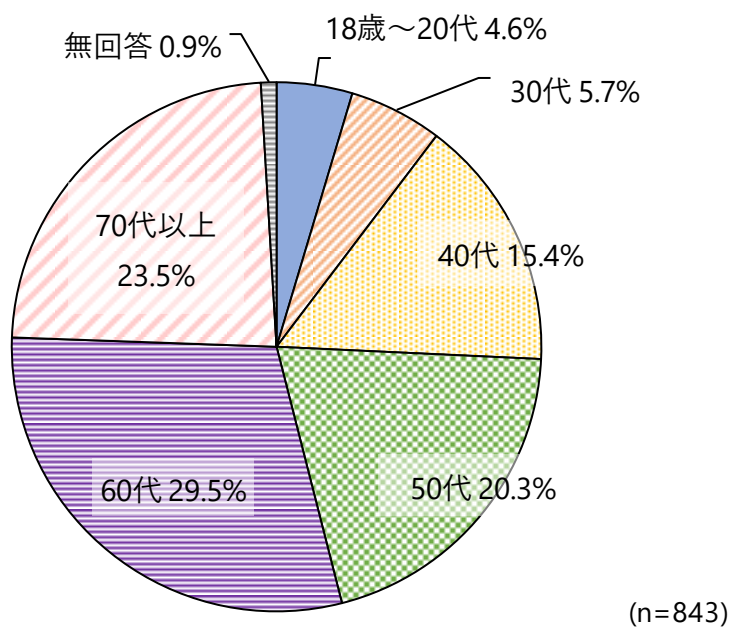
※パーセントは、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

I あなたやご家族のことについて

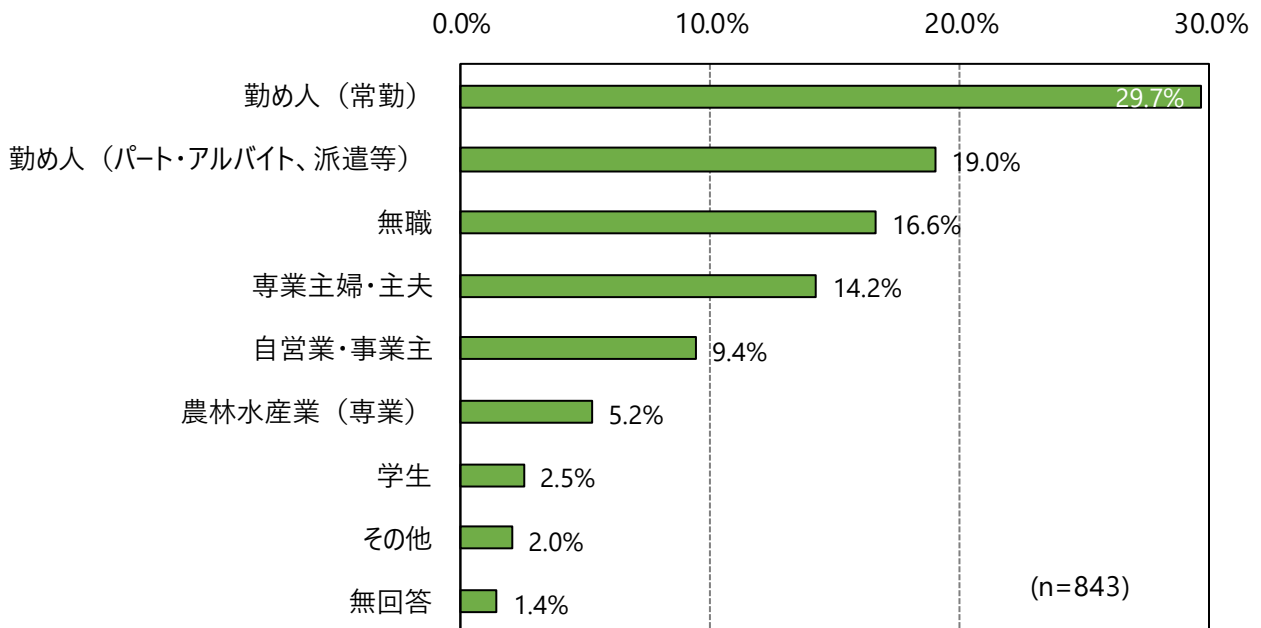
問1-1 あなたの性別をお答えください。(1つに〇)



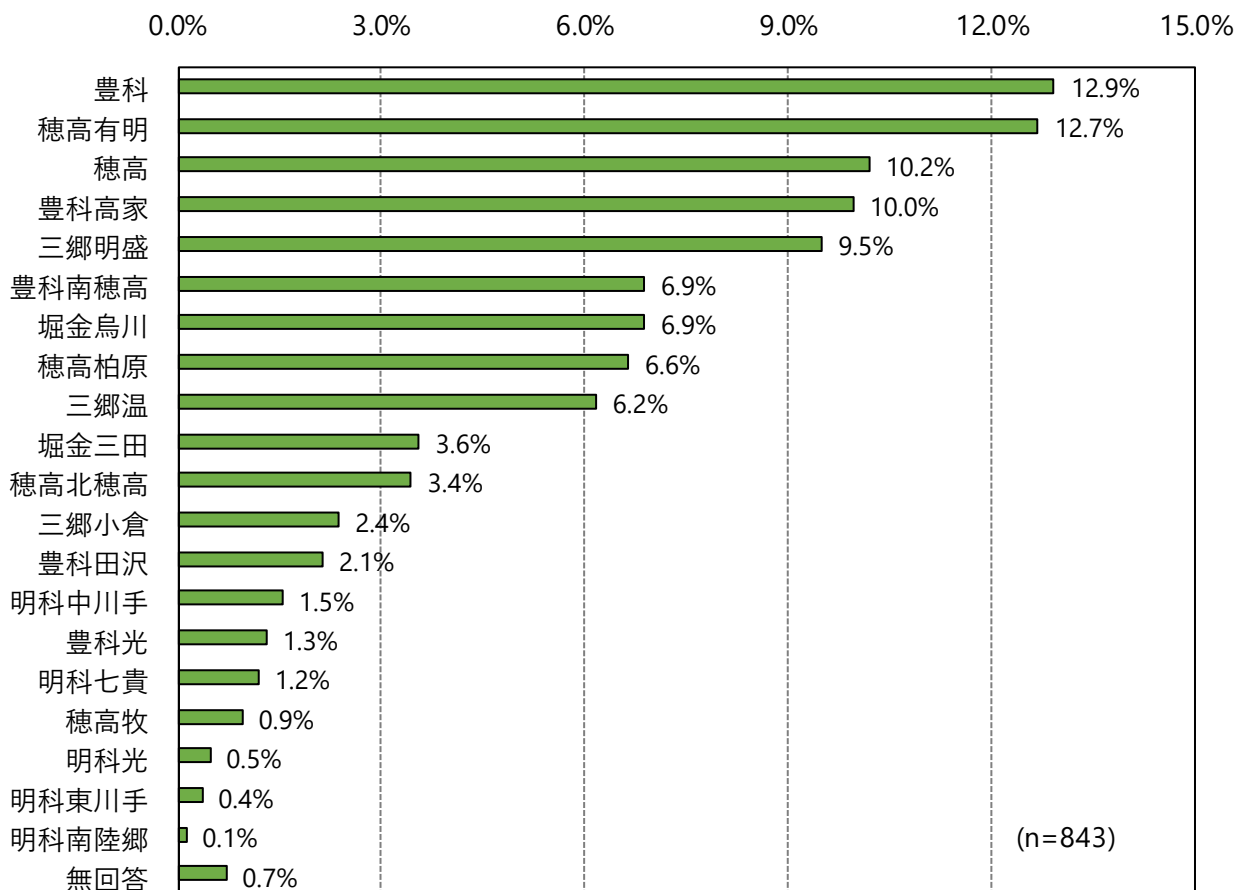
問1-2 あなたの年齢をお答えください。(1つに〇)



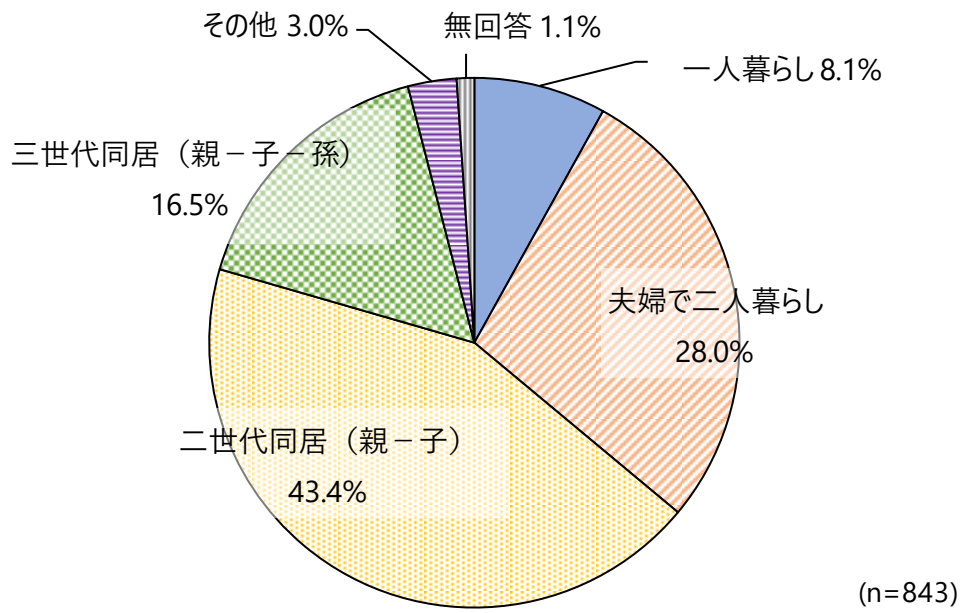
問1-3 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)



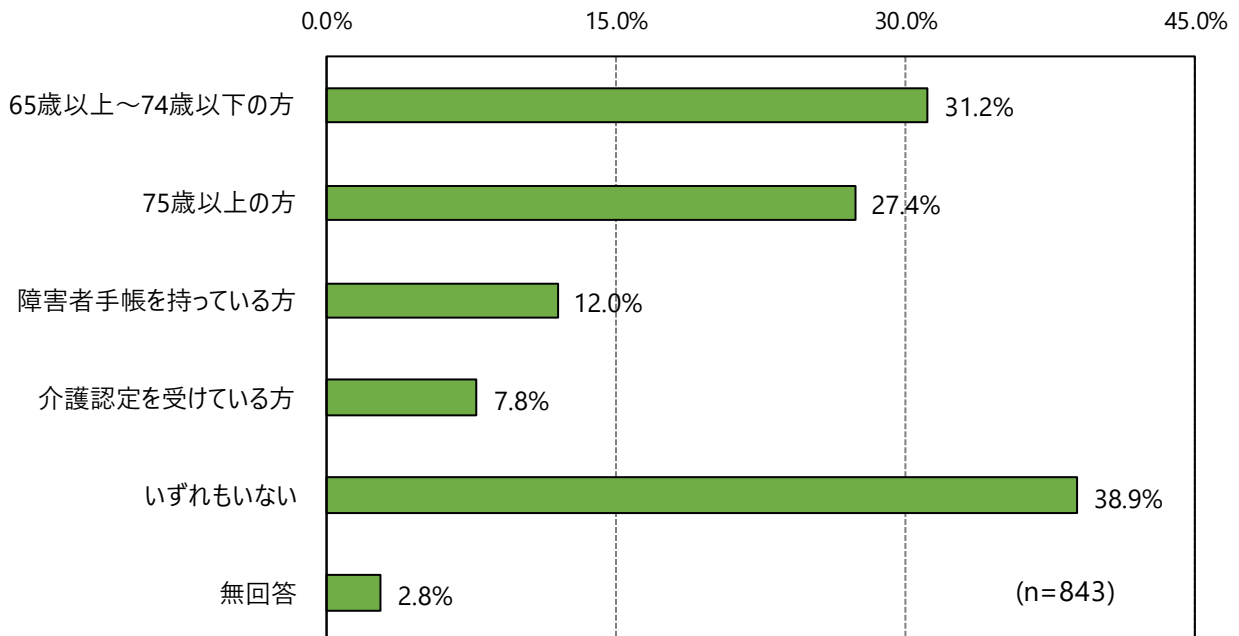
問1-4 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)



問1-5 世帯の状況をお答えください。(1つに○)

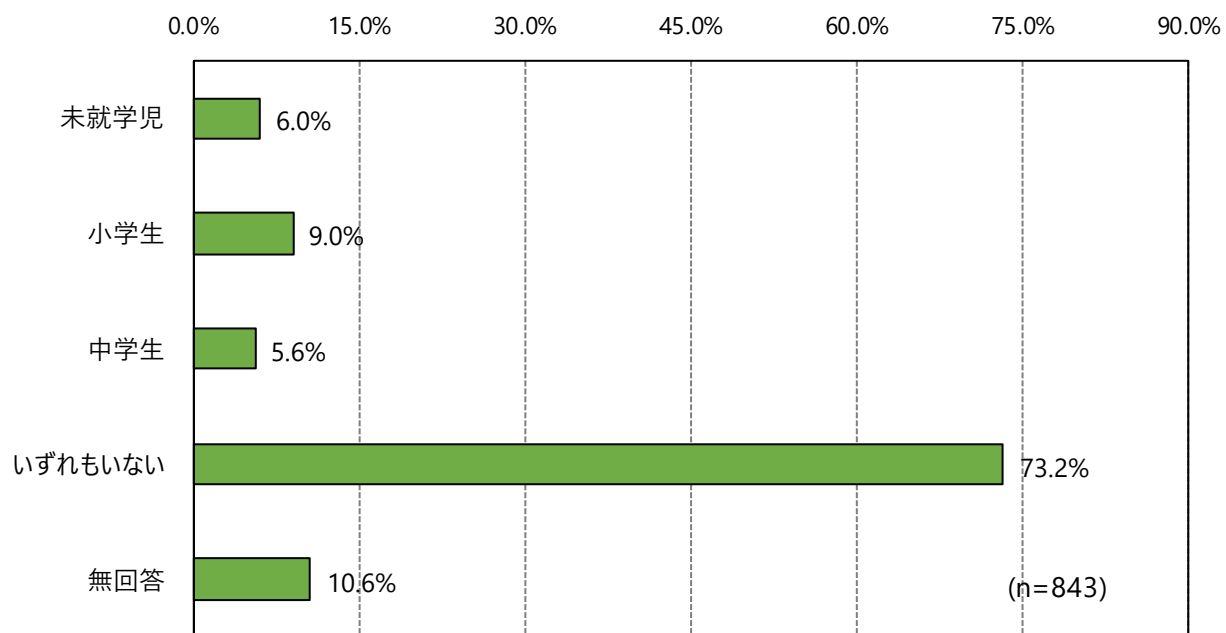


問1-6 あなたを含め、同居しているご家族の中に以下の方はおられますか。(○はいくつでも)

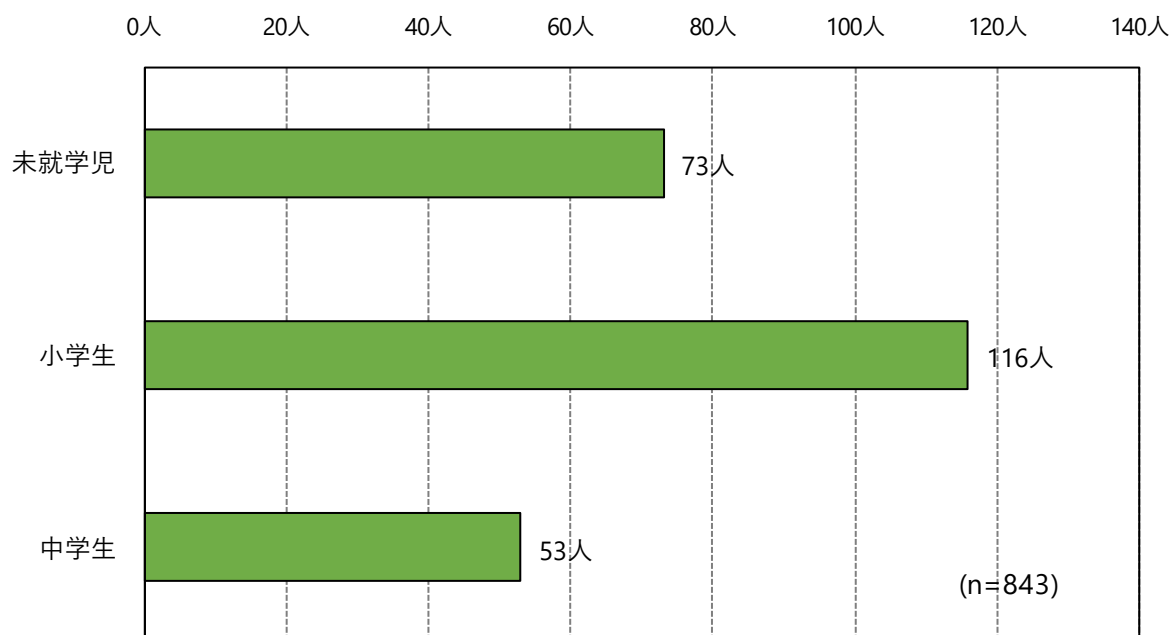


問1-7 令和3年4月1日時点で、同居しているあなたのお子さんに以下の方はおられますか。(〇は
いくつでも) また、その人数を記載してください。

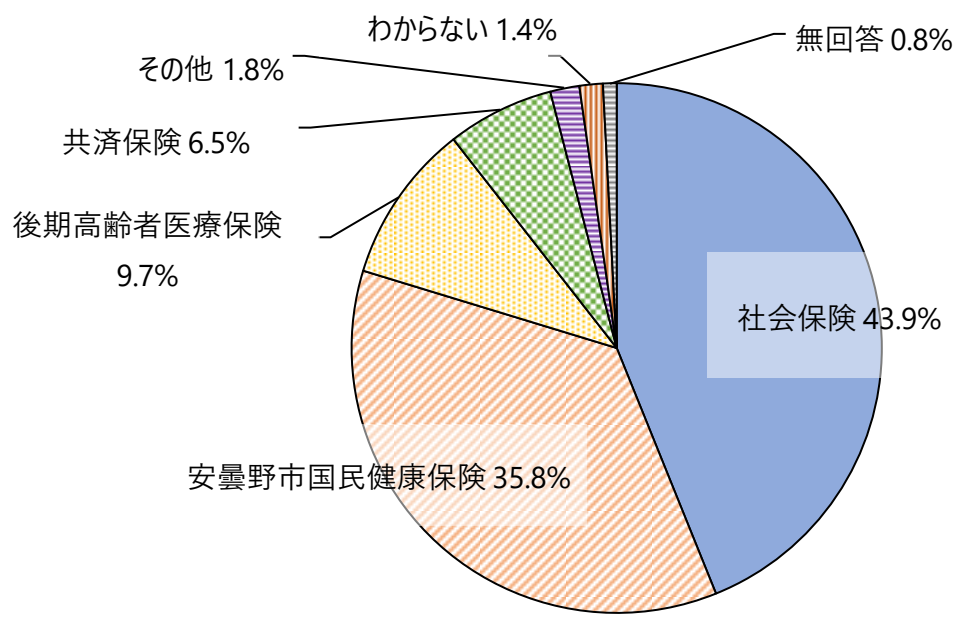
子どもがいる割合



子どもの人数



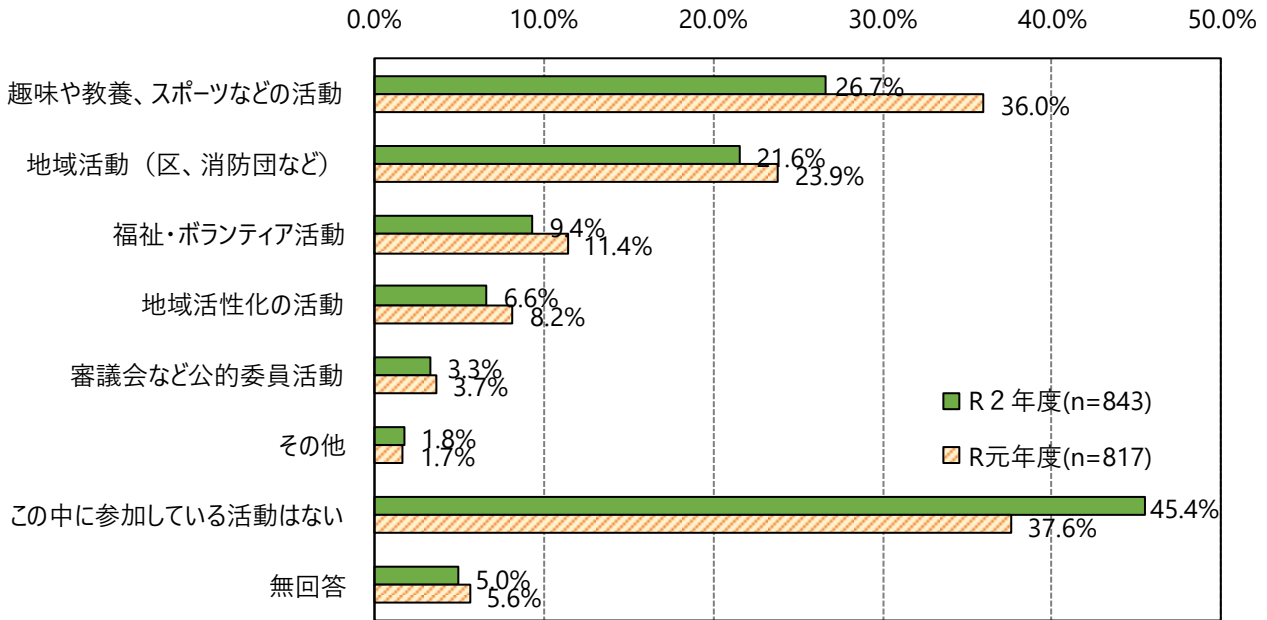
問1-8 あなたが加入している健康保険はどれですか。(1つに○)



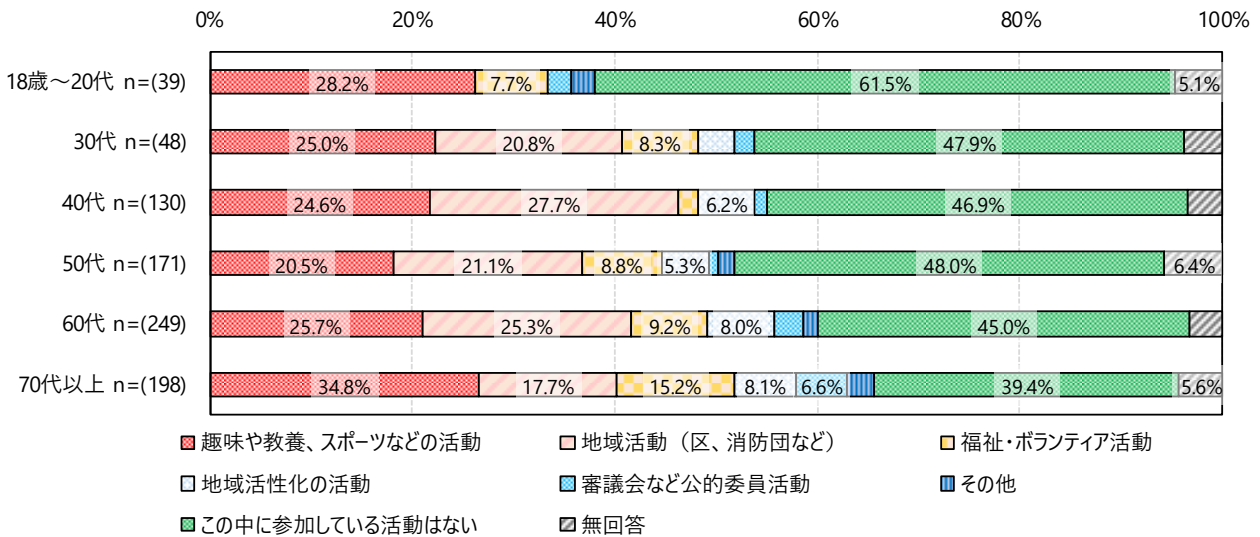
問1-9 あなたは、1年以内に以下の活動へ参加されましたか。(〇はいくつでも)

前年度と比較し、「その他」を除く全ての活動において参加率が下回っています。

年代別にみると、50代を除き、年代が上がるほど参加率が高まる傾向がみられます。



年代別



II 安曇野市の行政に関すること（総合計画の施策分野ごと）

（1）いきいきと健康に暮らせるまちについて（健康・福祉分野）

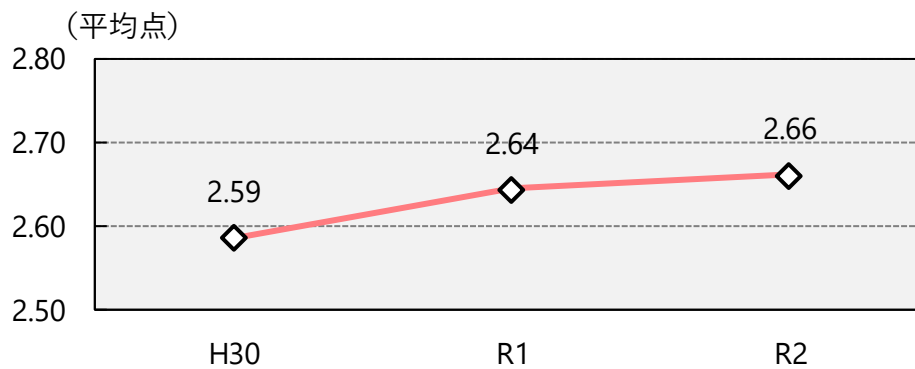
あなたは、次の市の取組状況についてどのように感じていますか。

※満足=4点、やや満足=3点、やや不満=2点、不満=1点として、満足度の推移を数値化しています。

1. 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている

3年間を通して、満足度が上昇しています。

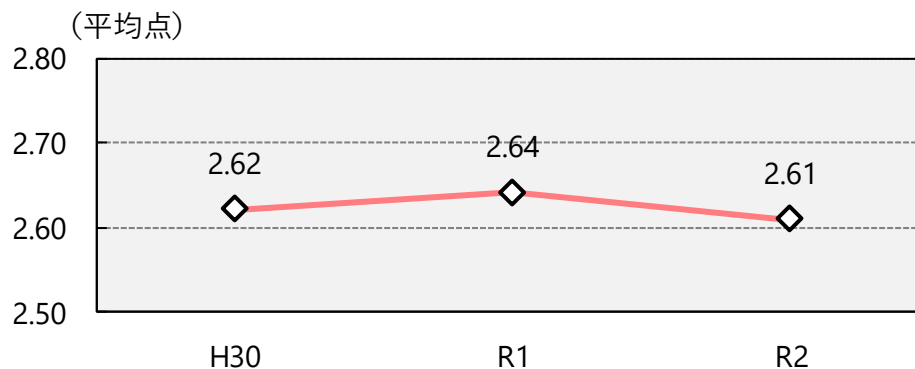
	満足4点	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	73	237	143	74	242	30	799
R1	93	250	143	75	229	27	817
R2	91	250	124	75	282	21	843



2. 地産地消や家族での食事を推進するなど、食育が行われている

3年間を通して、ほぼ横ばいで推移しています。

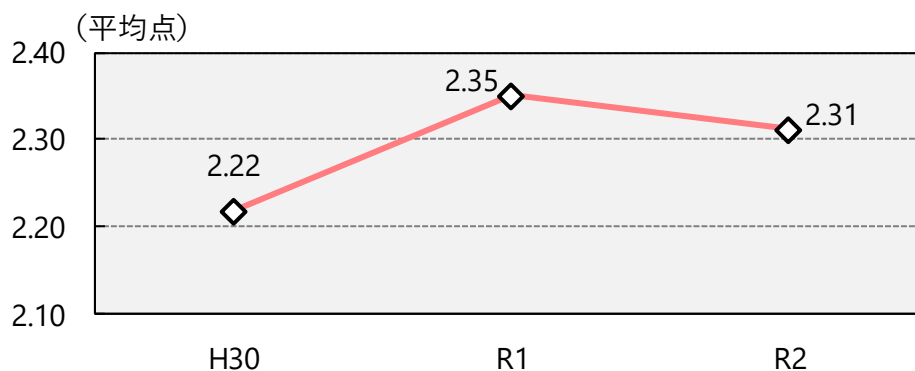
	満足4点	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	65	231	128	60	279	36	799
R1	88	238	148	67	253	23	817
R2	64	235	127	64	337	16	843



3. 高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている

前年と比べるとやや低下していますが、前々年と比べると増加しています。

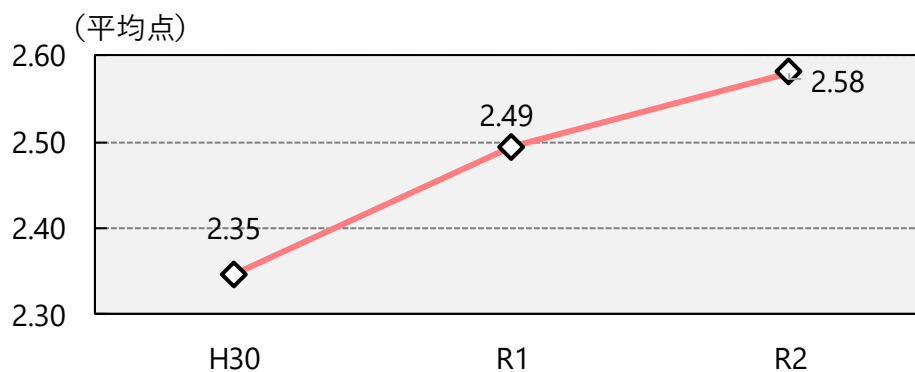
	満足4点	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	41	163	183	132	251	29	799
R1	56	193	190	112	248	18	817
R2	56	172	200	115	286	14	843



4. 高齢者が住み慣れた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている

3年間を通して、満足度が大きく上昇しています。

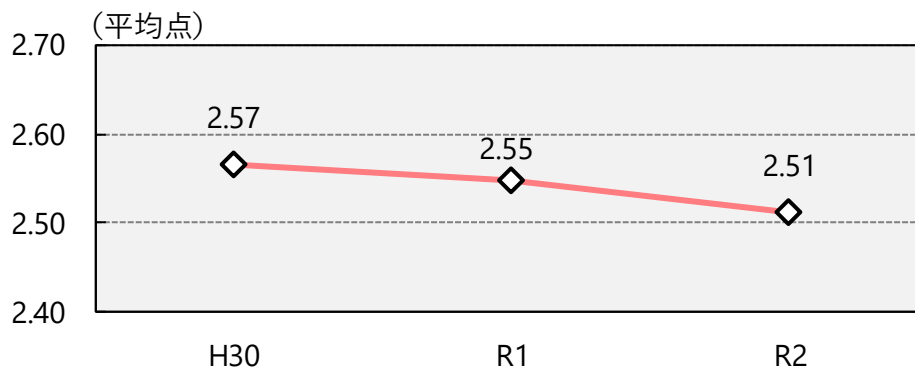
	満足4点	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	47	189	158	109	267	29	799
R1	64	206	167	79	276	25	817
R2	79	234	150	78	291	11	843



5. 出産・子育てしやすい地域である

3年間を通して、満足度が低下傾向にあります。

	満足4点	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	62	227	132	72	260	46	799
R1	69	219	143	78	224	84	817
R2	66	219	134	90	309	25	843



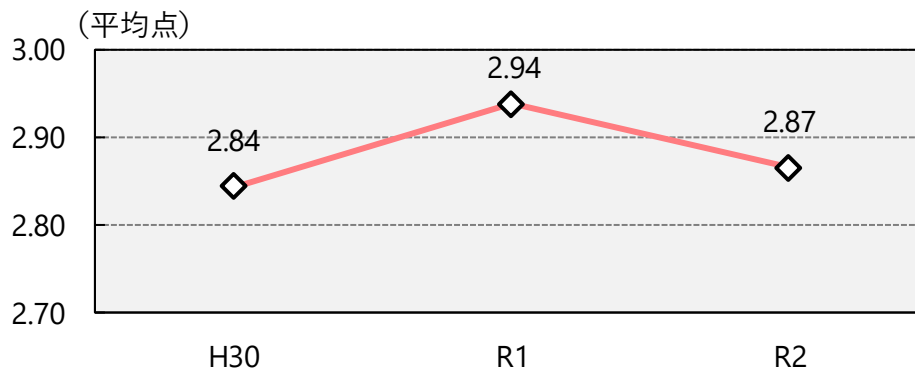
あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。(行動)

※積極的に取り組んでいる=4点、まあまあ取り組んでいる=3点、あまり取り組んでいない=2点、取り組んでいない=1点として、取り組み状況の推移を数値化しています。

6. 日常的な健康づくりをしている(検診・食事・運動・ストレス解消など)

前年に比べて、低下傾向にあります。

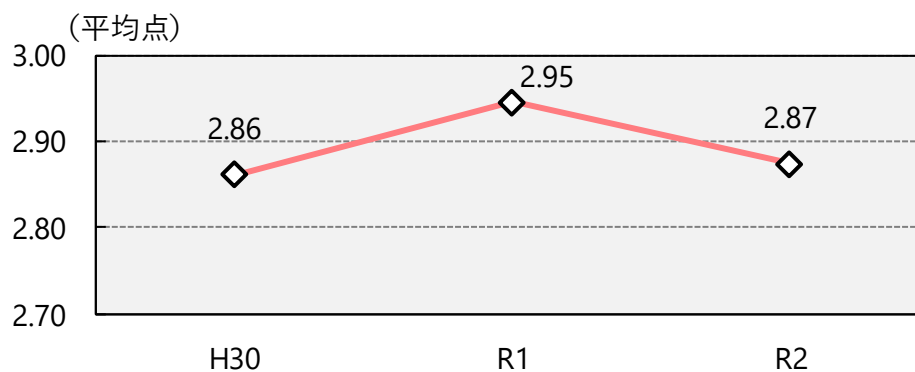
	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	160	410	158	63	8	799
R1	203	397	165	44	8	817
R2	181	421	180	57	4	843



7. 食の大切さを理解し、健全な食を実践したり、地産地消を心がけている

前年に比べて、低下傾向にあります。

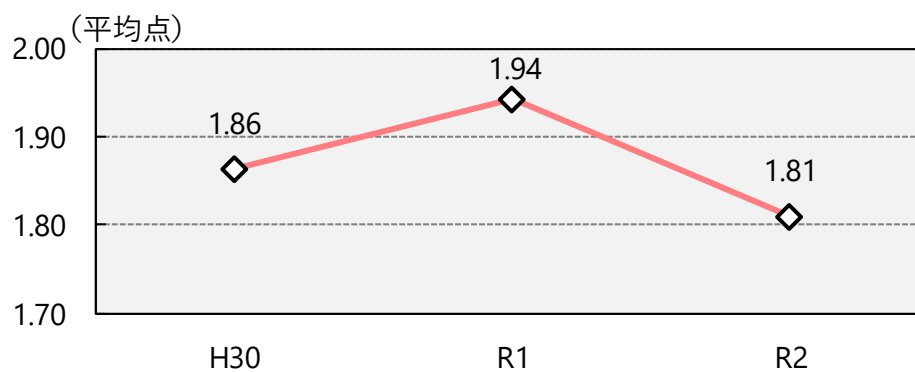
	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	160	414	163	53	9	799
R1	175	445	151	34	12	817
R2	180	426	175	55	7	843



8. 子育て家庭へのサポートをしている

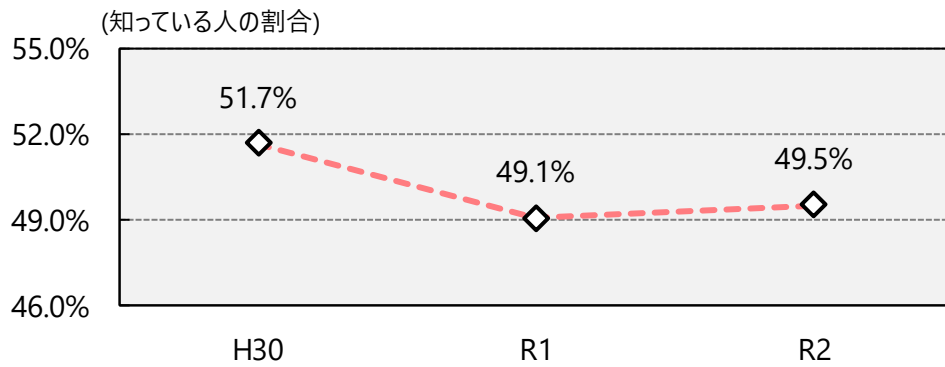
前年、前々年に比べて、低下傾向にあります。

	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	57	166	146	383	47	799
R1	83	172	155	384	23	817
R2	69	150	150	443	31	843

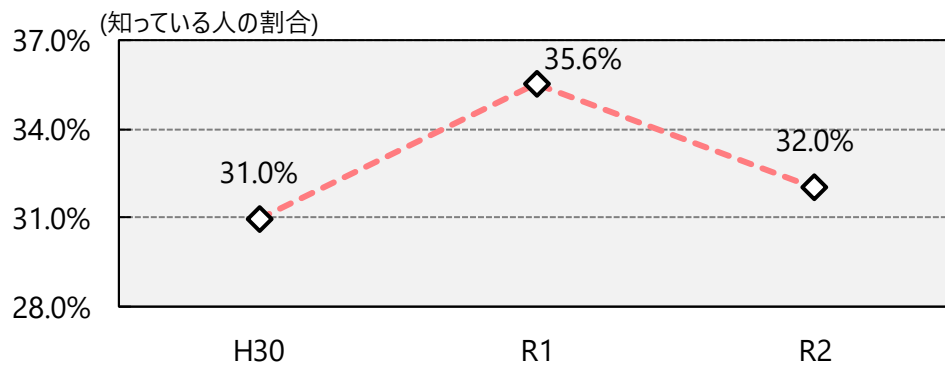


あなたは、次のことを知っていますか。(認知度)

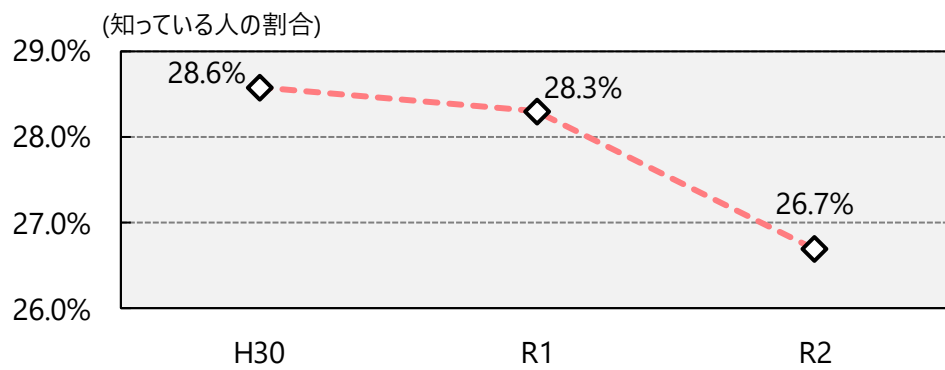
9. ストレスや悩みを抱えたときに市や各種機関で相談ができること



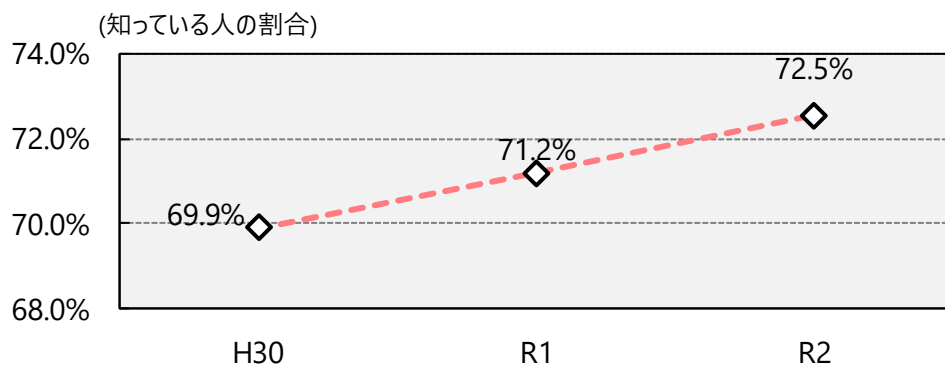
10. 安曇野市で歯科口腔保健条例を制定し、市民の歯と口腔の健康づくりに取り組んでいること



11. 安曇野市の全公立認定こども園が信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度で認定を受けていること



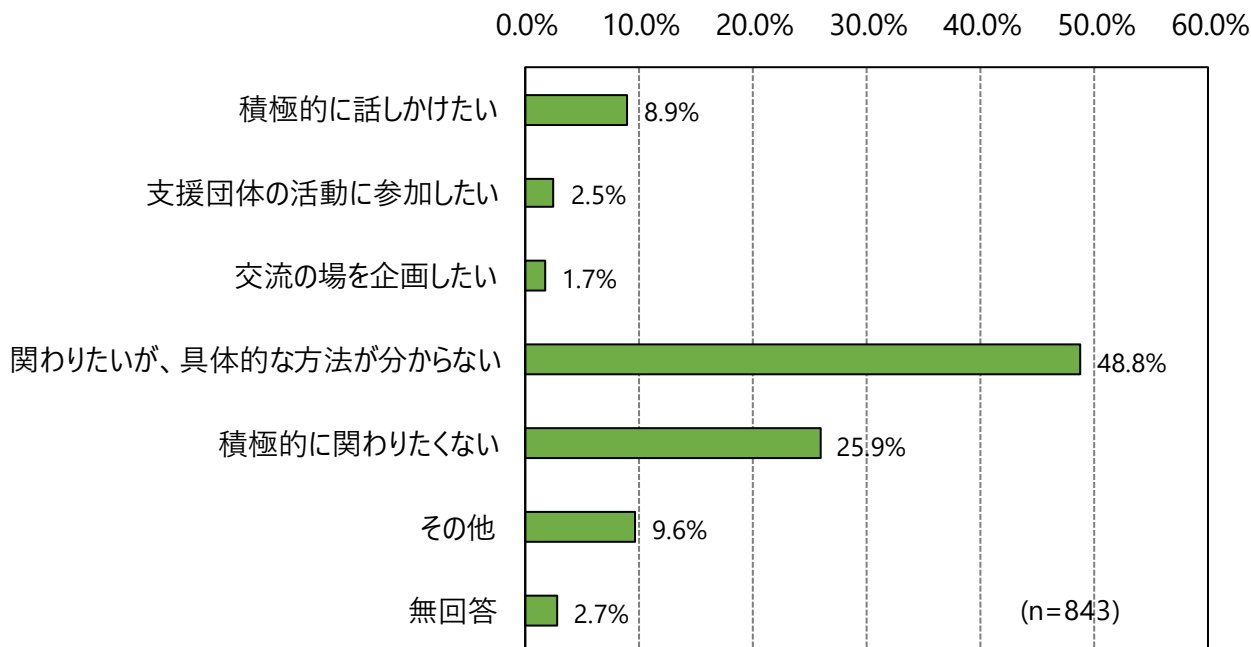
12. 『男女共同参画』という言葉



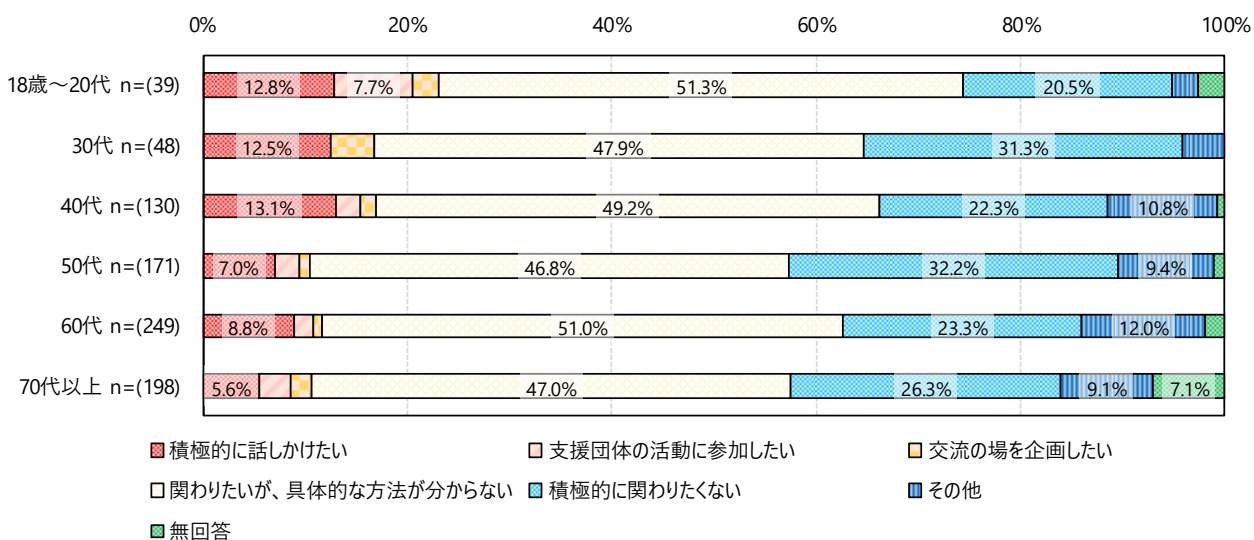
問1-13 外国籍市民に対して、あなたはどのよう関わりたいですか。(1つに〇)

「積極的に話しかけたい」、「支援団体の活動に参加したい」、「交流の場を企画したい」、「関わりたいが、具体的な方法がわからない」と回答した人は、61.9%となっている一方で、「関わりたいが、具体的な方法がわからない」と回答した人は48.8%に上り、支援や交流の機会提供が課題であるといえます。

年齢別にみると、「積極的に話しかけたい」と回答した人の割合は、40代以下で高い傾向がみられます。

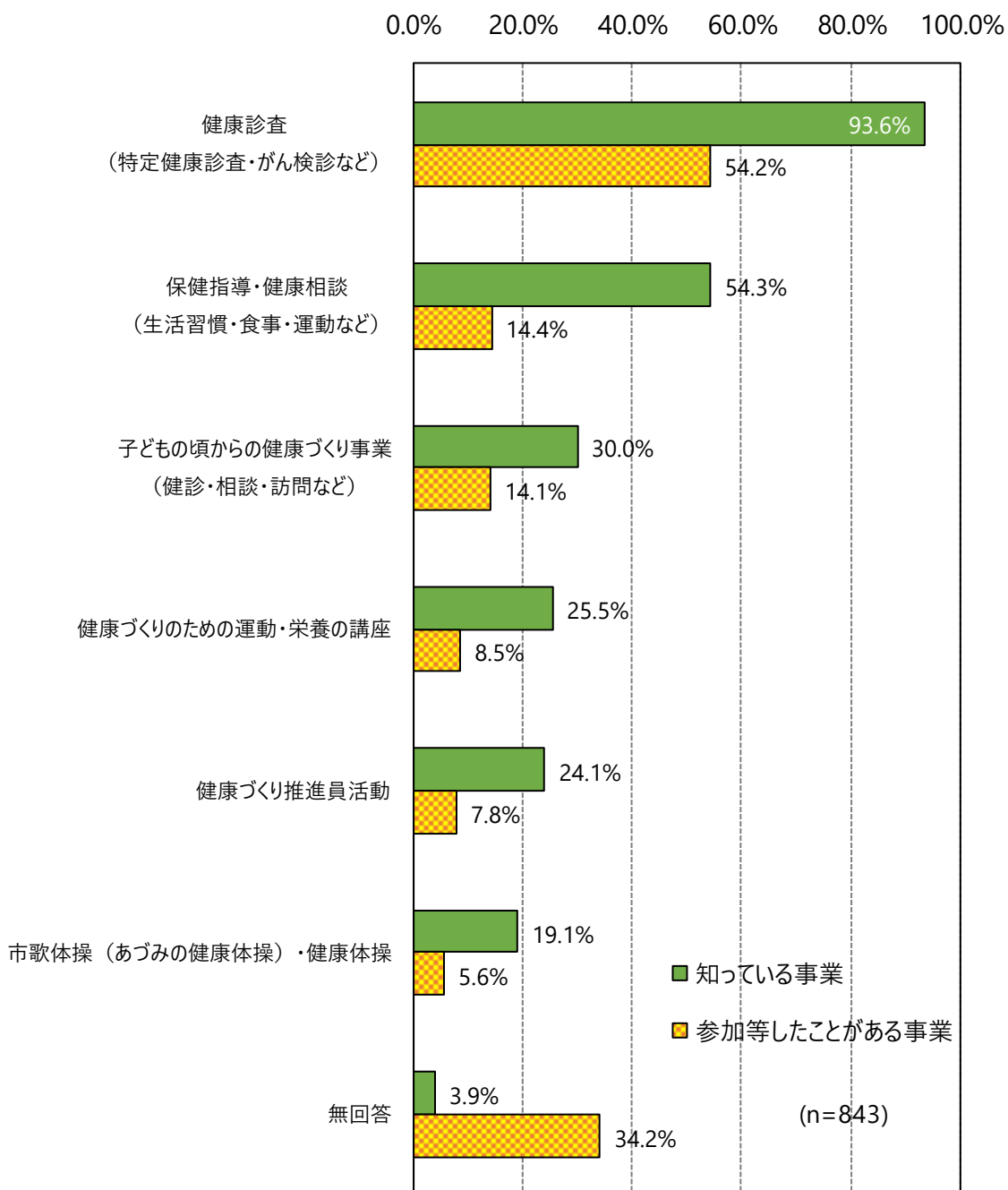


年代別



問1-14 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で知っているものはどれですか。(〇は
いくつでも)

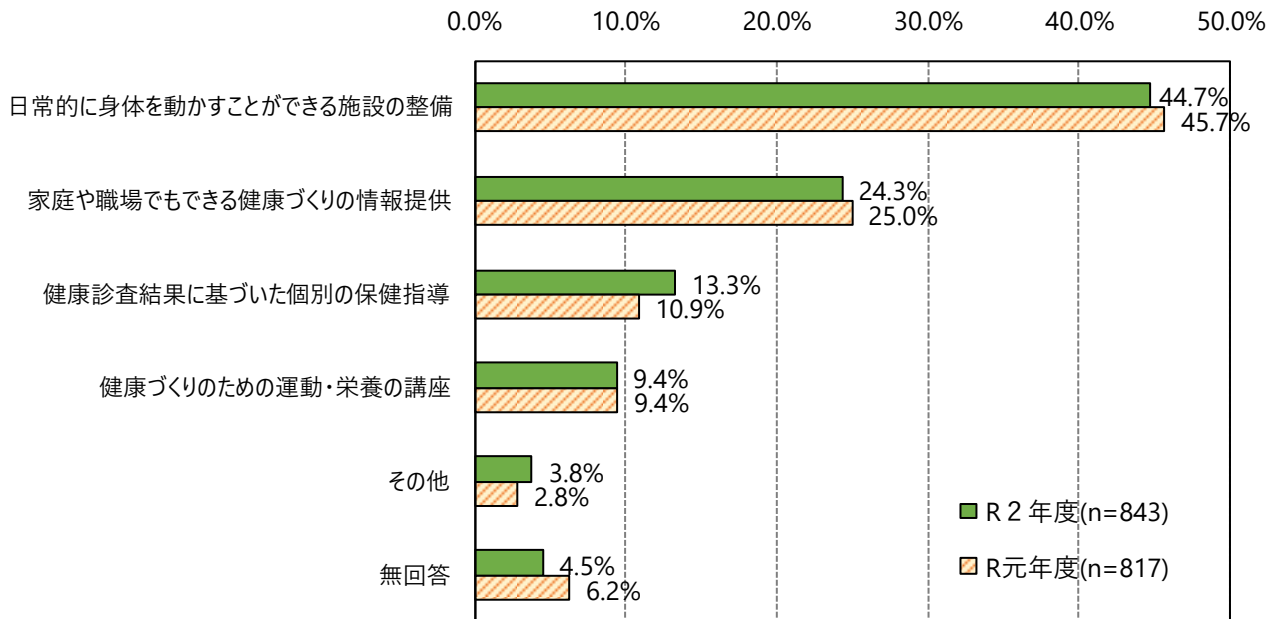
問1-15 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で参加(受診等)したことがあるものは
ありますか。(〇はいくつでも)



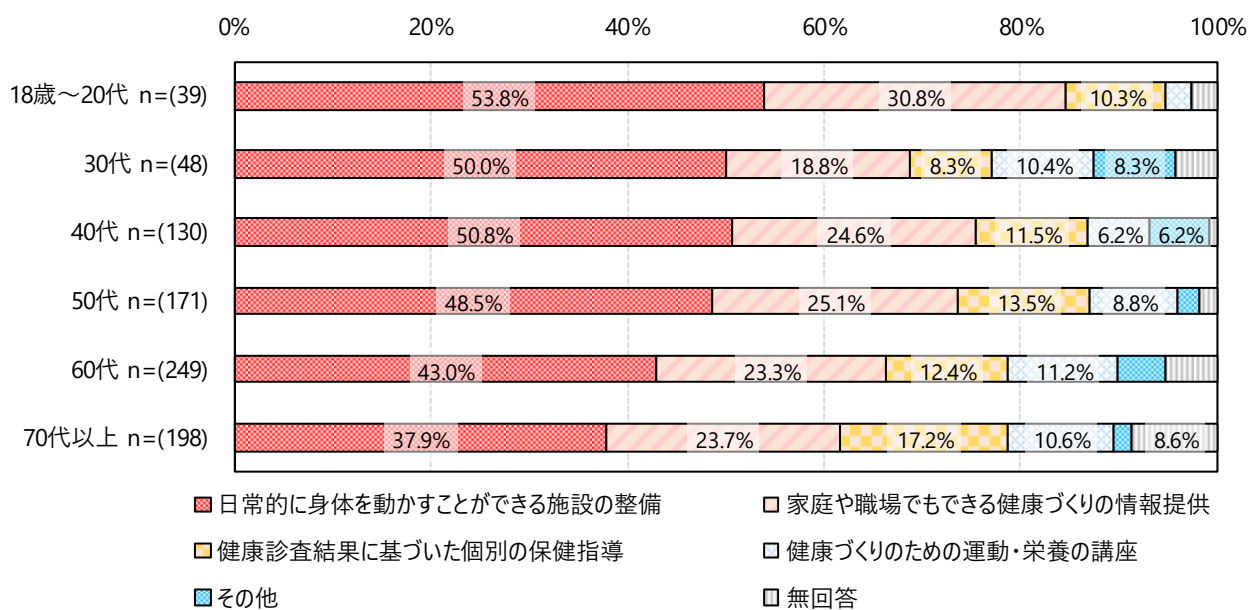
問1-16 あなたは、市民の健康をサポートするため、市はどのような取組を行うべきとお考えですか。
(1つに〇)

「日常的に身体を動かすことができる施設の整備」と回答した人の割合は 50%近くを占めており、次いで「家庭や職場でもできる健康づくりの情報提供」が約 25%を占めています。

年代別にみると、若い年代ほど「日常的に身体を動かすことができる施設の整備」を望む割合が高まる傾向がみられます。

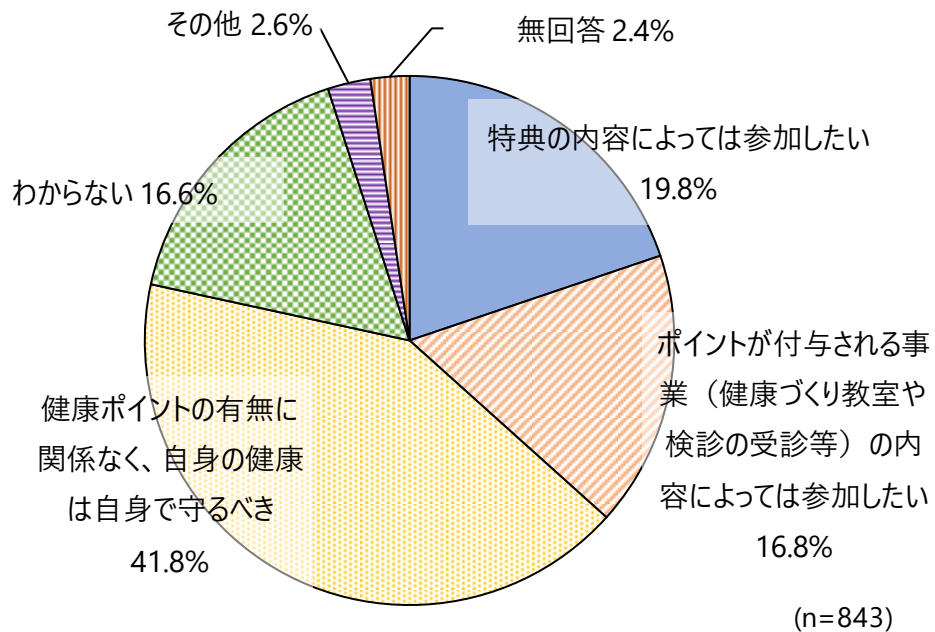


年代別

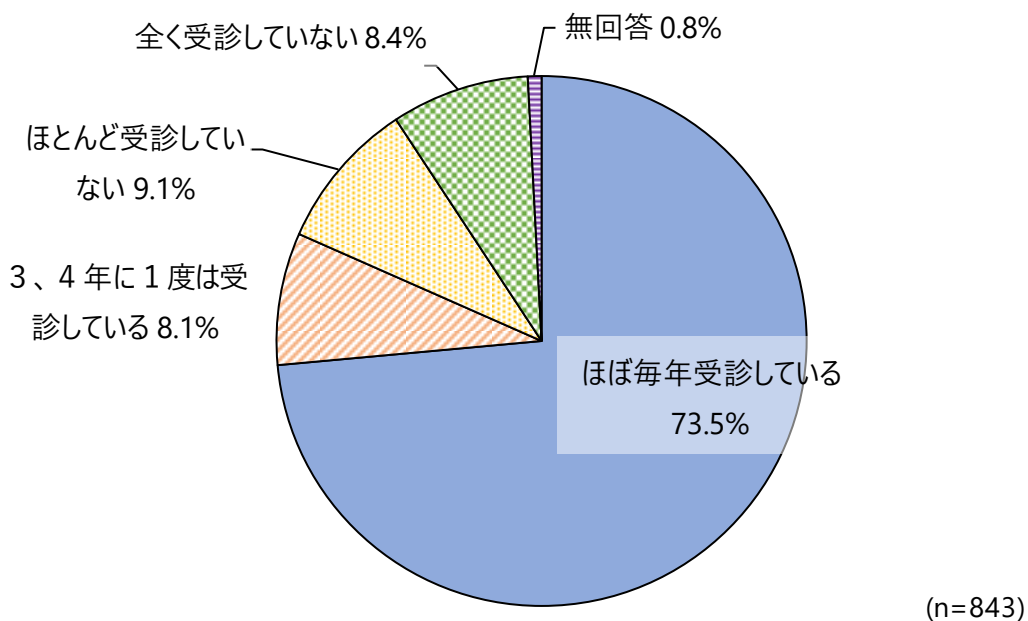


問1-17 近年、日々の健康づくりの活動（ウォーキングや健康づくり教室への参加、検診の受診など）にポイントを付与し、獲得ポイントにより特典が得られる「健康ポイント制度」を行う自治体が増えています。あなたは、健康ポイント制度についてどのようにお考えですか。（1つに○）

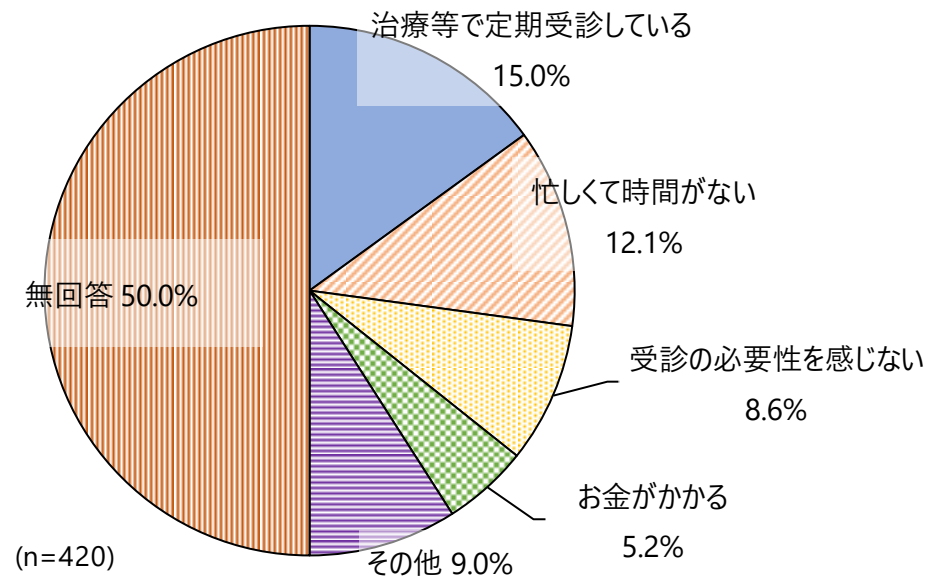
「特典の内容によっては参加したい」、「ポイントが付与される事業（健康づくり教室や検診の受診等）の内容によっては参加したい」と回答した人を合わせた割合が 36.6%であるのに対し、「健康ポイントの有無に関係なく、自身の健康は自身で守るべき」と回答した人の割合は 41.8%と上回っています。



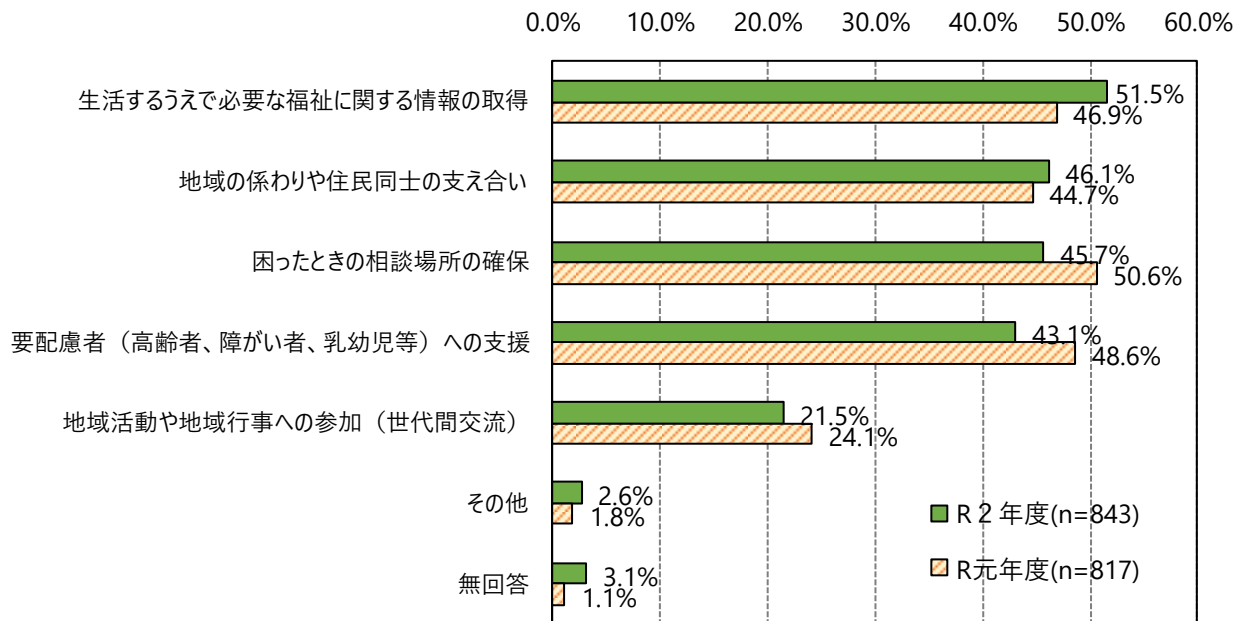
問1-18 あなたは、健康診査（特定健康診査やがん検診など）を受診していますか。（1つに○）



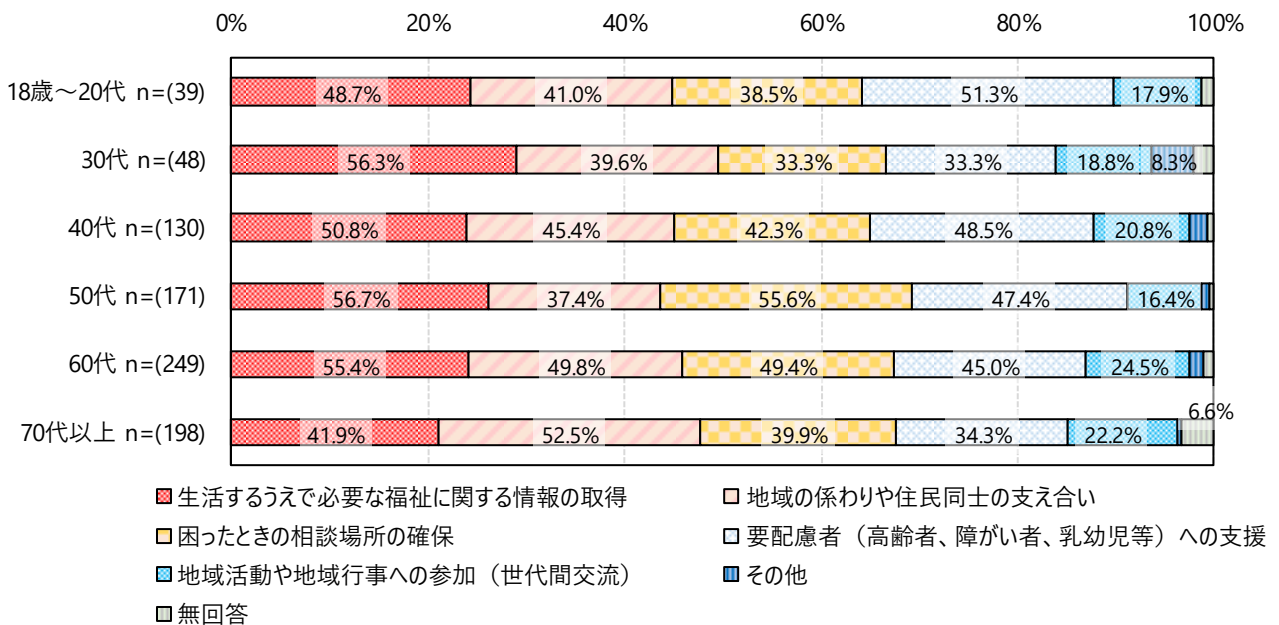
問1-19 問1-18で「2. 3、4年に1度は受診している」「3. ほとんど受診していない」「4. 全く受診していない」を選んだ方にお伺いします。あなたが、健康診断をほぼ毎年受診しない理由は何ですか。(1つに○)



問1-20 あなたが、地域で生活するために（地域福祉の推進に）必要だと感じることはなんですか。（〇はいくつでも）



年代別

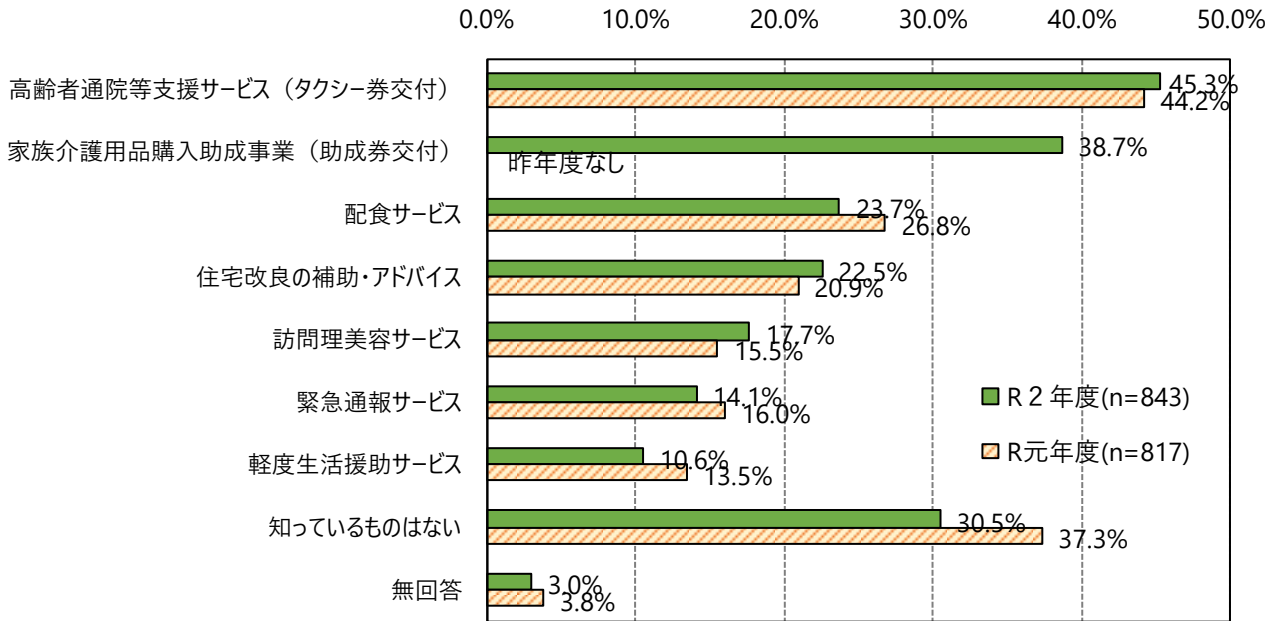


問1-21 市が実施している高齢者福祉事業で、あなたが、知っているものはどれですか

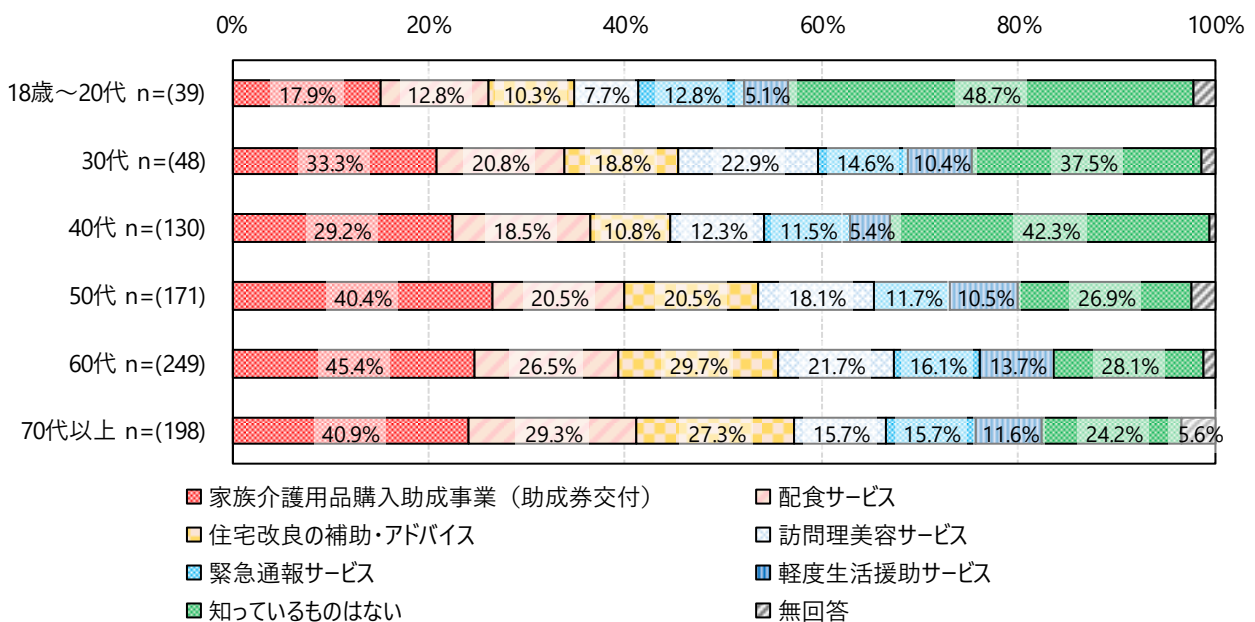
【①在宅高齢者福祉サービス】(〇はいくつでも)

「高齢者通院等支援サービス(タクシー券交付)」の認知率が45.3%と最も高く、次いで「家族介護用品購入助成事業(介護用品購入助成券交付)」が38.7%、「配食サービス」が23.7%と続きます。

年代別にみると、50代以上ではサービスの認知率が高い一方で、40代以下の認知率は低い傾向にあります。

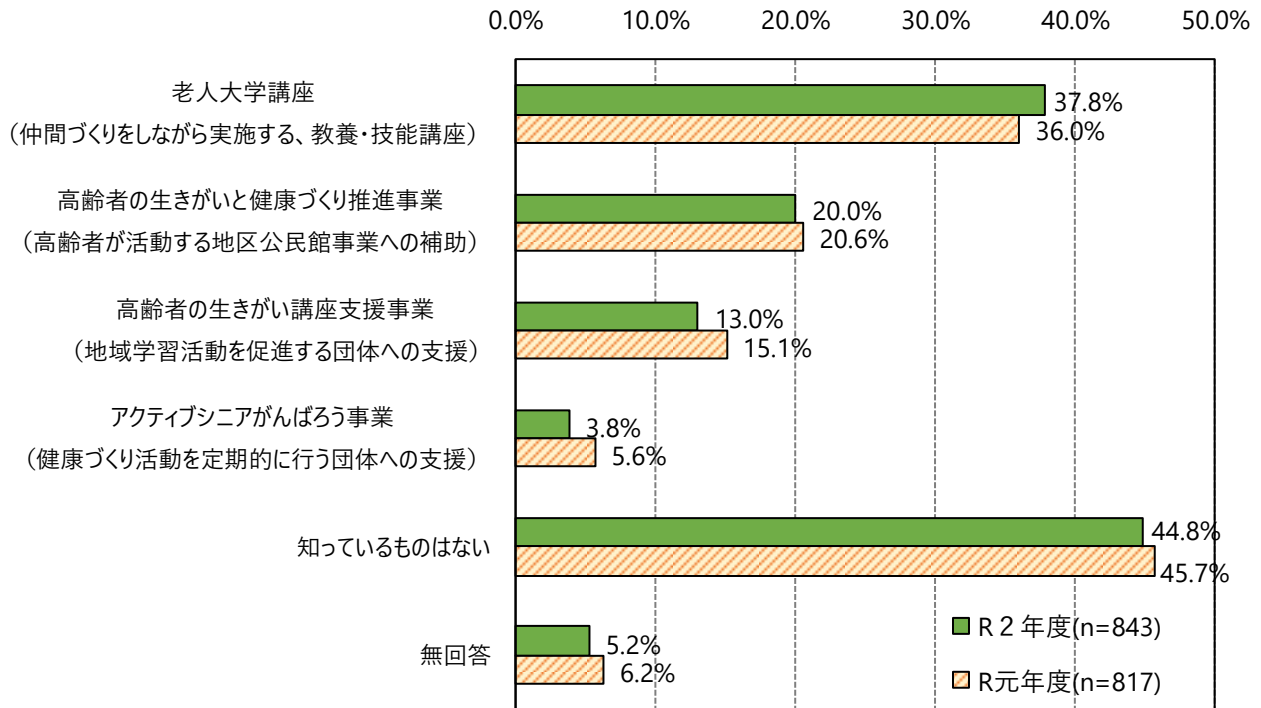


年代別

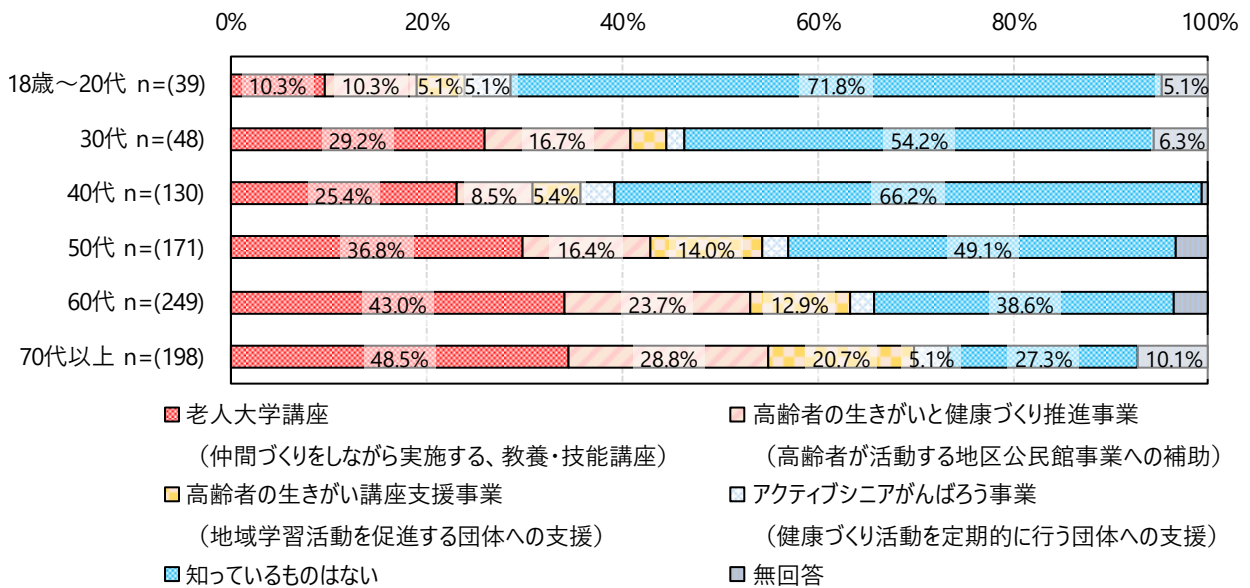


【②高齢者の生きがいづくり支援サービス】(〇はいくつでも)

前年に引き続き、「老人大学講座」の認知率が37.8%と最も高くなっています。
 年齢別にみると、「アクティブシニアがんばろう事業」は、全年代において認知率が低くなっています。

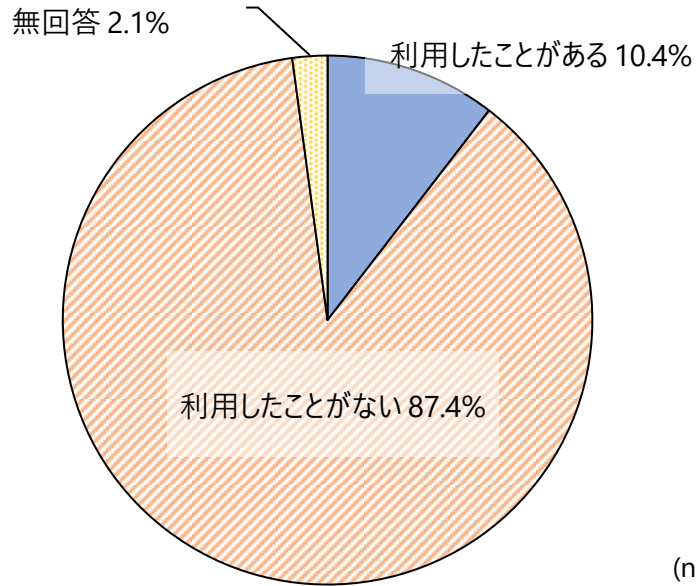


年代別

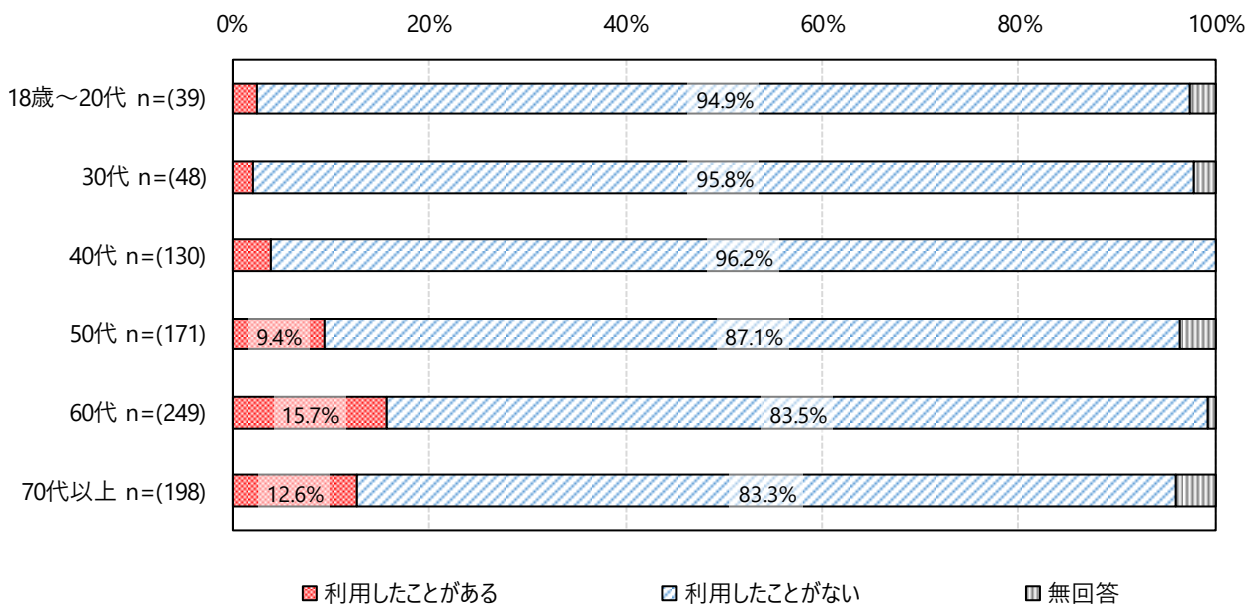


現在、市では、要介護度3以上の高齢者等を在宅で介護している方に対し、紙おむつなどの介護用品を購入する際に利用できる助成券を交付する家族介護用品購入助成事業を行っています。

問1-22 あなたは、この事業を利用したことがありますか。

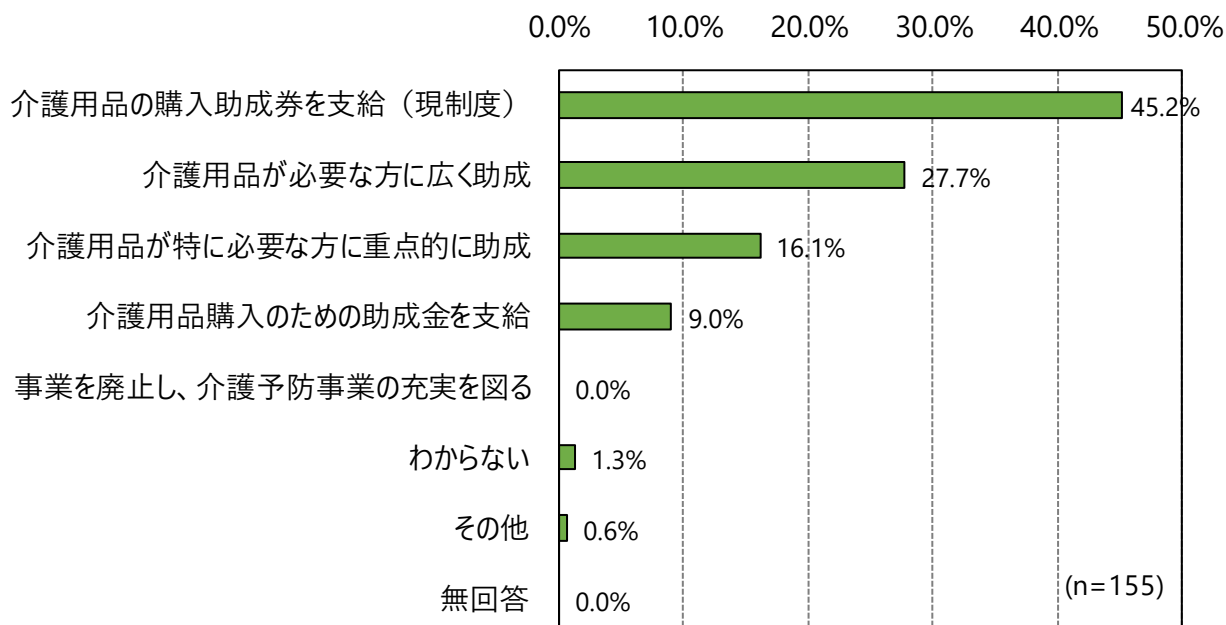


年代別



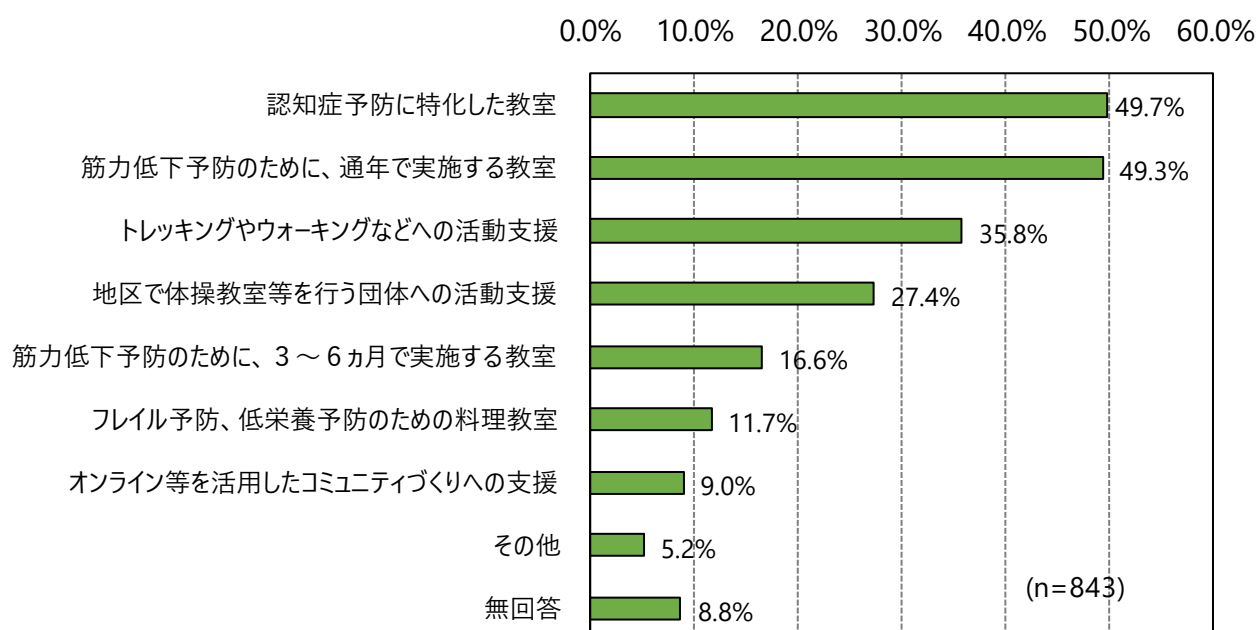
問1-23 問1-22で「1. 利用したことがある」を選んだ方にお伺いします。あなたは、この事業について今後どうすることが適切だと思いますか。（特に当てはまるもの3つまで○）

「介護用品の購入助成券を支給（現制度）」と回答した人が45.2%と最も多く、次いで「介護用品が必要な方に広く助成」が27.7%、「介護用品が特に必要な方に重点的に助成」が16.1%と続きます。



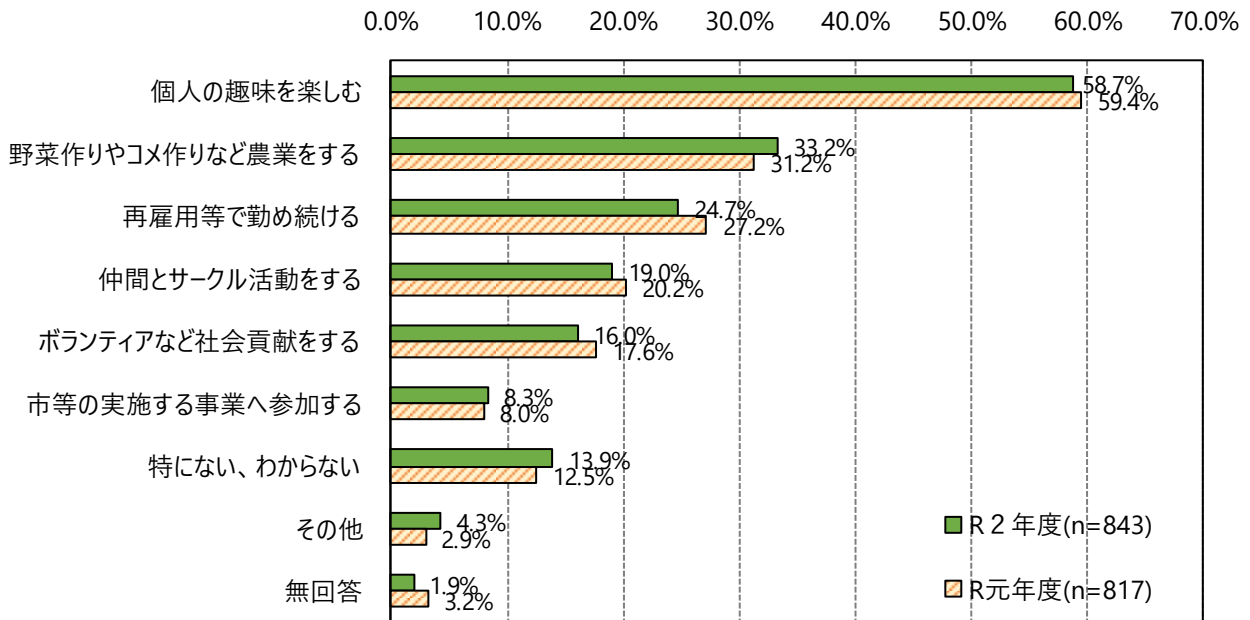
問1-24 市では、高齢者の方に介護予防事業を実施していますが、あなたは、介護予防事業の充実には何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

回答者の約50%が、「認知症予防に特化した教室」、「筋力低下予防のために、通年で実施する教室」の2項目を選択しています。

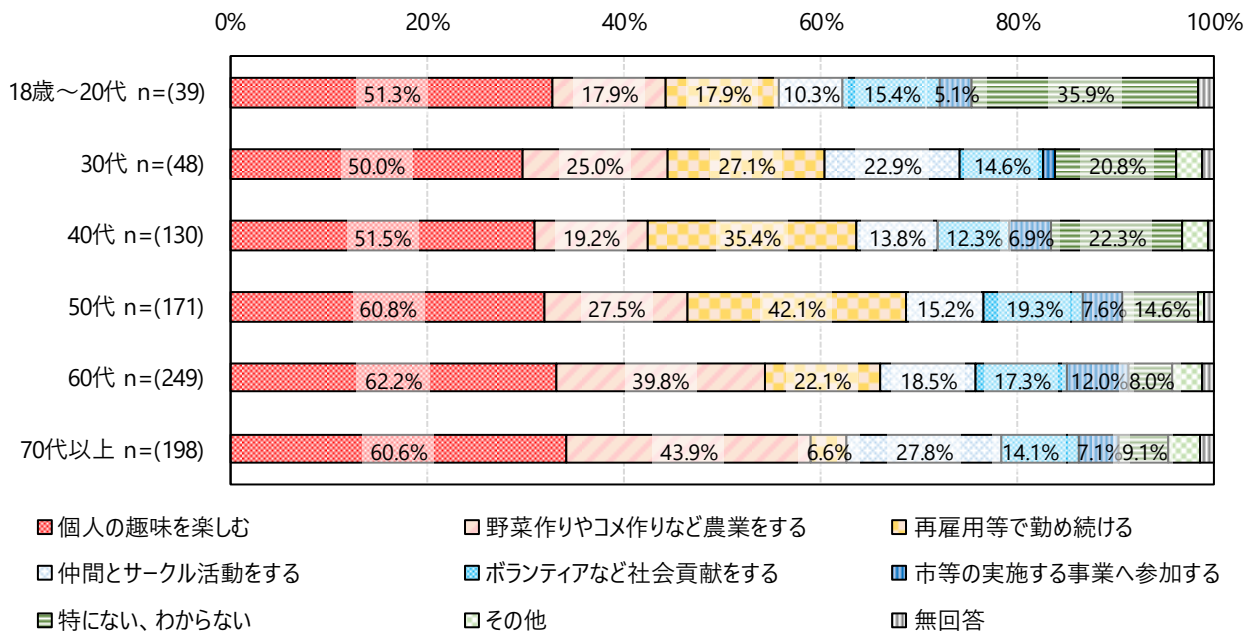


問1-25 あなたは、今の仕事を辞めたあと、やりたいことはありますか。また、既に辞められている方は、どのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

「個人の趣味を楽しむ」が 58.7%と最も回答が多く、次いで「野菜作りやコメ作りなど農業をする」が 33.2%、「再雇用等で勤め続ける」が 24.7%と続きます。



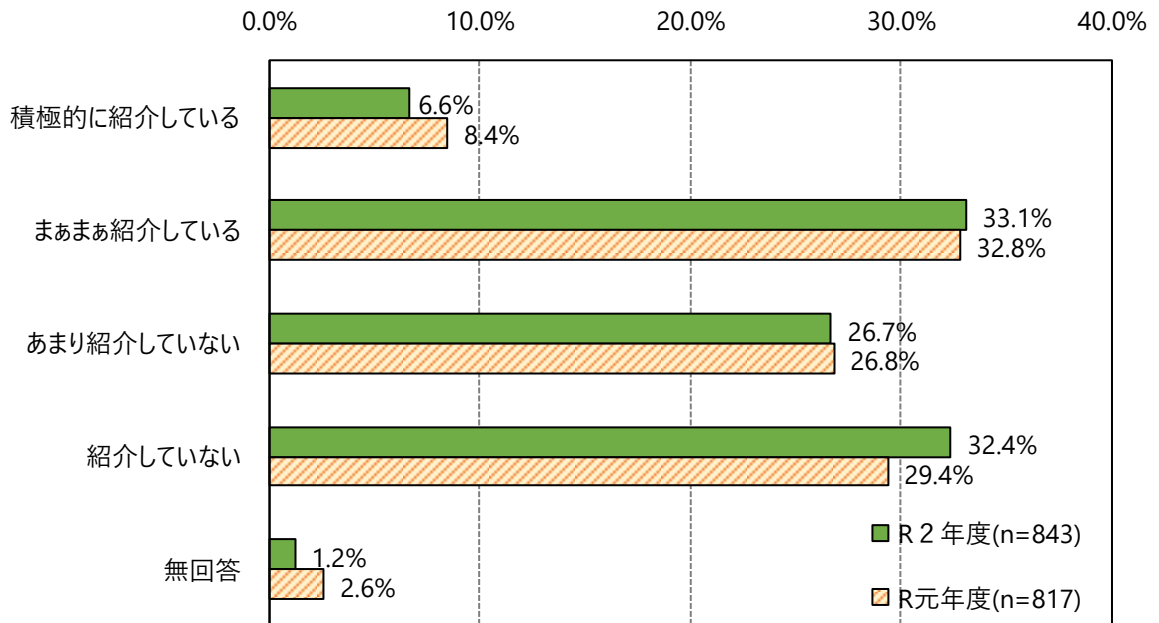
年代別



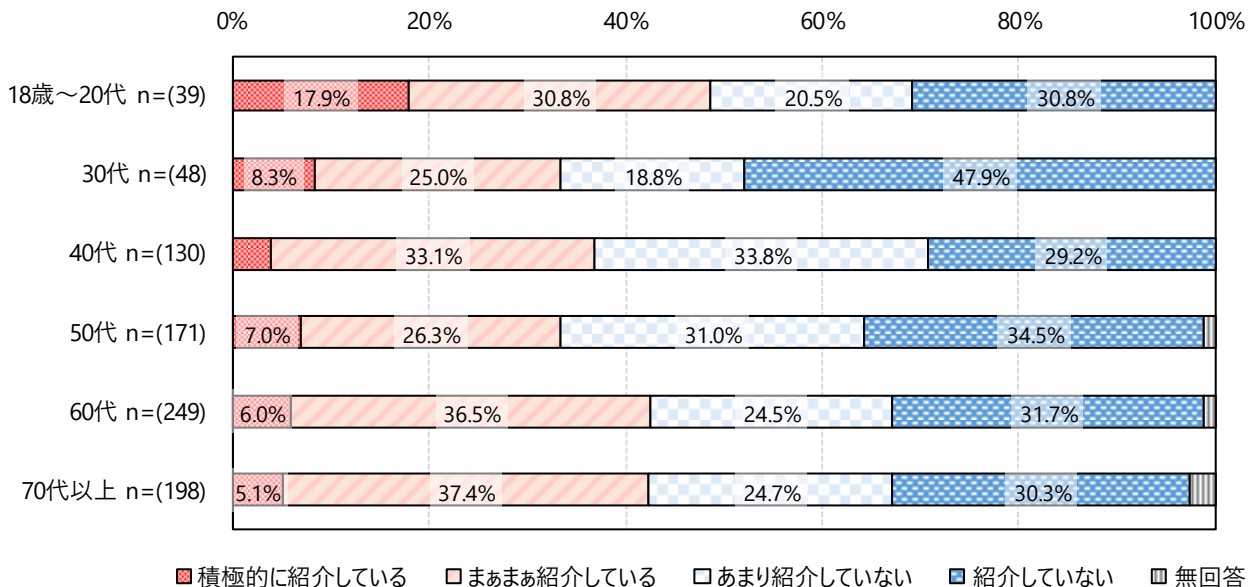
(2) 魅力ある産業を維持・創造するまちについて（観光・農業分野）

問2-1 あなたは、安曇野市の魅力を市外の友人や知人に紹介していますか。（1つに○）

「積極的に紹介している」と回答した人の割合は6.6%と低いものの、年代別にみると、18歳～20代では、17.9%、30代では8.3%と比較的高い傾向がみられます。



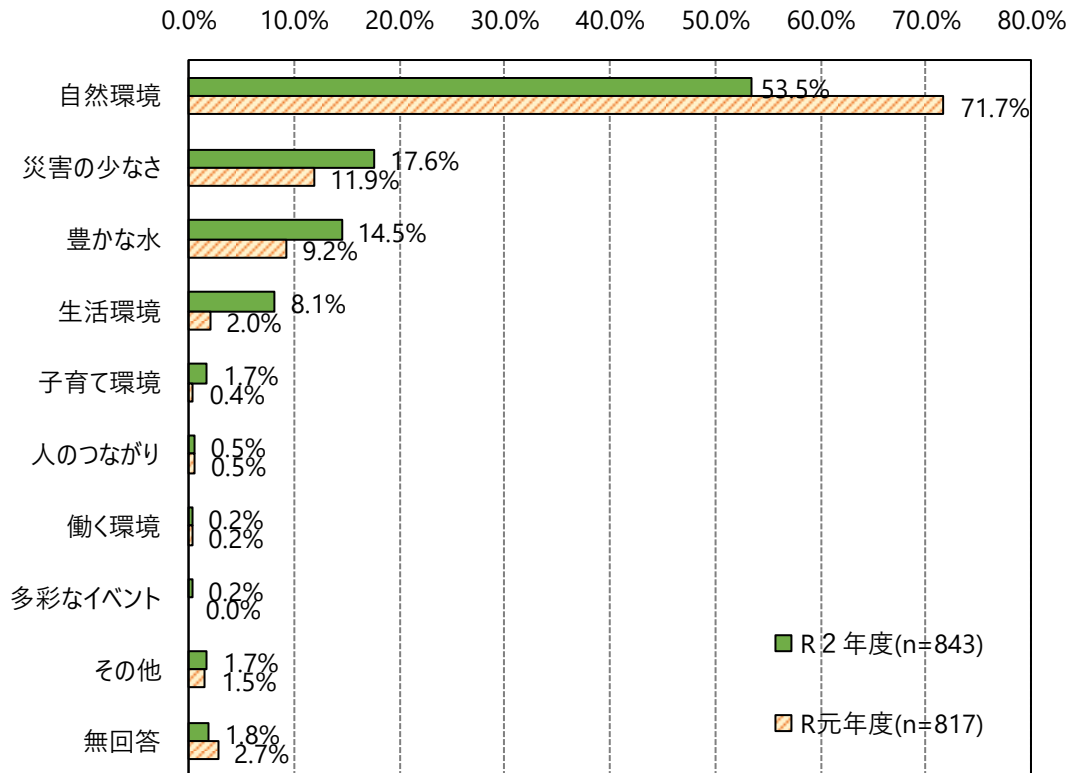
年代別



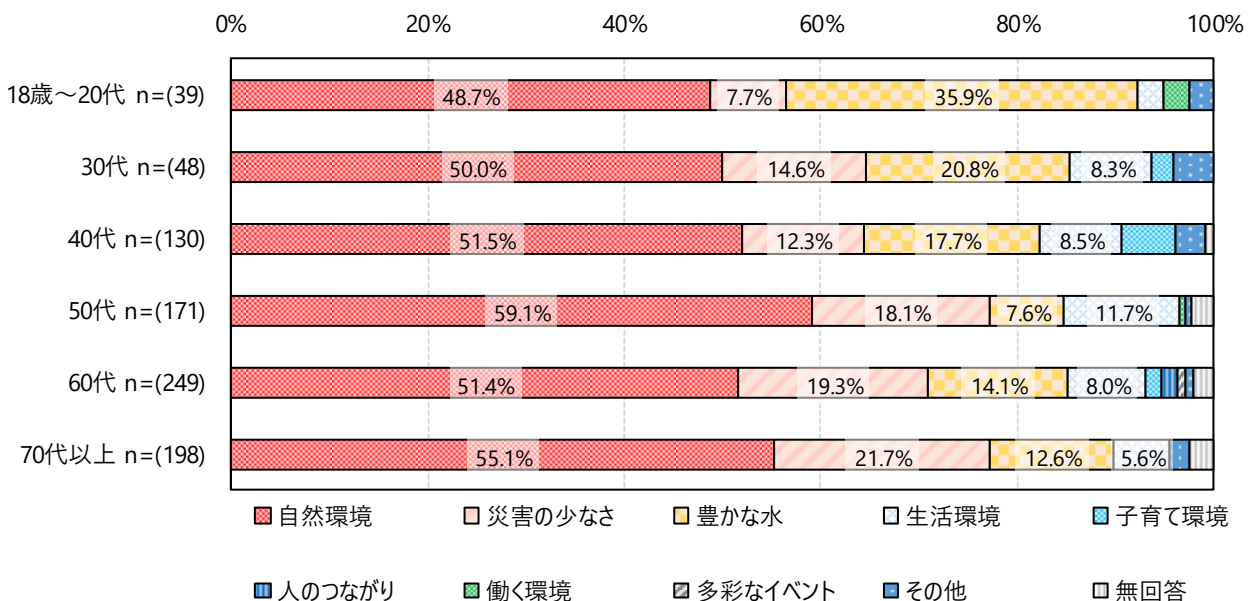
問2-2 あなたが市外の友人等に誇れる「安曇野市の魅力」は何ですか。(1つに○)

前年と比較すると、「自然環境」と回答した割合が18.2ポイント低下している一方で、「災害の少なさ」が5.7ポイント、「豊かな水」が5.3ポイント、「生活環境」が6.1ポイント上昇しています。

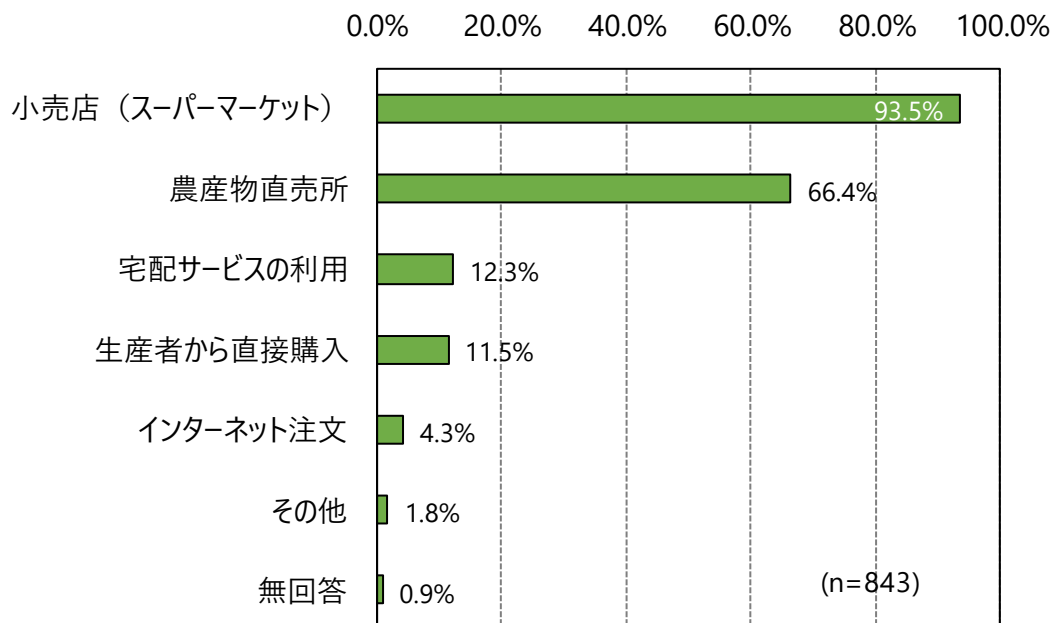
年代別にみると、「豊かな水」と回答した割合は、18歳～20代が35.9%、30代が20.8%と若年層で高く、「災害の少なさ」と回答した割合は、50代以上で高い傾向がみられます。



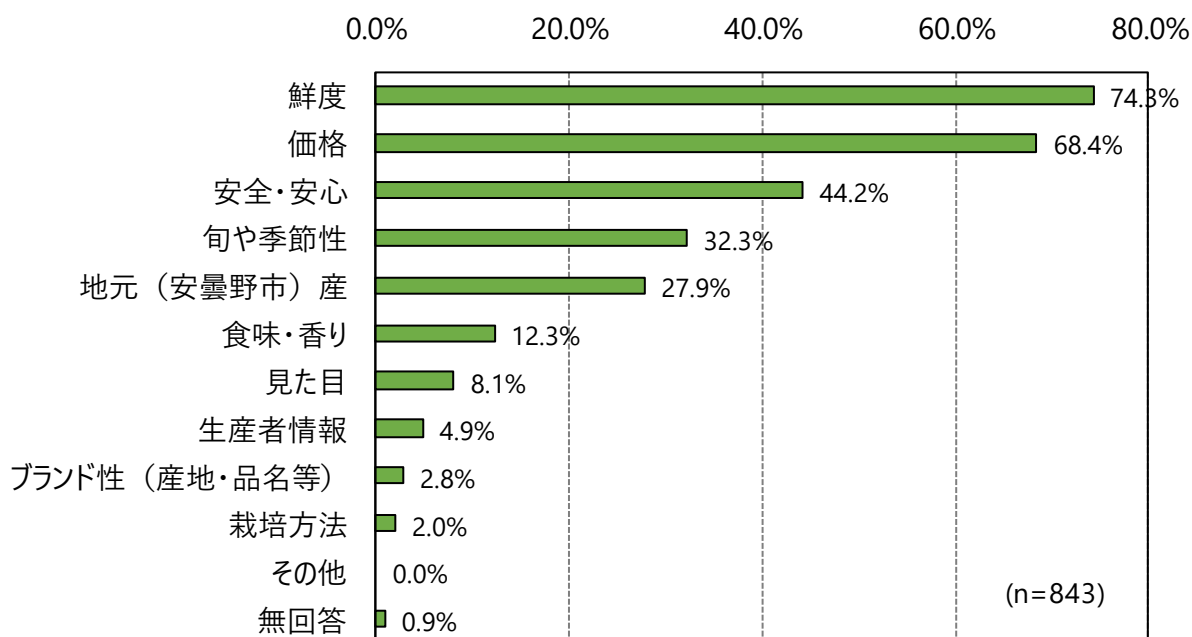
年代別



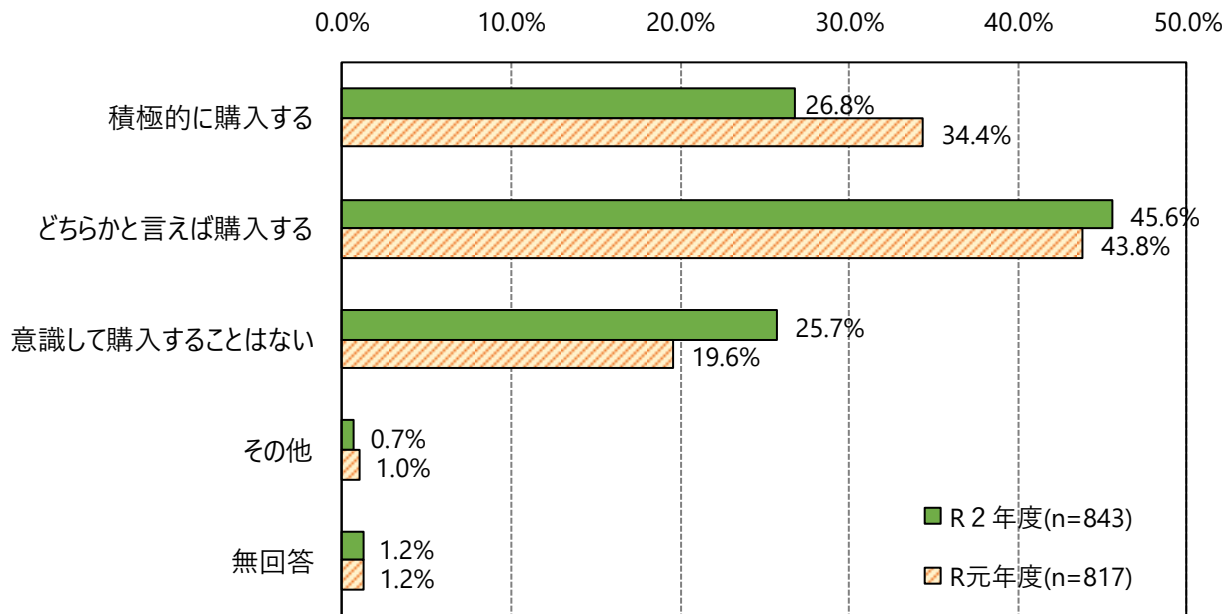
問2-3 あなたが日頃、農産物を購入する際の購入方法を教えてください。(当てはまる購入方法全てに○)



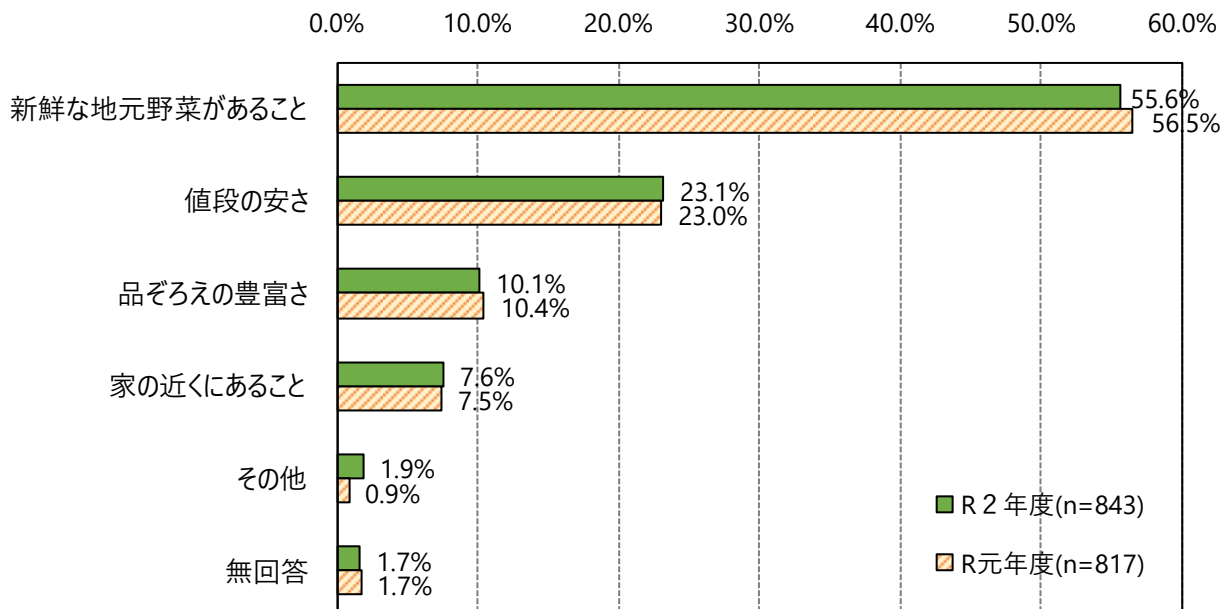
問2-4 あなたが農産物を購入する際、重視していることはなんですか。(特に当てはまるもの3つまで○)



問2-5 あなたは、日頃、地元産農産物を購入しますか。(1つに○)

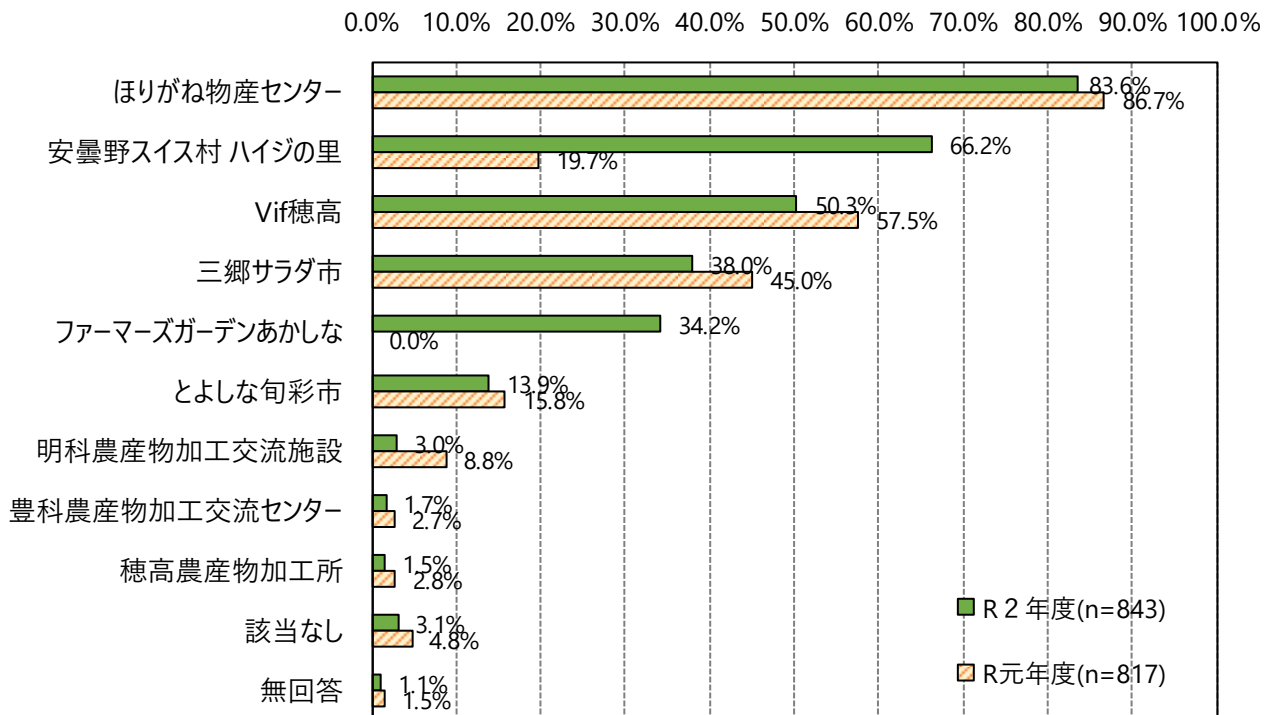


問2-6 あなたが、市内の直売所・加工所に求めることはなんですか。(1つに○)



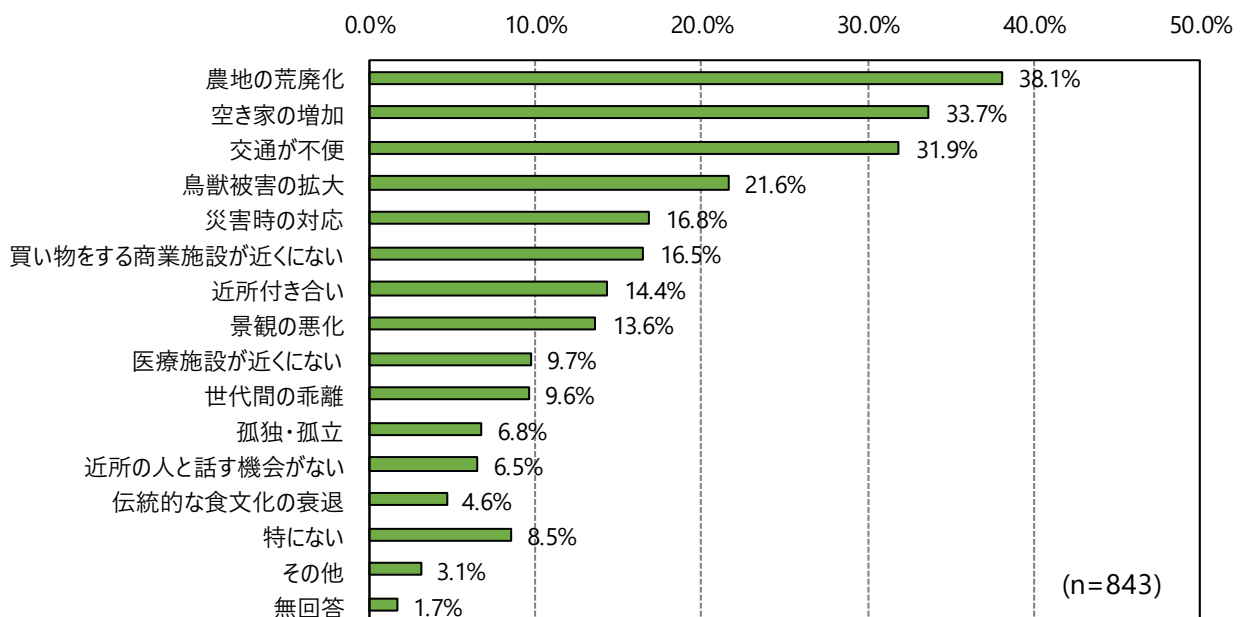
問2-7 あなたが、利用したことのある直売所・加工所を教えてください。(〇はいくつでも)

「安曇野スイス村 ハイジの里」を利用したことのある人の割合は、前年と比べて 46.5 ポイントと大きく増加しています。



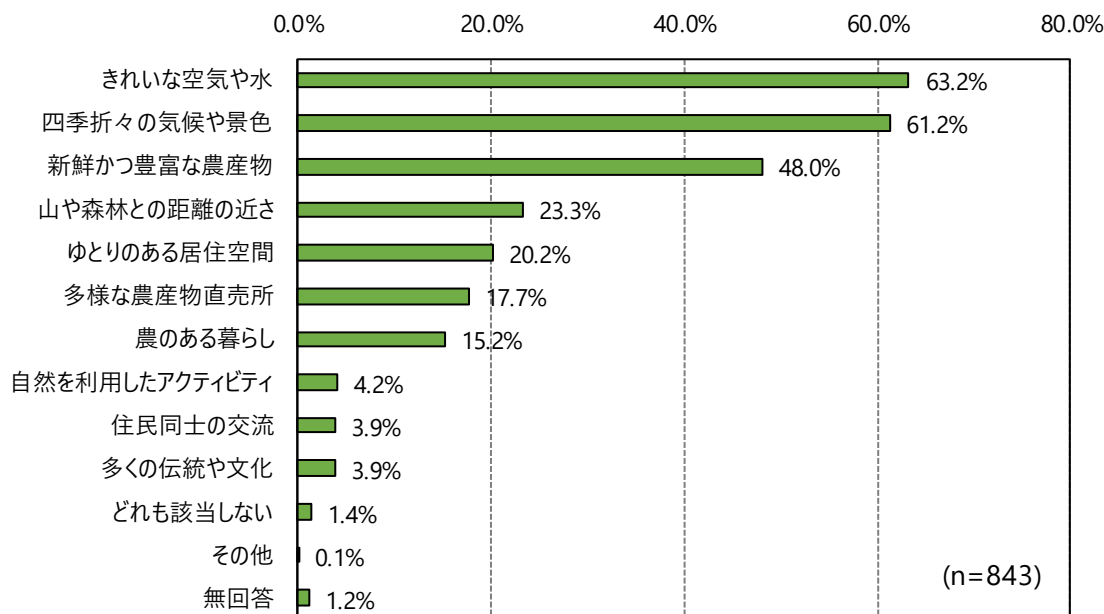
問2-8 あなたが農村社会(地域)で暮らすうえで、心配なことや不安に感じることはなんですか。(特に当てはまるもの3つまで〇)

「農地の荒廃化」が38.1%と最も高く、次いで「空家の増加」が33.7%、「交通が不便」が31.9%と続きます。



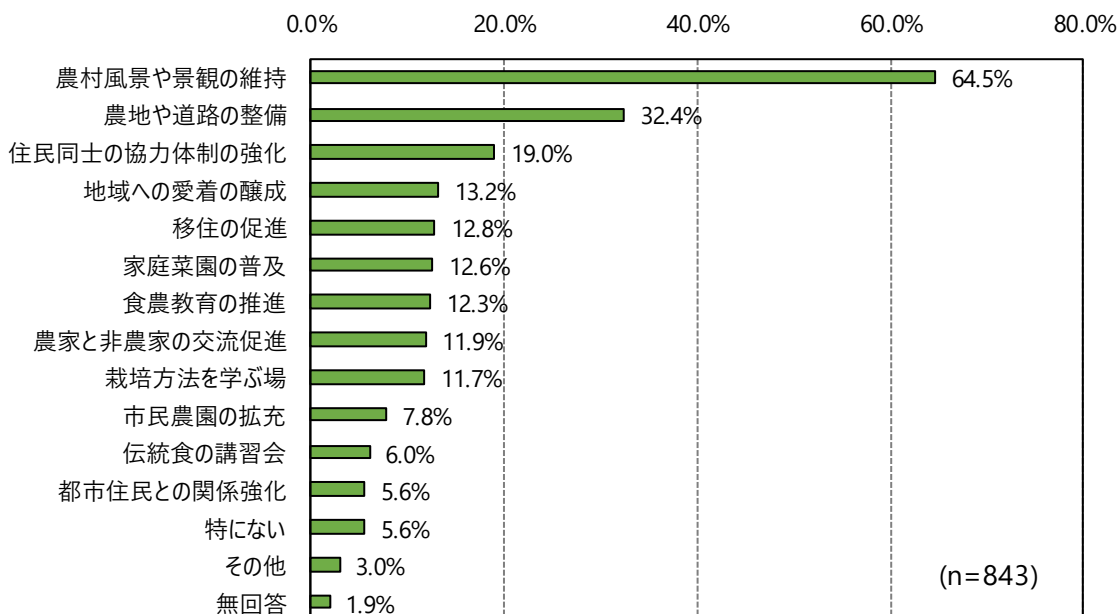
問2-9 あなたが安曇野市の農村社会（地域）がもつ魅力として感じるものはなんですか。（特に当てはまるもの3つまで○）

「きれいな空気や水」が63.2%と最も高く、次いで「四季折々の気候や景色」が61.2%、「新鮮かつ豊富な農産物」が48.0%と続きます。



問2-10 安曇野市の農村らしさを生かしたまちづくりを進めるために、あなたが必要だと思うことはなんですか。（特に当てはまるもの3つまで○）

「農村風景や景観の維持」が64.5%と最も高く、次いで「農地や道路の整備」が32.4%、「住民同士の協力体制の強化」が19.0%と続きます。



(3) 安全・安心で快適なまちについて（景観・防災・住環境等の分野）

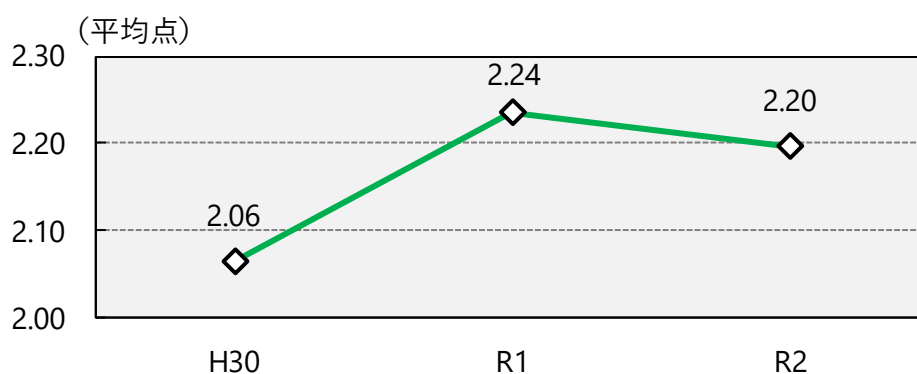
あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。（行動）

※積極的に取り組んでいる=4点、まあまあ取り組んでいる=3点、あまり取り組んでいない=2点、取り組んでいない=1点として、取り組み状況の推移を数値化しています。

1. 市街地の緑化や美化活動

前年と比べると横ばいですが、前々年と比べると増加傾向にあります。

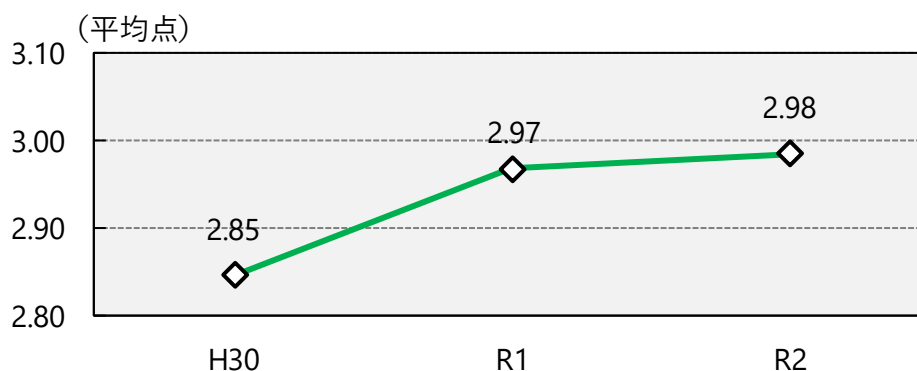
	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	47	212	228	258	54	799
R1	58	276	222	211	50	817
R2	58	278	251	233	23	843



2. 家のまわりの手入れを行うなど、美しい景観を守ること

前年と比べると横ばいですが、前々年と比べると増加傾向にあります。

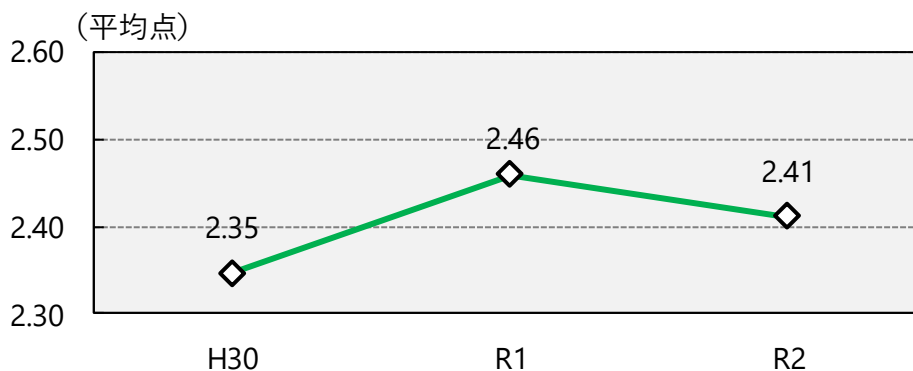
	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	175	397	121	87	19	799
R1	202	422	114	57	22	817
R2	213	453	114	56	7	843



3. 地震や台風などの災害への備え

前年と比べるとやや低下していますが、前々年と比べると増加傾向にあります。

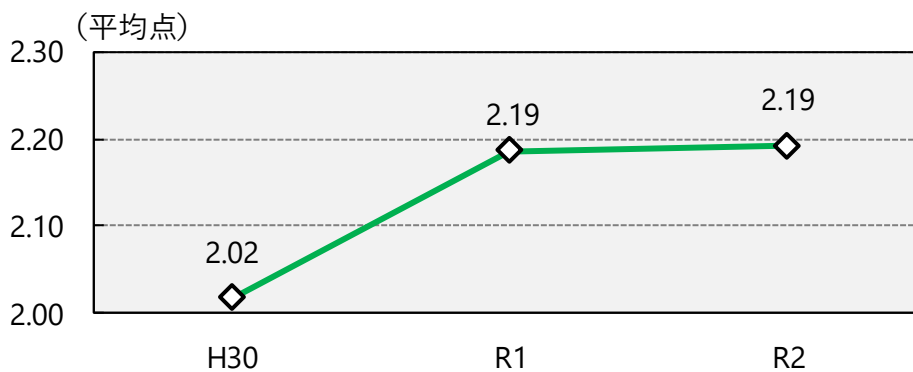
	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	58	260	329	113	39	799
R1	61	312	331	76	37	817
R2	65	304	365	94	15	843



4. 地域の自主的な防災活動への参加

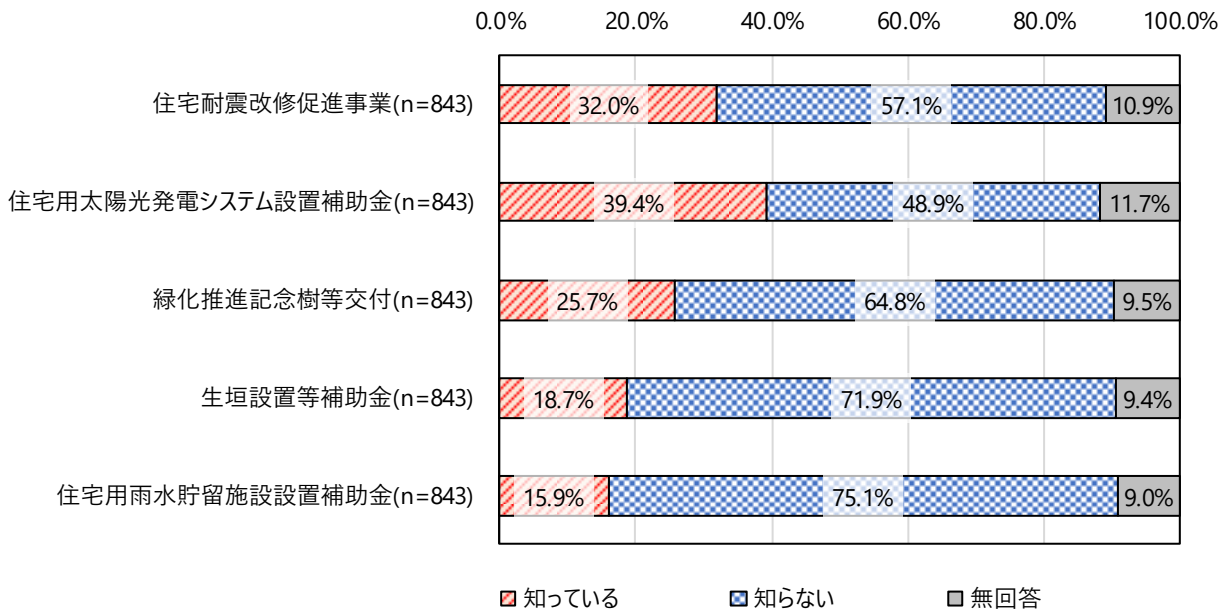
前年と比べると横ばいですが、前々年と比べると増加傾向にあります。

	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	44	173	292	248	42	799
R1	71	199	309	197	41	817
R2	64	234	329	203	13	843

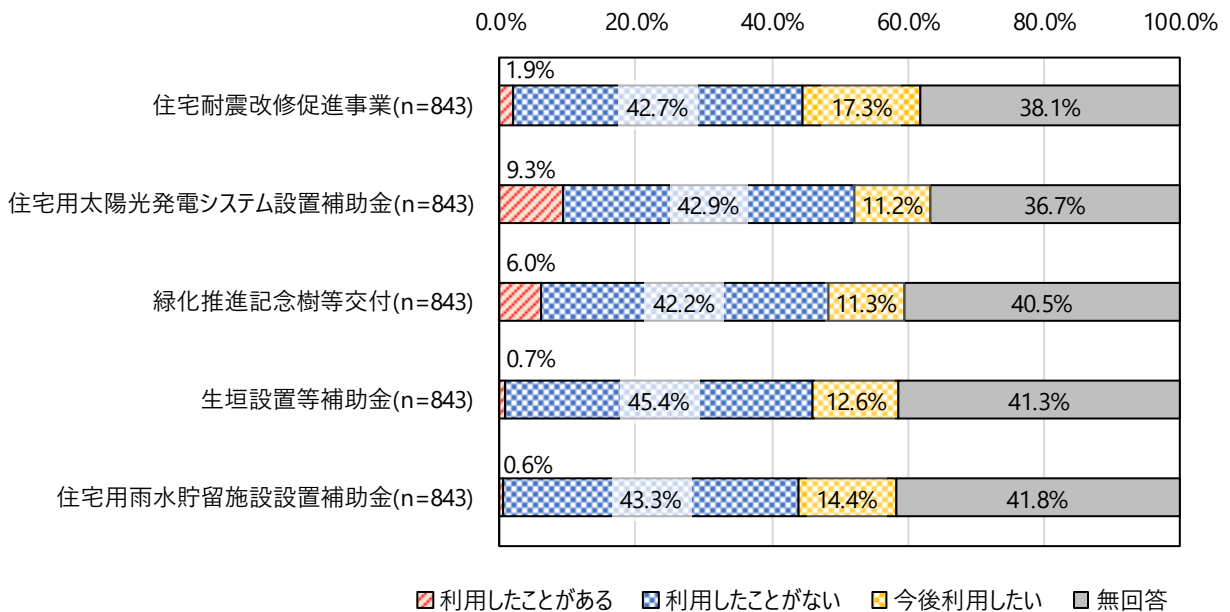


問3-5 あなたは、市で実施している住宅関係の助成制度について、知っていますか。また、利用したことがありますか。(それぞれ1つに○)

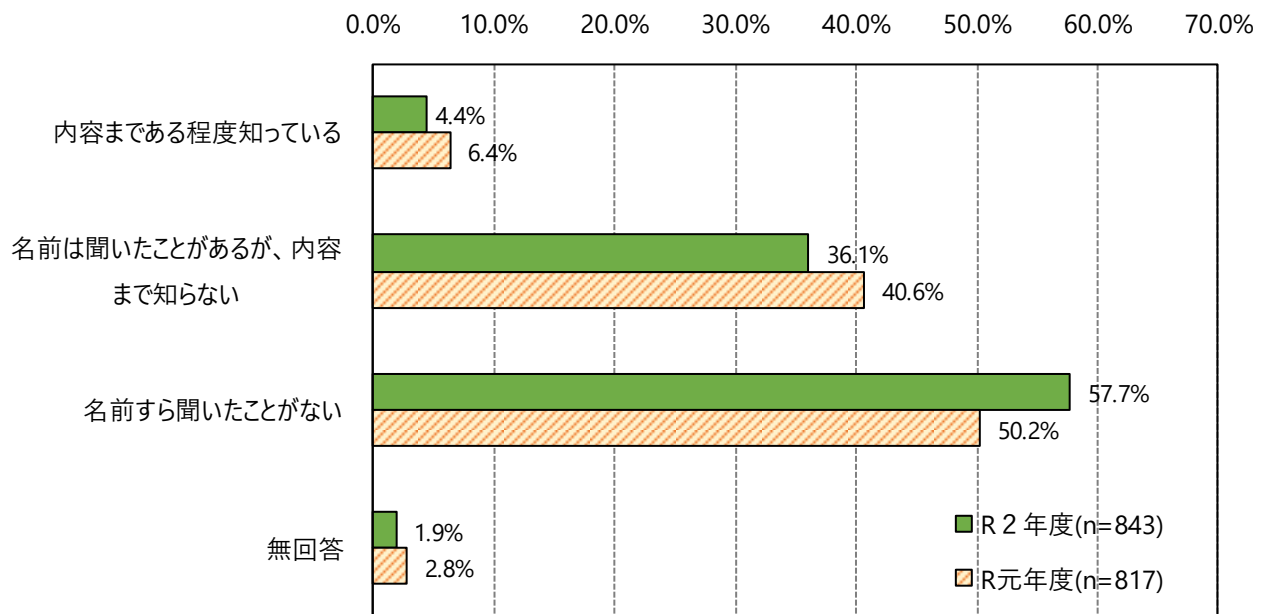
知っているか



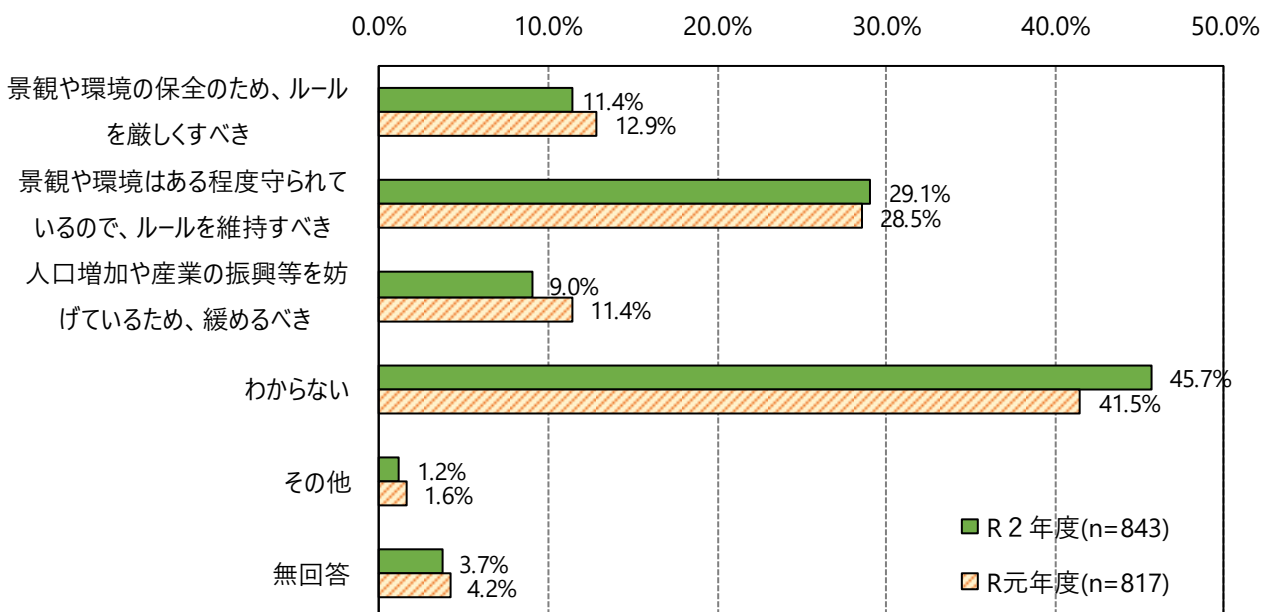
利用したことがあるか



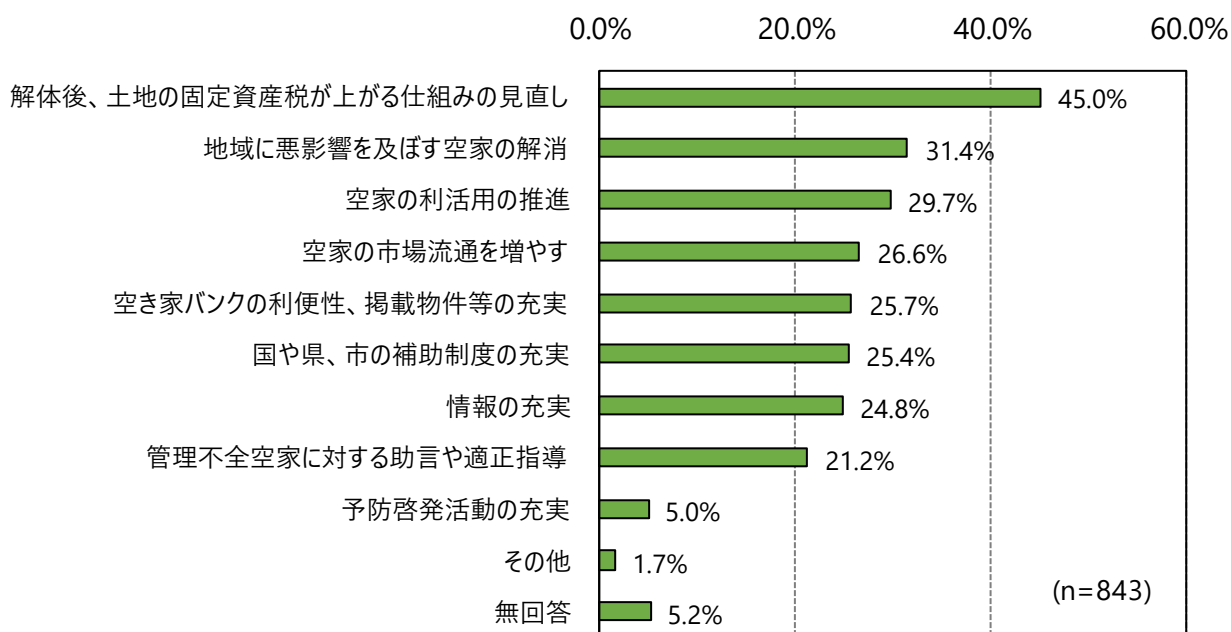
問3-6 あなたは、平成23年4月から施行されている「安曇野市の適正な土地利用に関する条例」や、それに基づく「安曇野市土地利用基本計画」を知っていますか。(1つに○)



問3-7 安曇野市の土地利用をコントロールするルール（主に新たな開発等に対する規制）の現状と今後のあり方として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

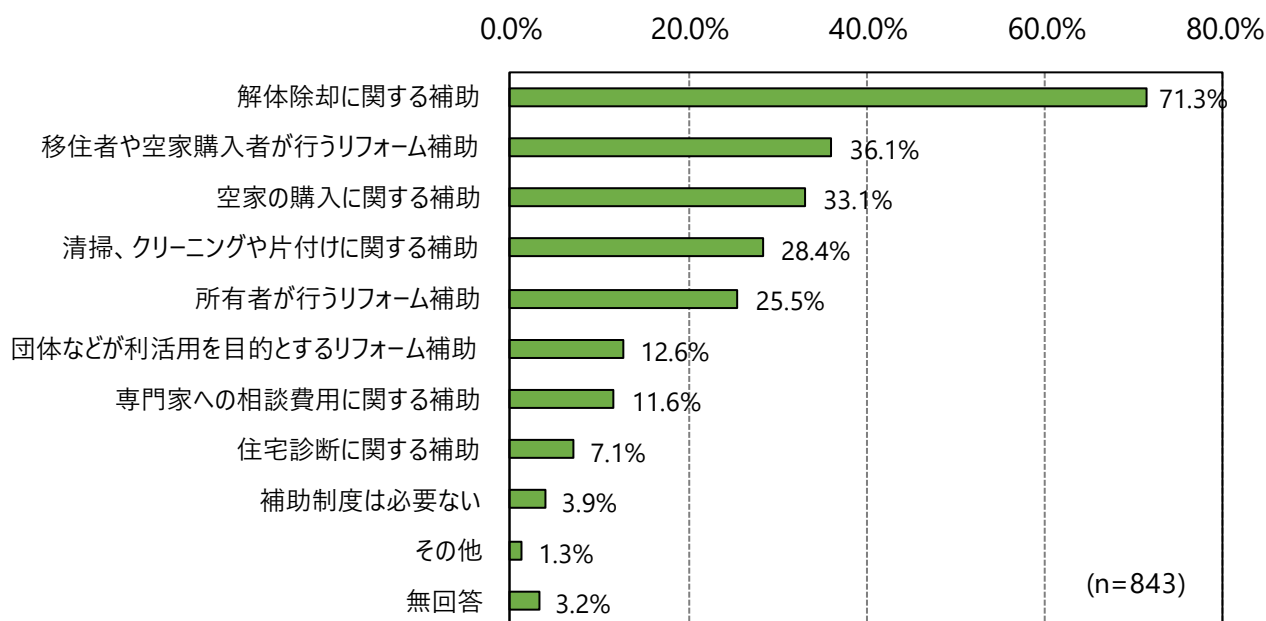


問3-8 空家対策を推進するために、あなたが必要だと思う施策はどれですか。(特に当てはまるもの3つまで○)



問3-9 あなたが空家に関する課題を解決するために必要だと思う(または活用したい)補助制度はどれですか。(特に当てはまるもの3つまで○)

「解体除去に関する補助」が71.3%と最も高く、次いで「移住者や空家購入者が行うリフォーム補助」が36.1%、「空家の購入に関する補助」が33.1%と続きます。



(4) 学び合い 人と文化を育むまちについて(教育・生涯学習・交流活動等)

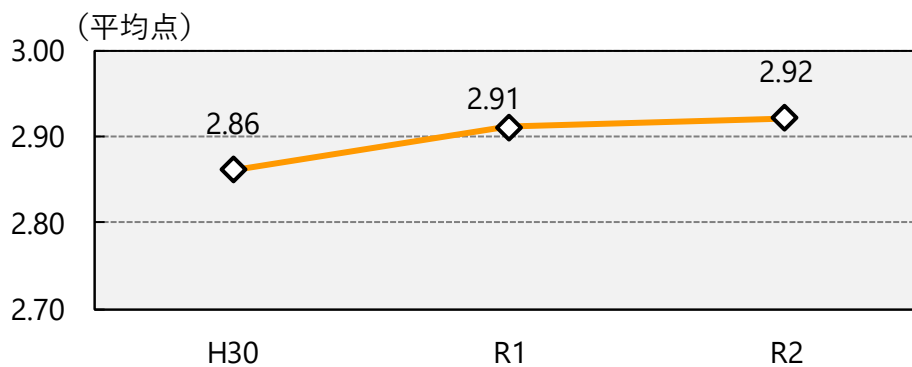
あなたは、次の市の取組状況についてどのように感じていますか。

※満足=4点、やや満足=3点、やや不満=2点、不満=1点として、満足度の推移を数値化しています。

1. 小中学校での教育

3年間を通して、満足度が上昇しています。

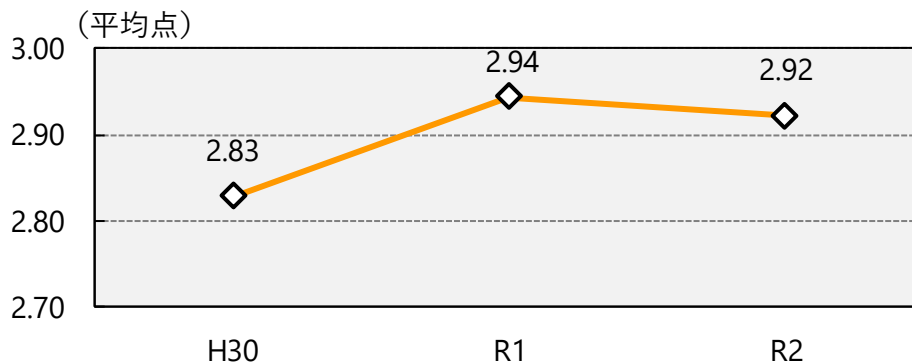
	満足(4点)	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	77	199	71	29	373	50	799
R1	88	237	55	35	365	37	817
R2	97	223	72	29	393	29	843



2. 小中学校と地域の連携

前年と比べると横ばいですが、前々年と比べると増加傾向にあります。

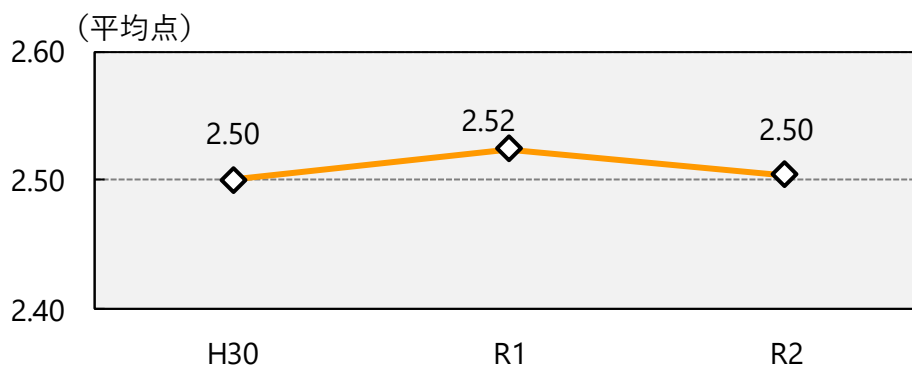
	満足(4点)	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	65	206	84	23	372	49	799
R1	89	238	75	19	362	34	817
R2	90	226	83	20	395	29	843



3. 年代に関わらない、学びの機会の提供

3年間を通して、横ばいが続いています。

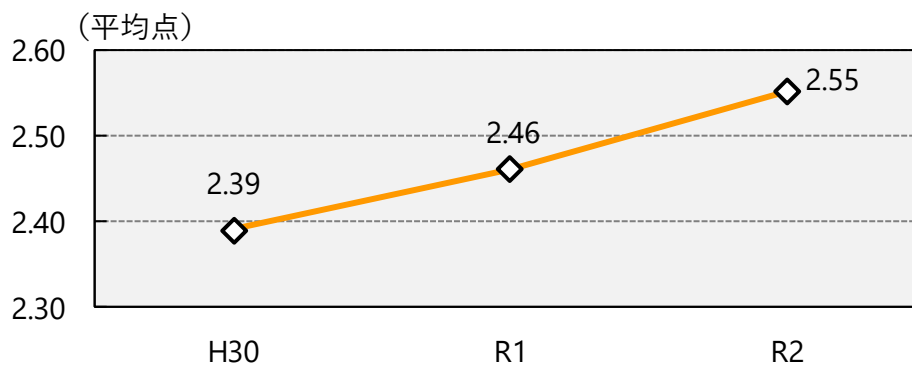
	満足(4点)	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	34	159	132	43	386	45	799
R1	42	188	132	54	364	37	817
R2	43	176	152	50	388	34	843



4. スポーツを楽しめる環境

3年間を通して、満足度が増加しています。

	満足(4点)	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	39	176	146	81	312	45	799
R1	52	208	159	81	281	36	817
R2	66	237	152	76	282	30	843



5. 文化・芸術に親しめる環境

平均点:2.62

	満足(4点)	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
R2	72	259	152	63	267	30	843

6. 図書館の取組

平均点:3.02

	満足(4点)	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
R2	148	313	69	29	254	30	843

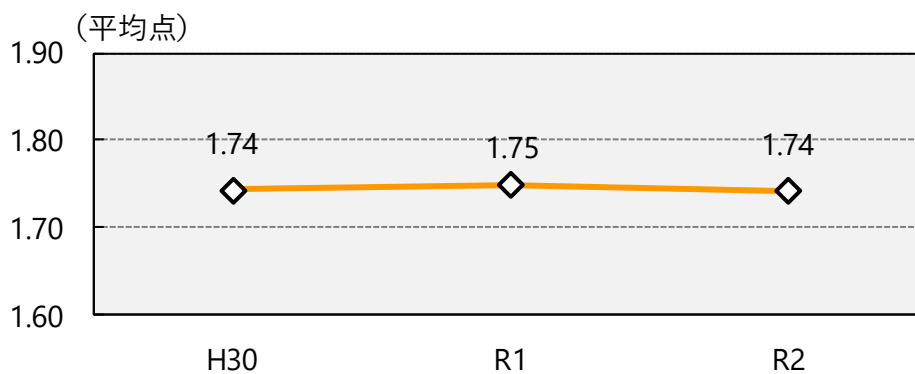
あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。(行動)

※積極的に取り組んでいる=4点、まあまあ取り組んでいる=3点、あまり取り組んでいない=2点、取り組んでいない=1点として、取り組み状況の推移を数値化しています。

7. 地域の子どもの健全育成

3年間を通して、横ばいが続いています。

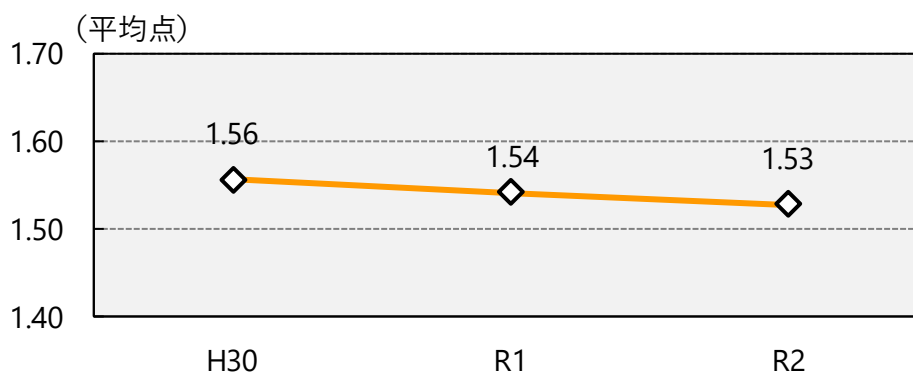
	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	28	143	193	393	42	799
R1	33	134	225	398	27	817
R2	39	131	222	418	33	843



8. 公民館などで学んだ知識の地域づくりへの還元

3年間を通して、低下傾向にあります。

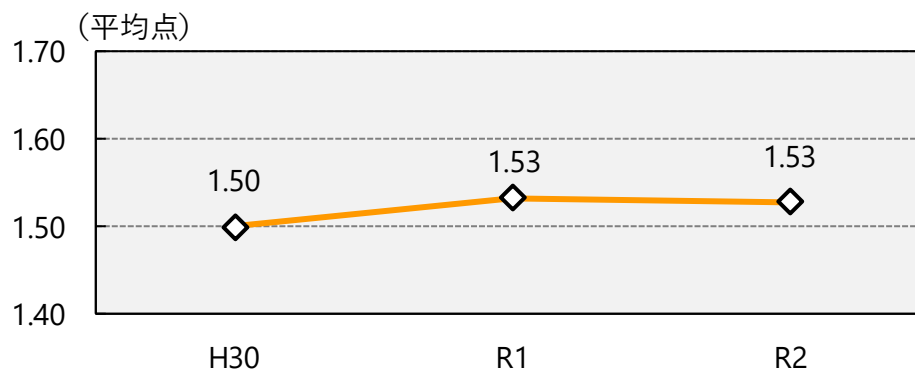
	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	15	83	210	449	42	799
R1	13	76	235	463	30	817
R2	13	76	237	485	32	843



9. 生涯学習への取組み（過去5年間）

3年間を通して、横ばいが続いています。

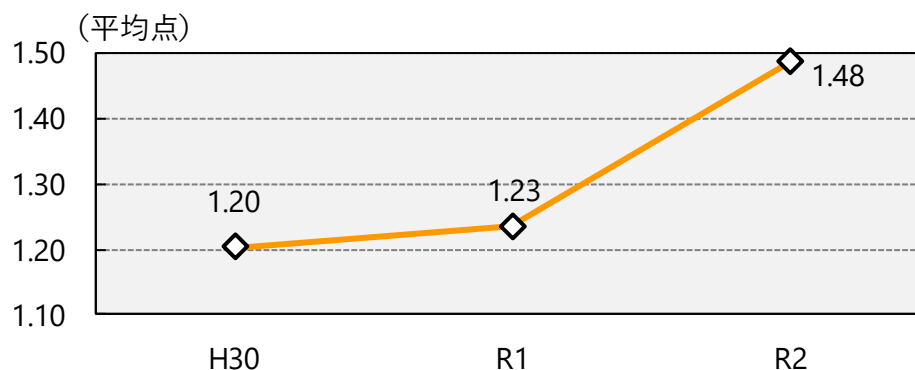
	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	26	68	166	500	39	799
R1	26	78	189	501	23	817
R2	13	76	237	485	32	843



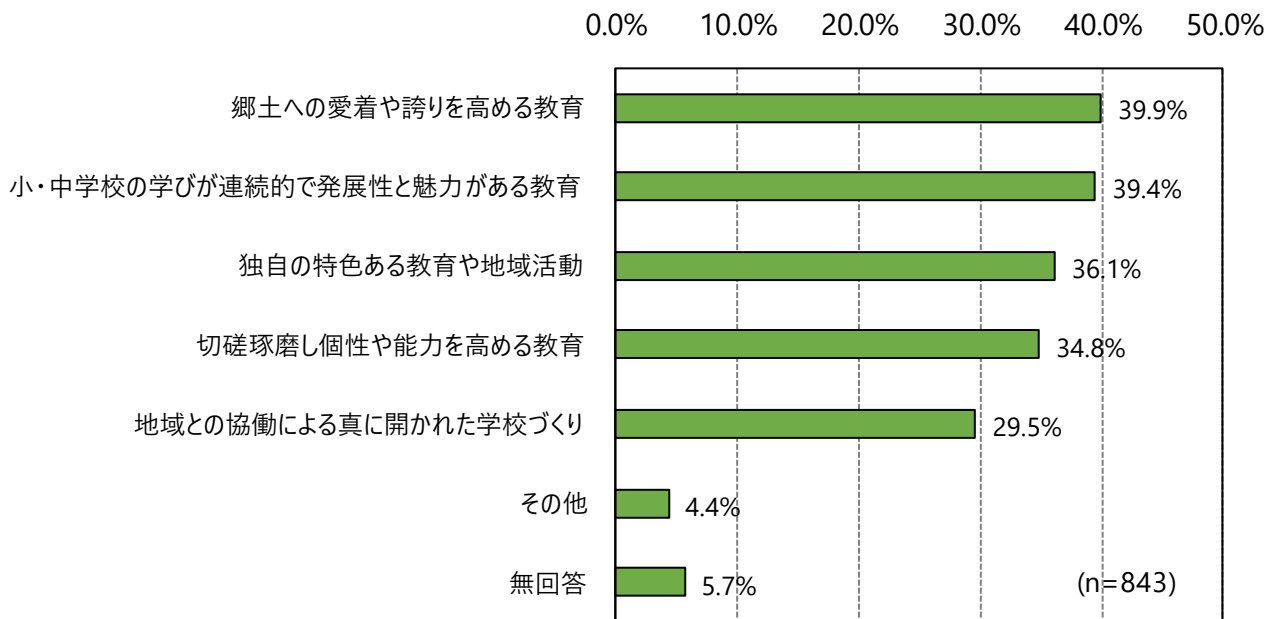
10. 国際交流イベントへの参加

前年と比べると、積極性の高まりがみられます。

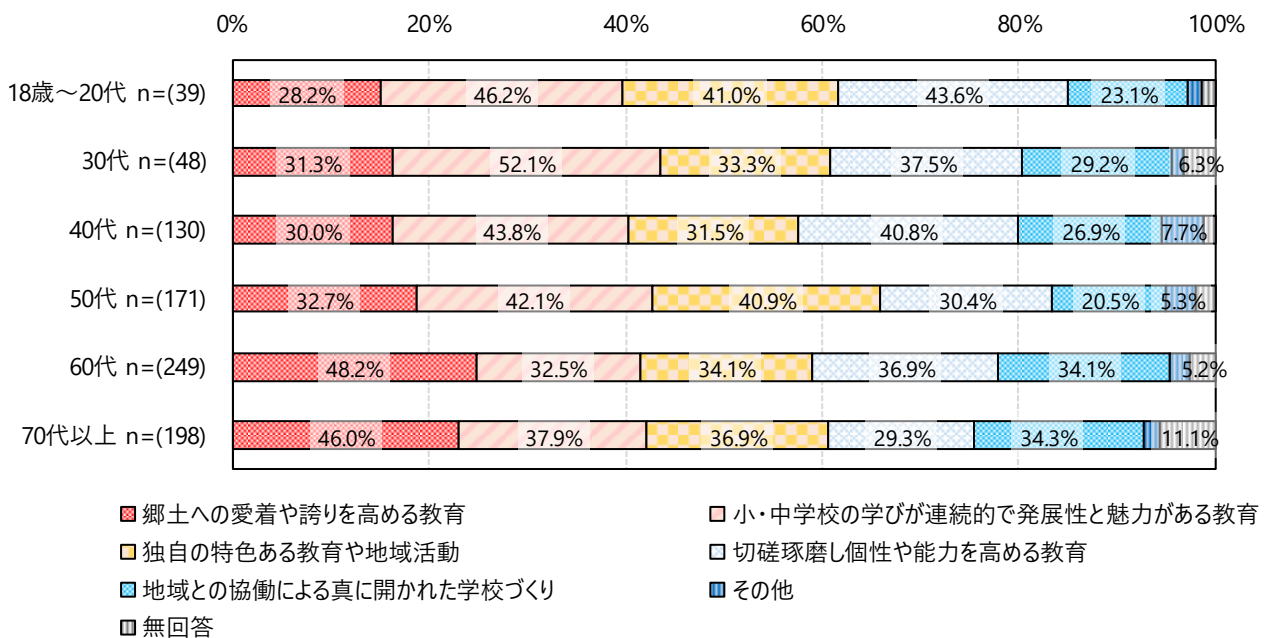
	積極的に取り組んでいる(4点)	まあまあ取り組んでいる(3点)	あまり取り組んでいない(2点)	取り組んでいない(1点)	無回答	合計
H30	4	18	105	629	43	799
R1	4	16	142	631	24	817
R2	14	77	197	523	32	843



問4-11 あなたは、特色ある学校づくりのため、市では、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

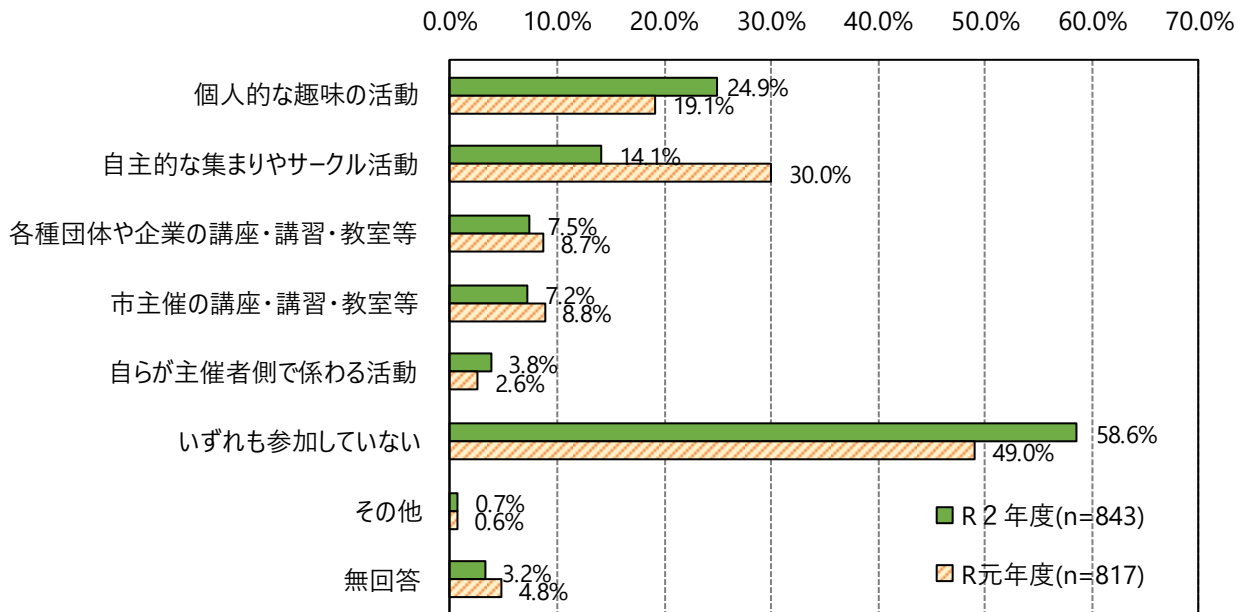


年代別

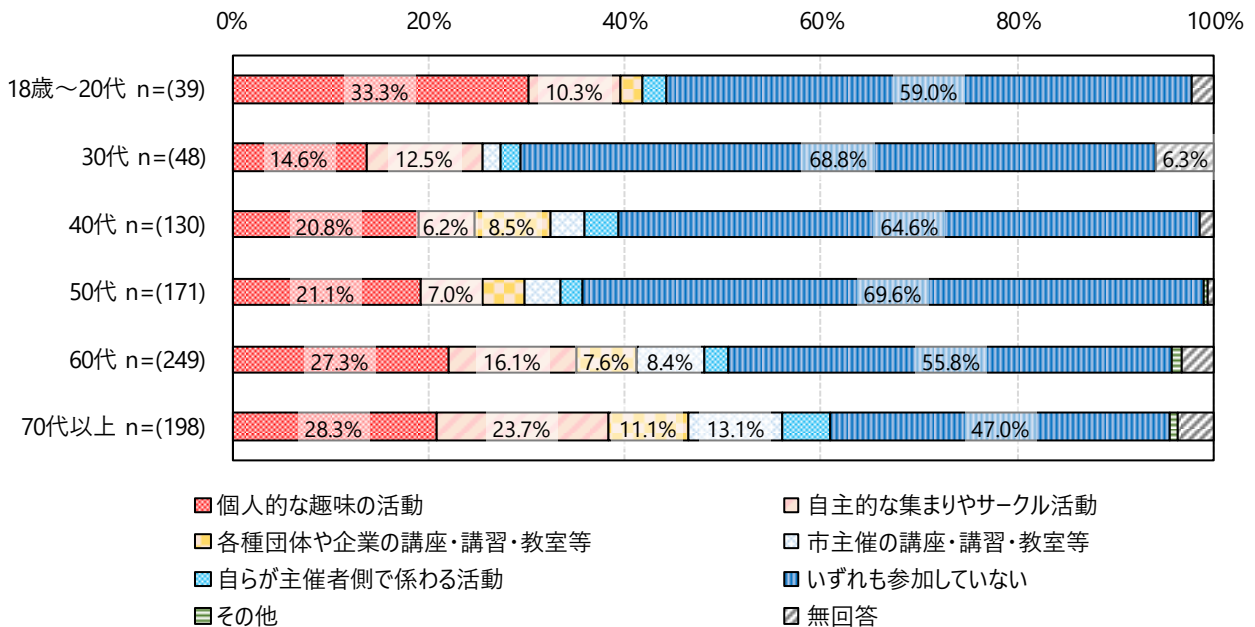


問4-12 あなたは、ここ2,3年、生涯学習としてどんなものに参加していますか。(〇はいくつでも)

前年と比べると、「個人的な趣味の活動」が 5.8 ポイント増加している一方で、「自主的な集まりやサークル活動」が 15.9 ポイント、「各種団体や企業の講座・講習・教室等」が 1.2 ポイント、「市主催の講座・講習・教室等」が 1.6 ポイント低下しており、コロナ禍の影響を受けているものと推察されます。



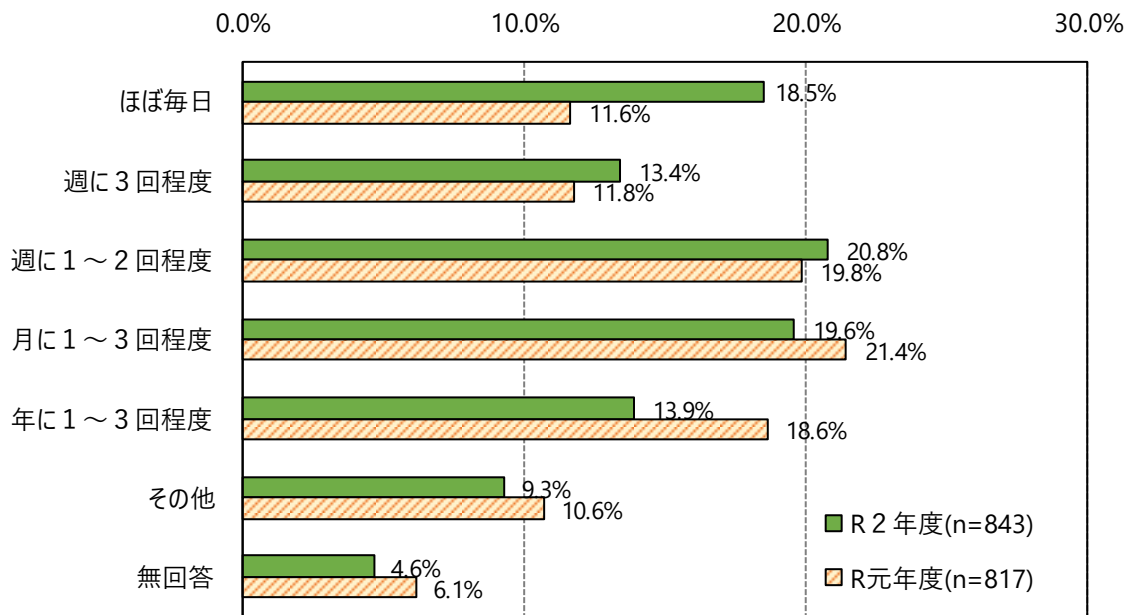
年代別



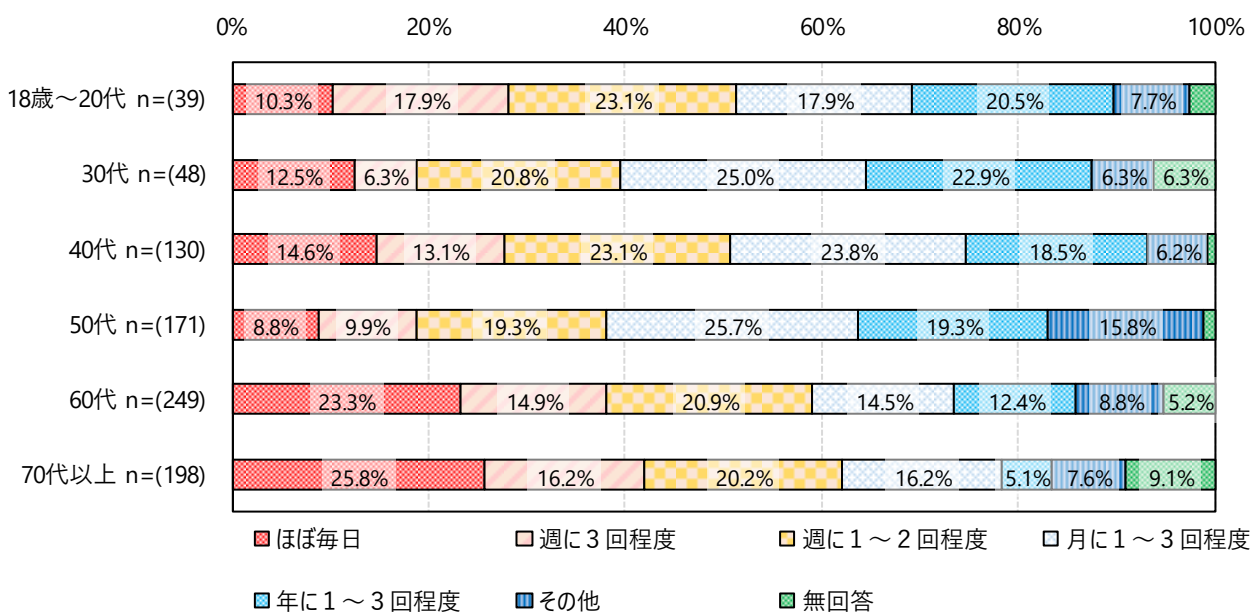
問4-13 あなたは、どの程度の頻度で運動・スポーツ（散歩やウォーキングを含む）をしていますか。
（1つに○）

前年と比べると、「ほぼ毎日」6.9ポイント、「週に3回程度」が1.6ポイント、「週に1～2回程度」が1.0ポイント増加しており、運動・スポーツを行う機会が増加しているとみられます。

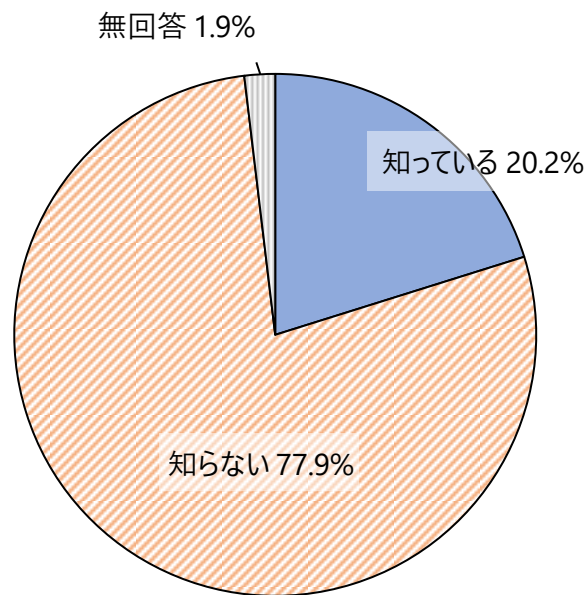
年代別にみると、「ほぼ毎日」、「週に3回程度」を合算した割合は、70代以上が42.0%、60代が38.2%と、高齢者層で特に高くなっています。



年代別

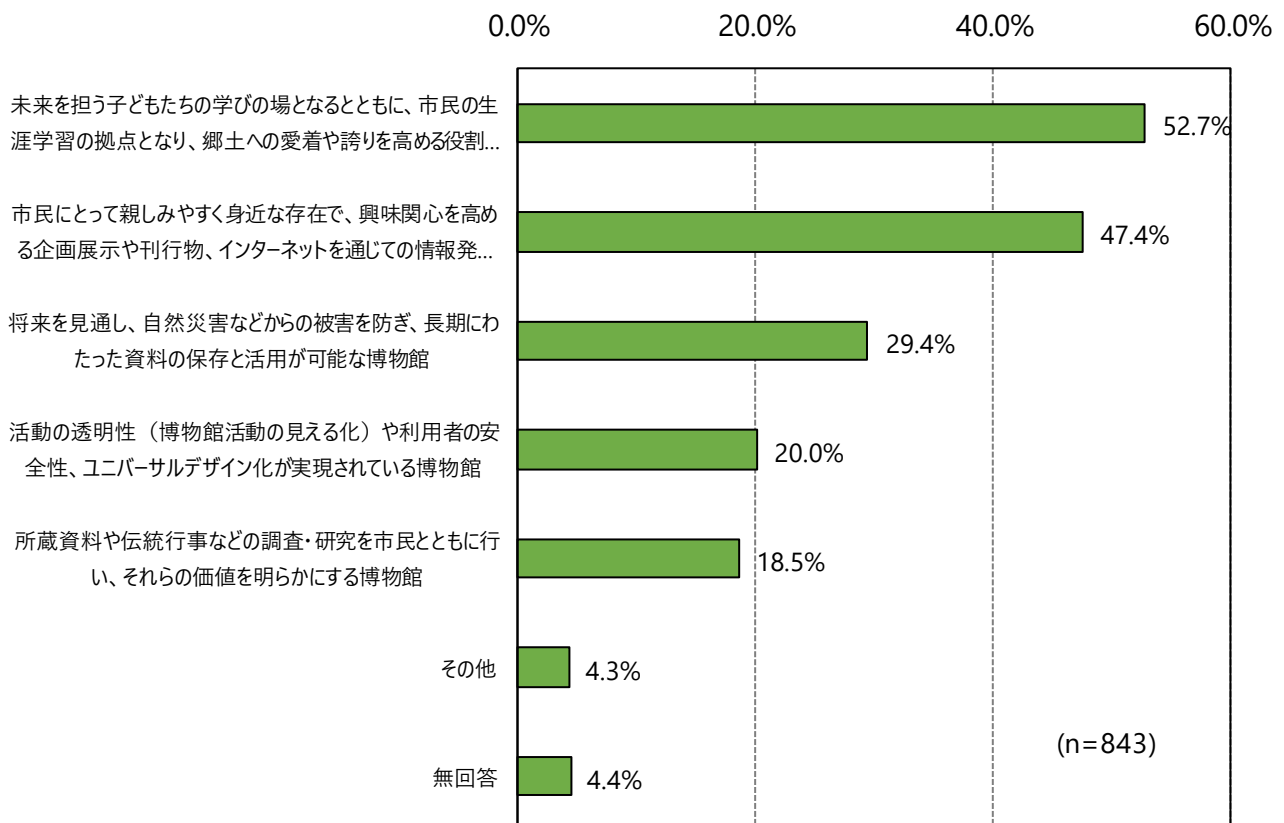


問4-14 あなたは、安曇野市が、東京 2020 オリンピック・パラリンピックでオーストリアのカヌーチームのホストタウンとなっていることを知っていますか。



現在、市の博物館や資料館等は、旧町村時代の老朽化した建物が多いため、今後のあり方について検討を進めるとともに、テーマを設けた出前展示(コンパクト展示)などで情報発信に努めています。

問4-15 あなたが期待するこれからの安曇野市の博物館の姿はどれですか。(〇はいくつでも)



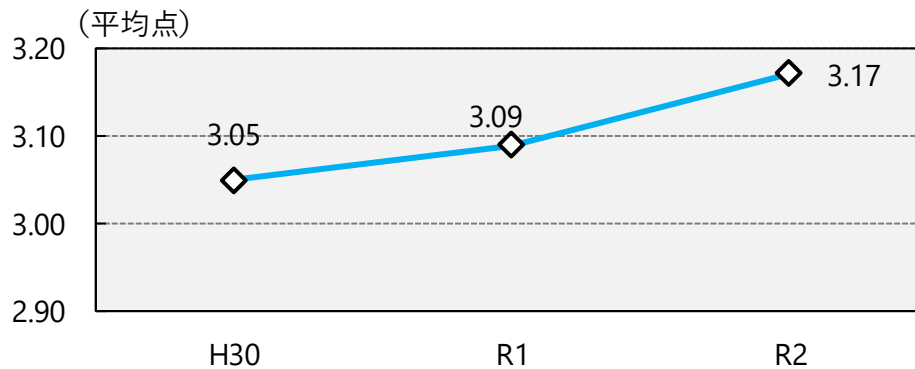
問5-1 あなたの市政情報の入手先として、それぞれの媒体をどの程度利用しているか教えてください。

※頻繁に利用=4点、たまに利用=3点、利用しない=1点、知らない=1点として、利用頻度の推移を数値化しています。

市報（広報あづみの） ※毎月第3水曜発行

3年間を通して、利用頻度が上昇しています。

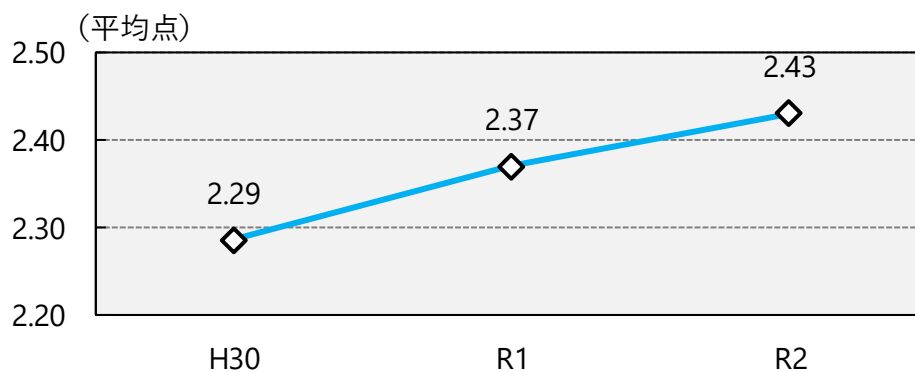
	頻繁に 利用(4点)	たまに 利用(3点)	利用しない (2点)	知らない (1点)	わからない	無回答	合計
H30	219	373	109	37	61	61	799
R1	236	392	108	30	51	51	817
R2	267	413	86	23	54	54	843



市のホームページ

3年間を通して、利用頻度が上昇しています。

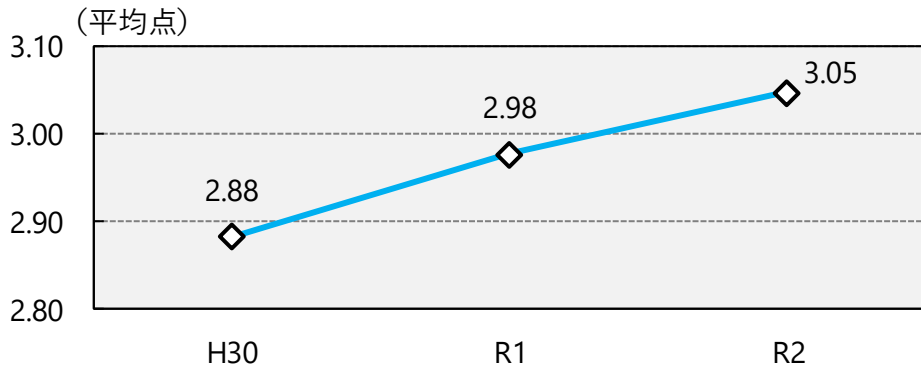
	頻繁に 利用(4点)	たまに 利用(3点)	利用しない (2点)	知らない (1点)	わからない	無回答	合計
H30	24	265	320	108	82	82	799
R1	35	280	349	76	77	77	817
R2	39	337	318	81	68	68	843



区配布の回覧文書

3年間を通して、利用頻度が上昇しています。

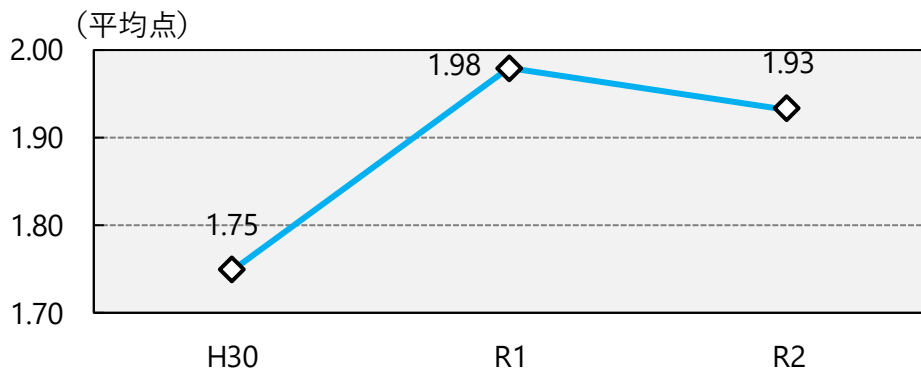
	頻繁に 利用(4点)	たまに 利用(3点)	利用しない (2点)	知らない (1点)	わからない	無回答	合計
H30	216	303	147	78	55	55	799
R1	226	333	157	43	58	58	817
R2	259	364	127	47	46	46	843



市のラジオ番組（あづみ野エフエム）

前年と比べると利用頻度が低下していますが、前々年と比べると増加傾向にあります。

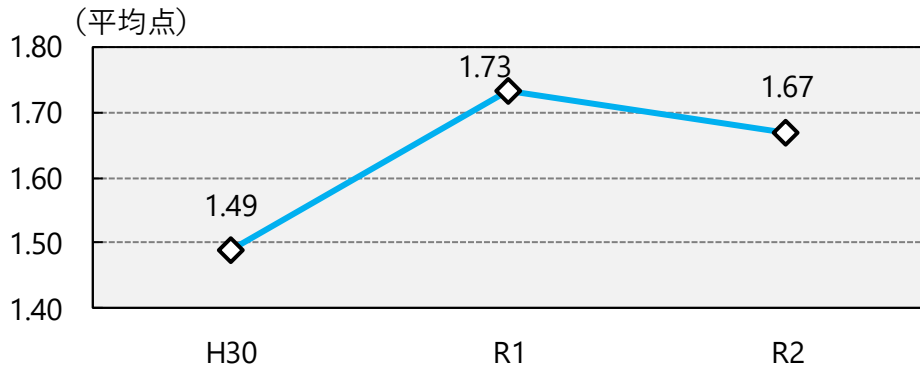
	頻繁に 利用(4点)	たまに 利用(3点)	利用しない (2点)	知らない (1点)	わからない	無回答	合計
H30	18	103	406	203	69	69	799
R1	17	121	435	171	73	73	817
R2	30	96	443	209	65	65	843



市のツイッター

前年と比べると利用頻度が低下していますが、前々年と比べると増加傾向にあります。

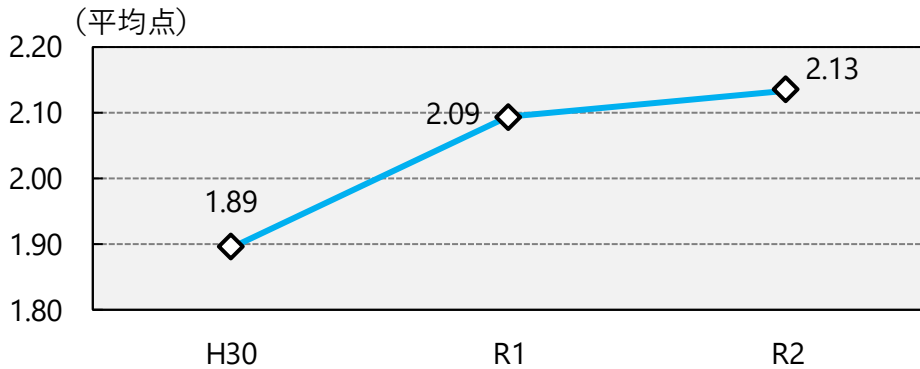
	頻繁に 利用(4点)	たまに 利用(3点)	利用しない (2点)	知らない (1点)	わからない	無回答	合計
H30	1	26	405	297	70	70	799
R1	7	39	442	252	77	77	817
R2	8	28	436	301	70	70	843



あづみ野テレビ

3年間を通して、利用頻度が増加しています。

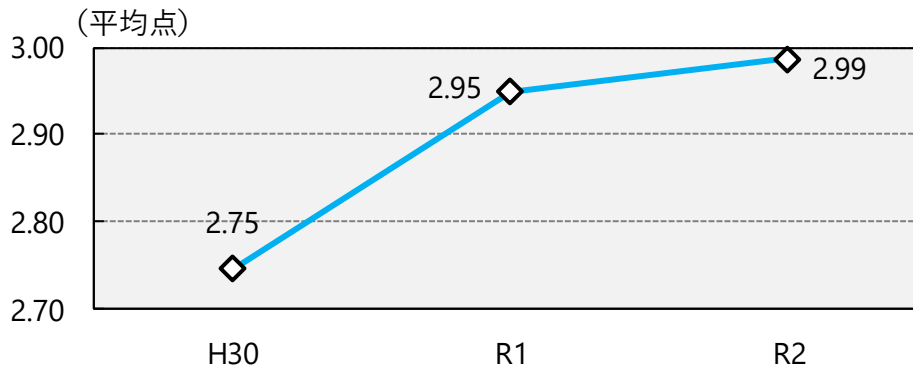
	頻繁に 利用(4点)	たまに 利用(3点)	利用しない (2点)	知らない (1点)	わからない	無回答	合計
H30	39	121	423	148	68	68	799
R1	34	122	464	121	76	76	817
R2	46	139	460	128	70	70	843



一般の新聞・テレビ・ラジオ

3年間を通して、利用頻度が増加しています。

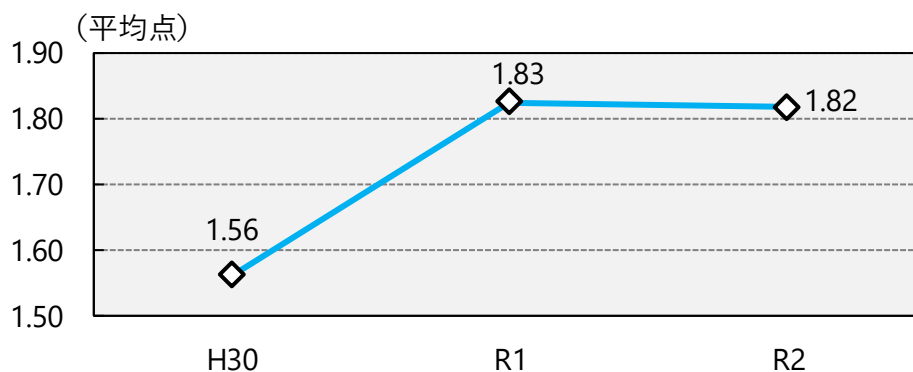
	頻繁に 利用(4点)	たまに 利用(2.5点)	利用しない (1点)	わからない	無回答	合計
H30	372	229	134	64	64	799
R1	359	267	132	59	59	817
R2	388	248	137	70	70	843



一般のウェブサイト（ホームページ）

前年と比べると利用頻度は横ばいですが、前々年と比べると増加傾向にあります。

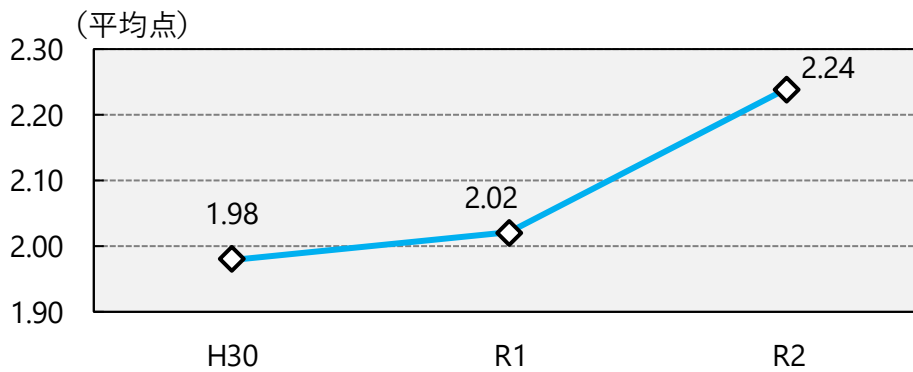
	頻繁に 利用(4点)	たまに 利用(2.5点)	利用しない (1点)	わからない	無回答	合計
H30	100	158	452	89	89	799
R1	118	164	445	90	90	817
R2	111	188	453	91	91	843



友人・家族からの口コミ

3年間を通して、利用頻度が増加しています。

	頻繁に 利用(4点)	たまに 利用(2.5点)	利用しない (1点)	わからない	無回答	合計
H30	82	410	228	79	79	799
R1	97	413	230	77	77	817
R2	99	431	232	81	81	843



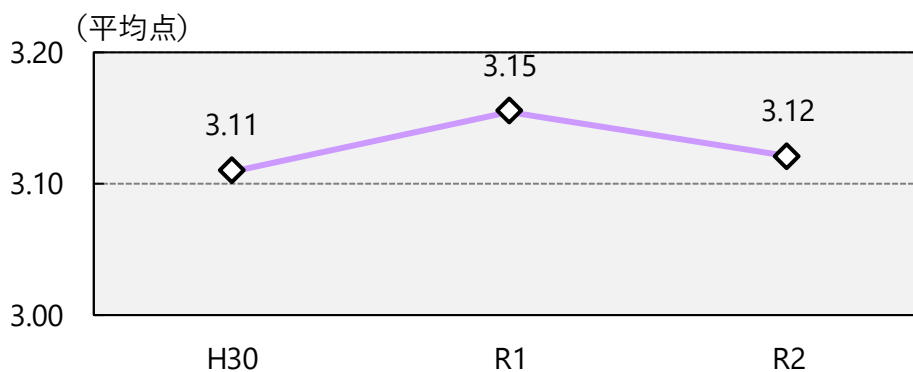
問5-2 あなたの市の広報媒体の満足度を教えてください。

※満足=4点、やや満足=3点、やや不満=2点、不満=1点として、満足度の推移を数値化しています。

市報（広報あづみの） ※毎月第3水曜発行

3年間を通して、満足度は高水準かつ横ばいで推移しています。

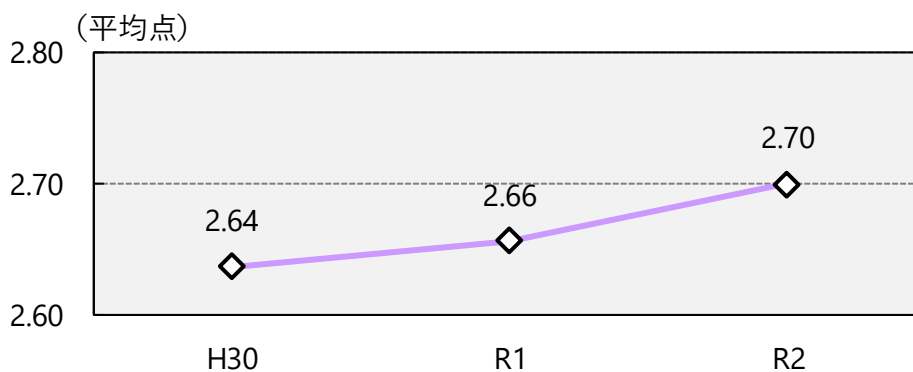
	満足4点	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	172	367	60	22	131	47	799
R1	199	358	68	16	142	34	817
R2	193	412	77	16	116	29	843



市のホームページ

3年間を通して、満足度が増加しています。

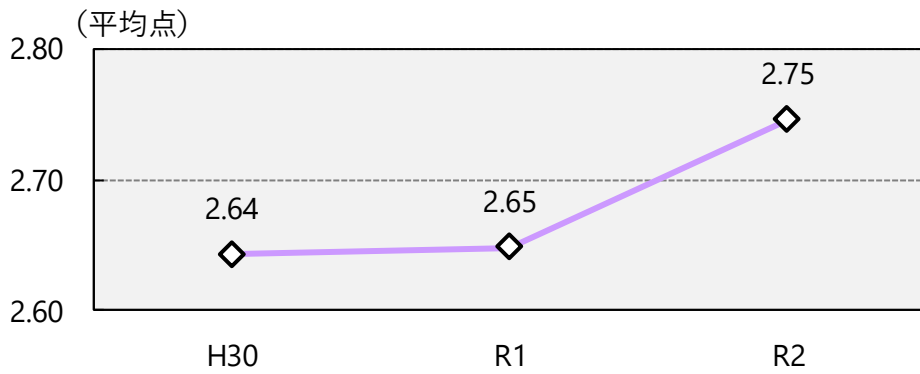
	満足4点	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	30	137	73	27	458	74	799
R1	32	169	91	25	439	61	817
R2	44	199	87	33	432	48	843



市のラジオ番組（あづみ野エフエム）

3年間を通して、満足度が増加しています。

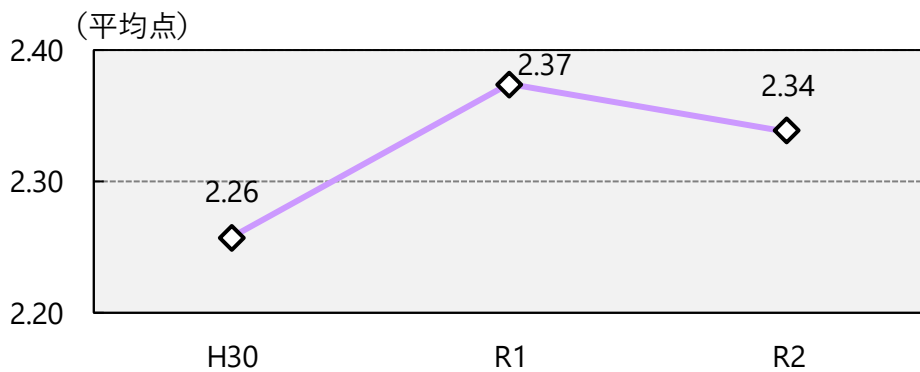
	満足4点	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	24	61	36	19	588	71	799
R1	22	84	38	21	591	61	817
R2	30	86	33	20	624	49	842



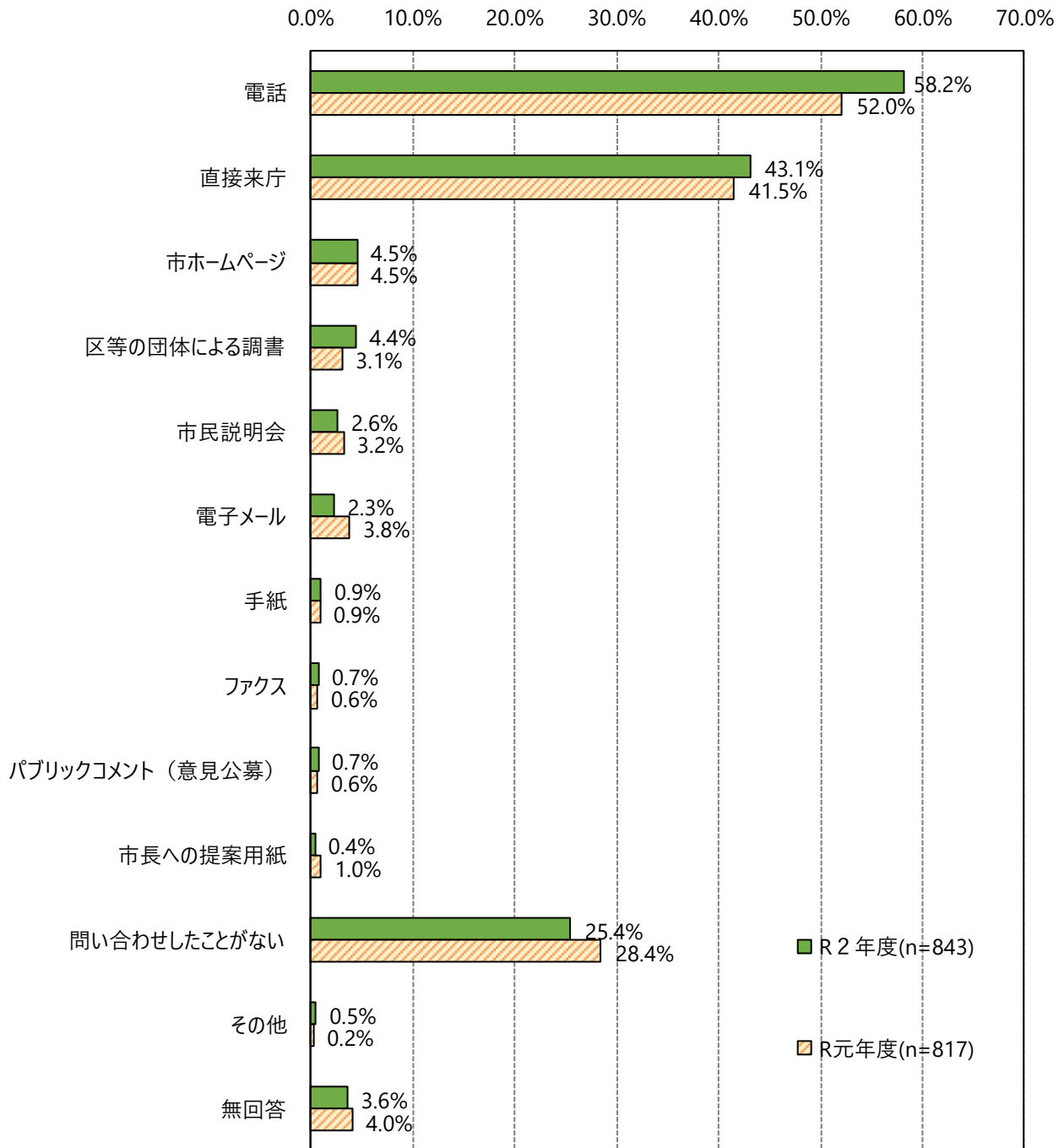
市のツイッター

前年と比べると満足度が低下していますが、前々年と比べると増加傾向にあります。

	満足4点	やや満足(3点)	やや不満(2点)	不満(1点)	わからない	無回答	合計
H30	6	26	18	20	658	71	799
R1	7	39	26	19	662	64	817
R2	6	26	25	14	718	54	843



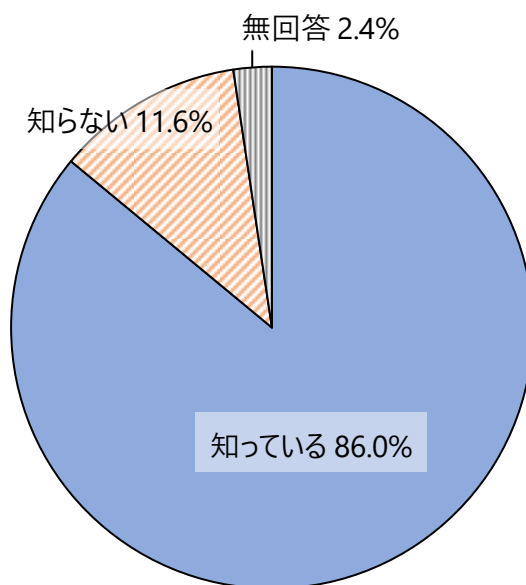
問5-3 あなたが市に意見や問い合わせをする際、使ったことがある手段は何ですか。あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)



Ⅲ 安曇野市の行政に関すること（個別テーマ）

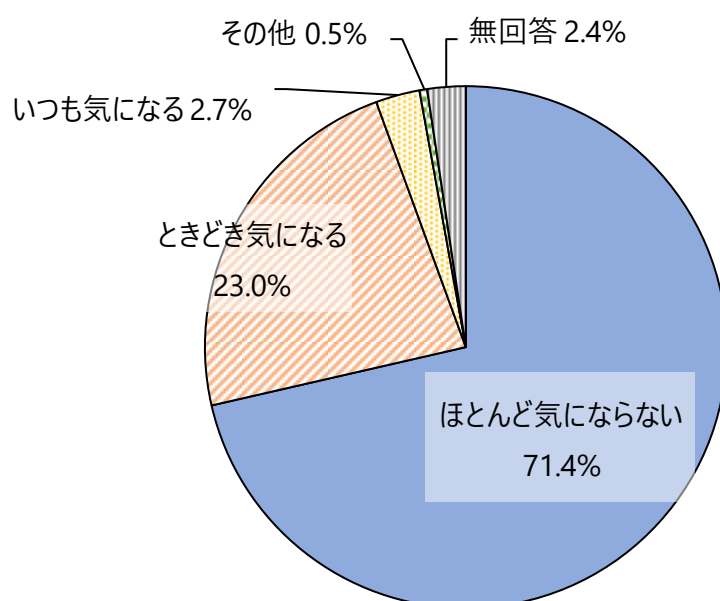
（１）水道水について

問１-１ あなたは、水道水を塩素消毒しなければならないことを知っていましたか。



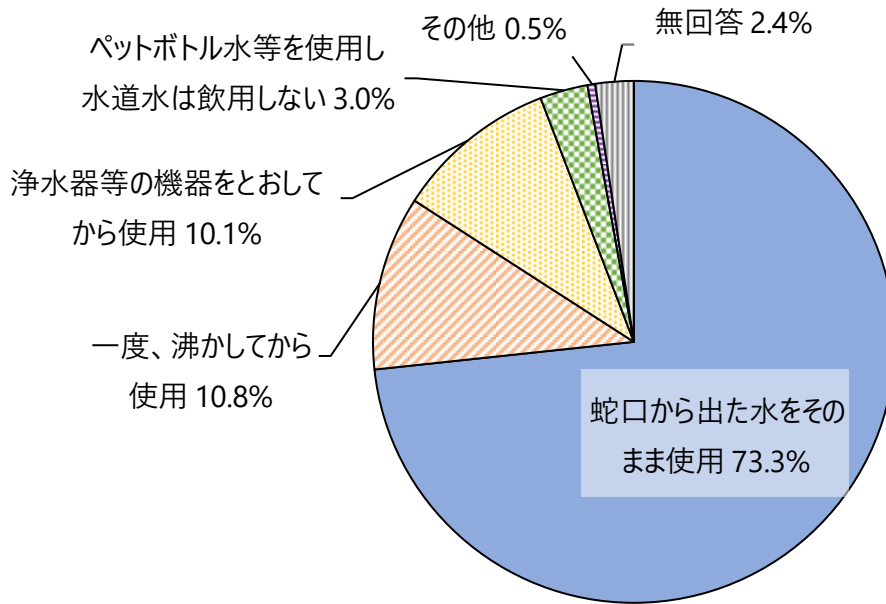
(n=843)

問１-２ あなたは、水道水の塩素消毒の「におい」についてどう思いますか。（１つに○）



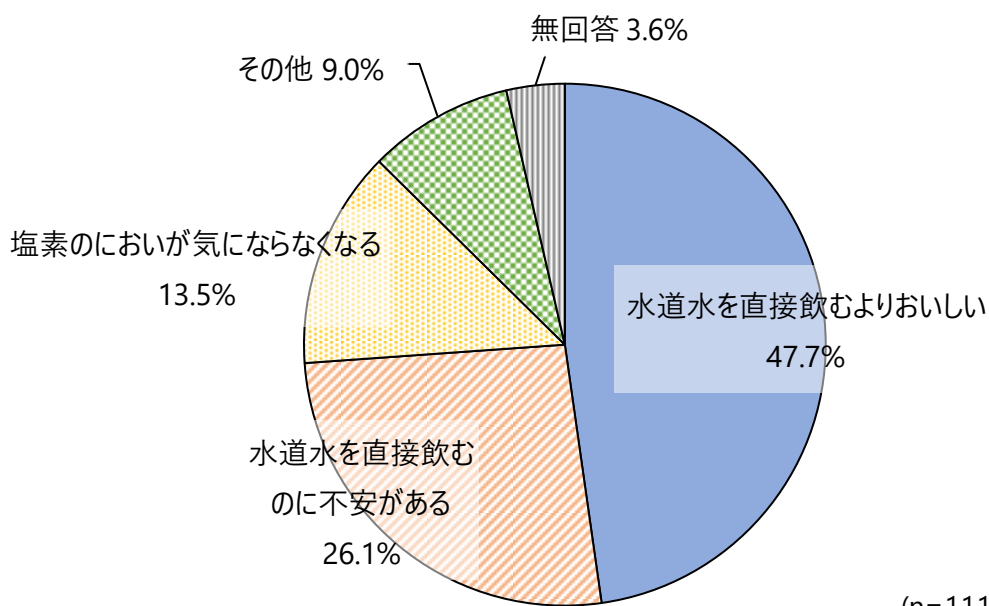
(n=843)

問1-3 あなたは、水道水をどのように飲用に使用していますか。(1つに○)



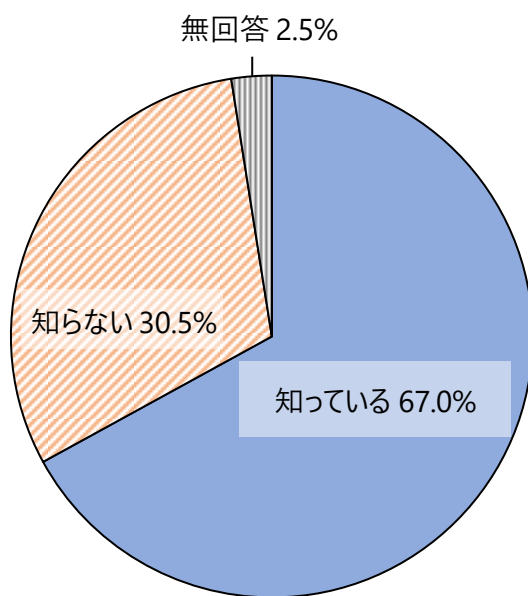
(n=843)

問1-4 【問1-3で「3. 浄水器等の機器をとおしてから使用」または「4. ペットボトル水等を使用し水道水は飲用しない」を選んだ方にお伺いします。】浄水器、ペットボトル水等を使用している理由はなんですか。(1つに○)



(n=111)

問1-5 あなたは、安曇野市の水道水が地下水であることを知っていましたか。(安曇野市の水道水は、北アルプスの雪解け水、日量約70万トンの冷涼な地下水を使用しています。)(1つに○)

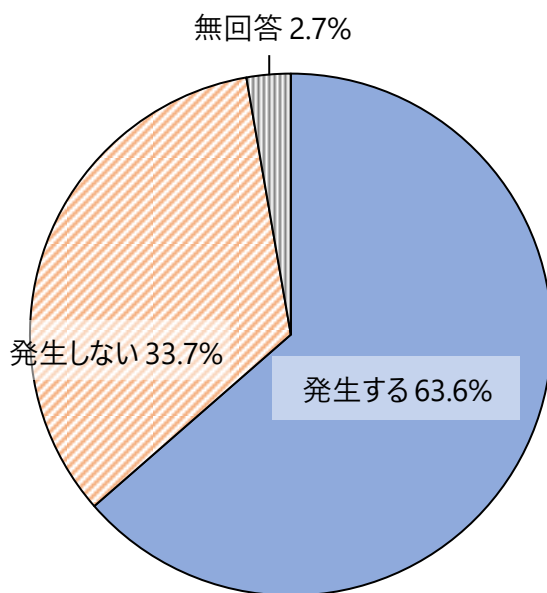


(n=843)

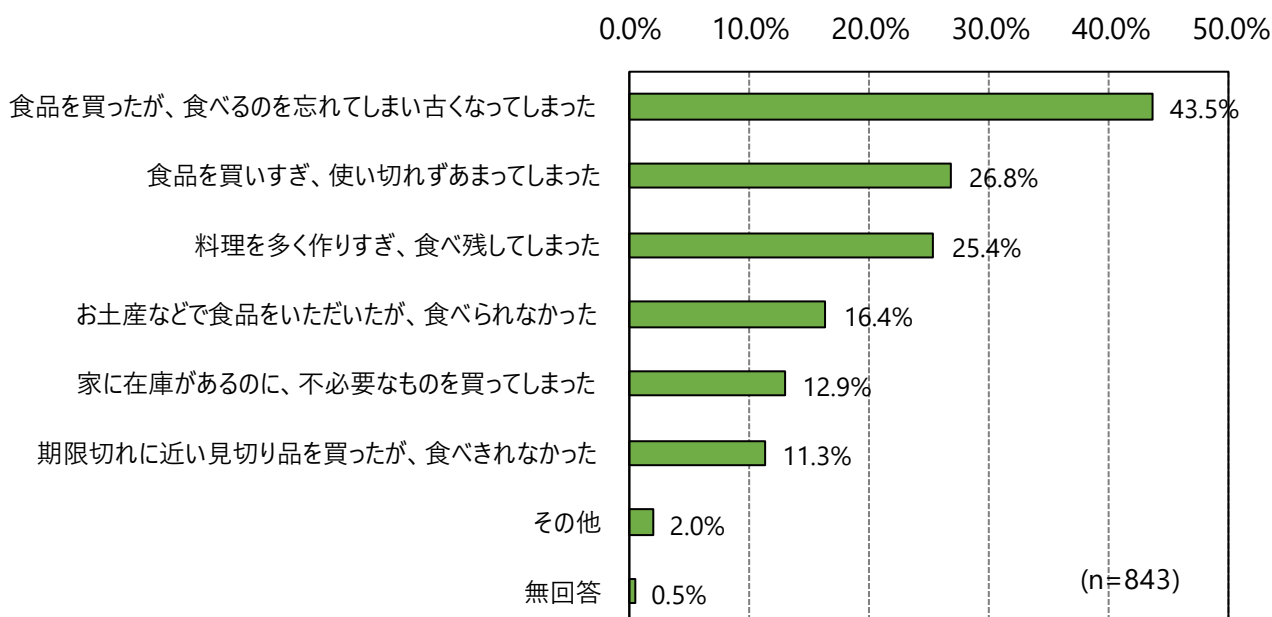
(2) 食品ロスについて

「食品ロス」とは、本来食べられるにも関わらず廃棄される食品をいい、食品ロスの削減は国際的にも重要な課題となっています。当市においても令和3年3月に「食品ロス削減推進計画」を策定したことから、これに基づき削減のための施策を推進します。

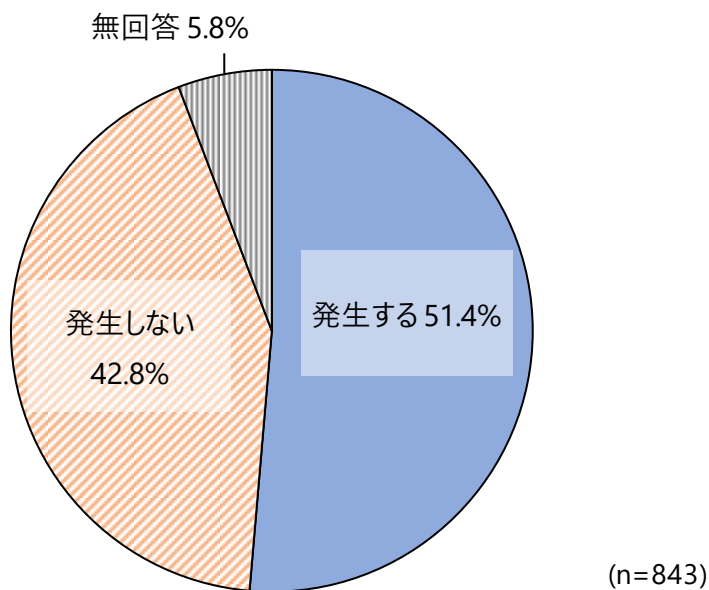
問2-1 あなたの家庭において食品ロスは発生しますか。



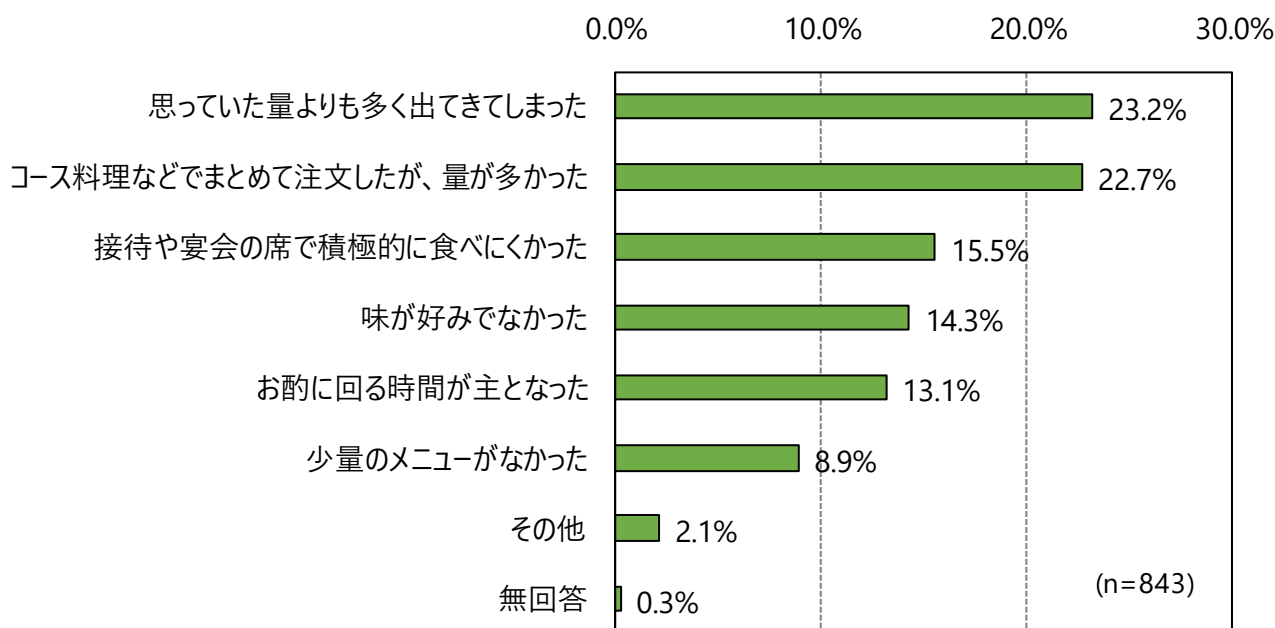
問2-2 【問2-1で「1. 発生する」を選んだ方にお伺いします。】食品ロスの発生について、あなたはどのようなことが原因だったと思いますか。(〇はいくつでも)



問2-3 外食や宴会等において、あなたの周りで食品ロスは発生しますか。



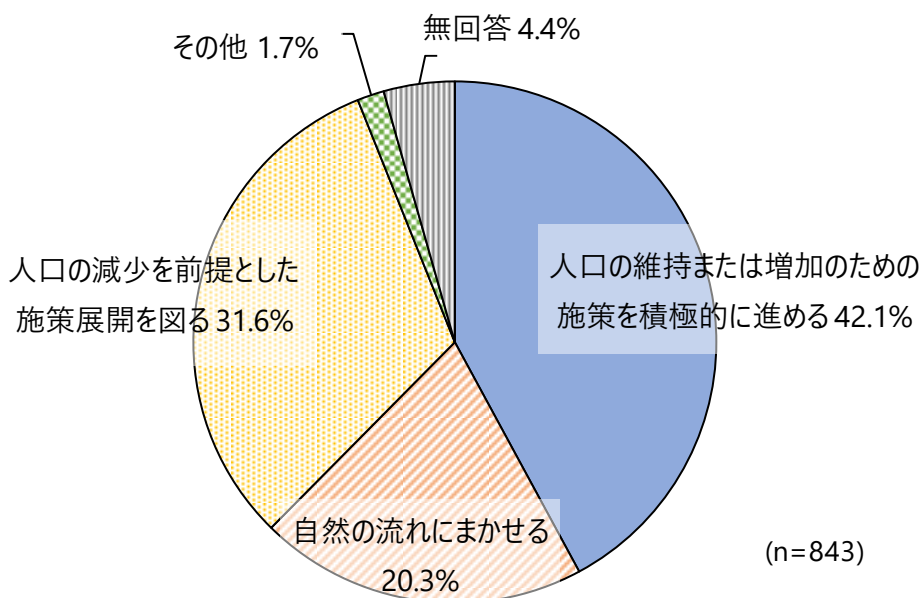
問2-4 【問2-3で「1. 発生する」を選んだ方にお伺いします。】外食や宴会等における食品ロスの発生に関して、あなたはどのようなことが原因だったと思いますか。(〇はいくつでも)



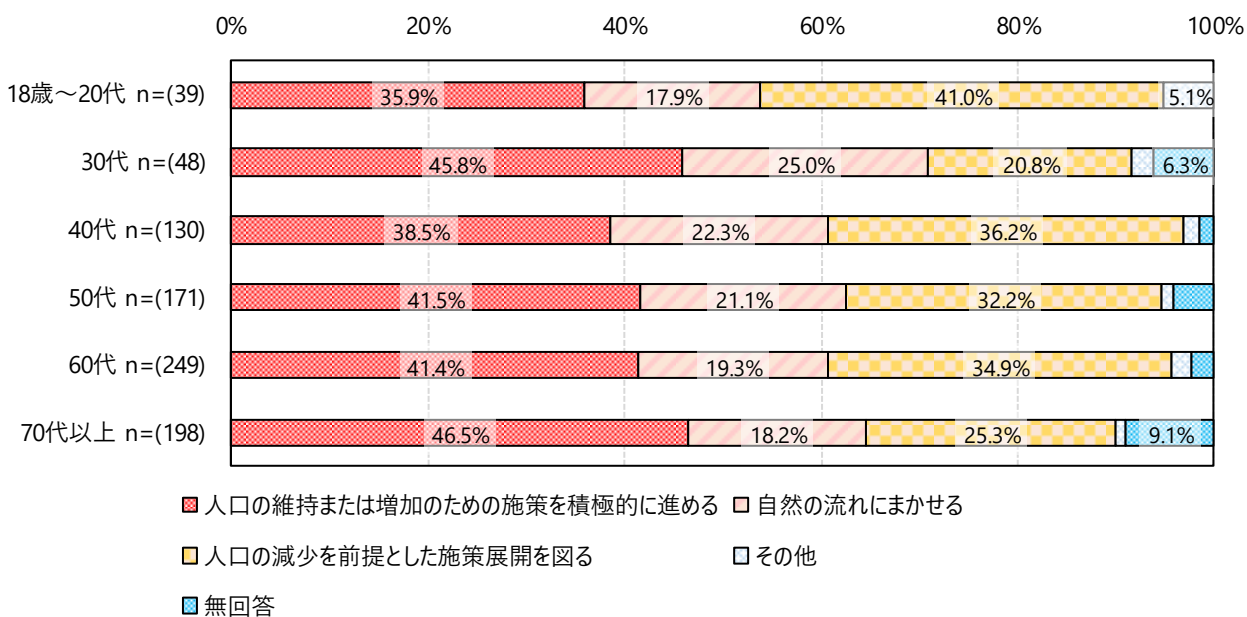
(3) 人口減対策について

問3-1 安曇野市の人口は近年減少に転じていますが、市の施策の今後の望ましい方向性として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

「人口の維持または増加のための施策を積極的に進める」が42.1%と最も高く、次いで「人口の減少を前提とした施策展開を図る」が31.6%、「自然の流れにまかせる」が20.3%と続きます。



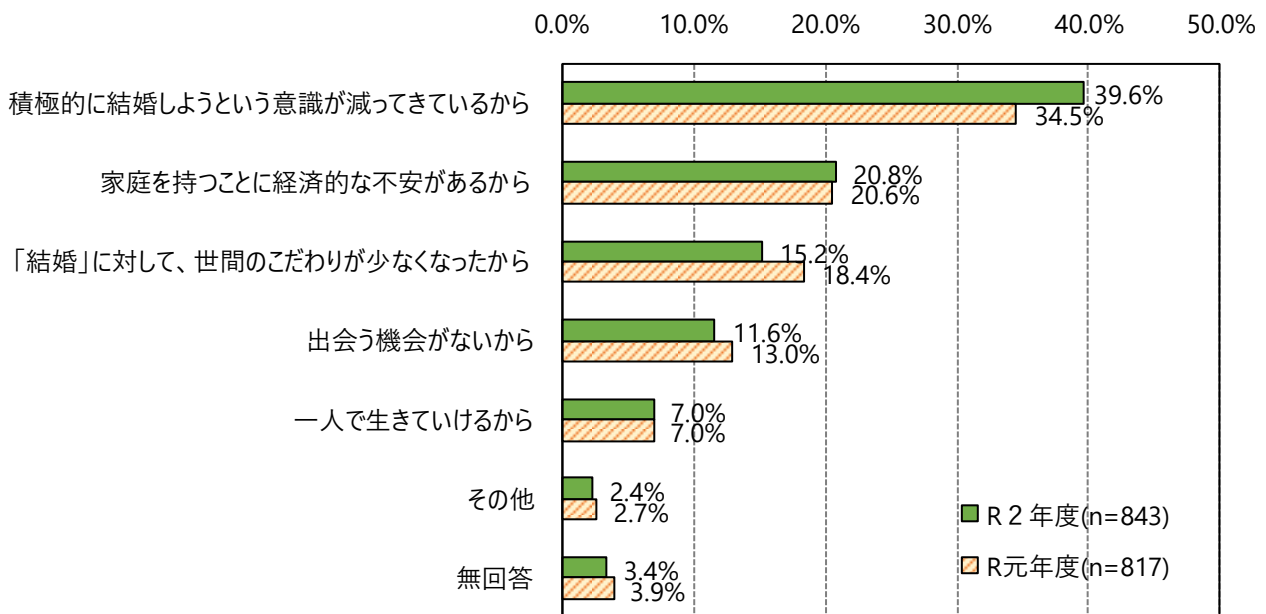
年代別



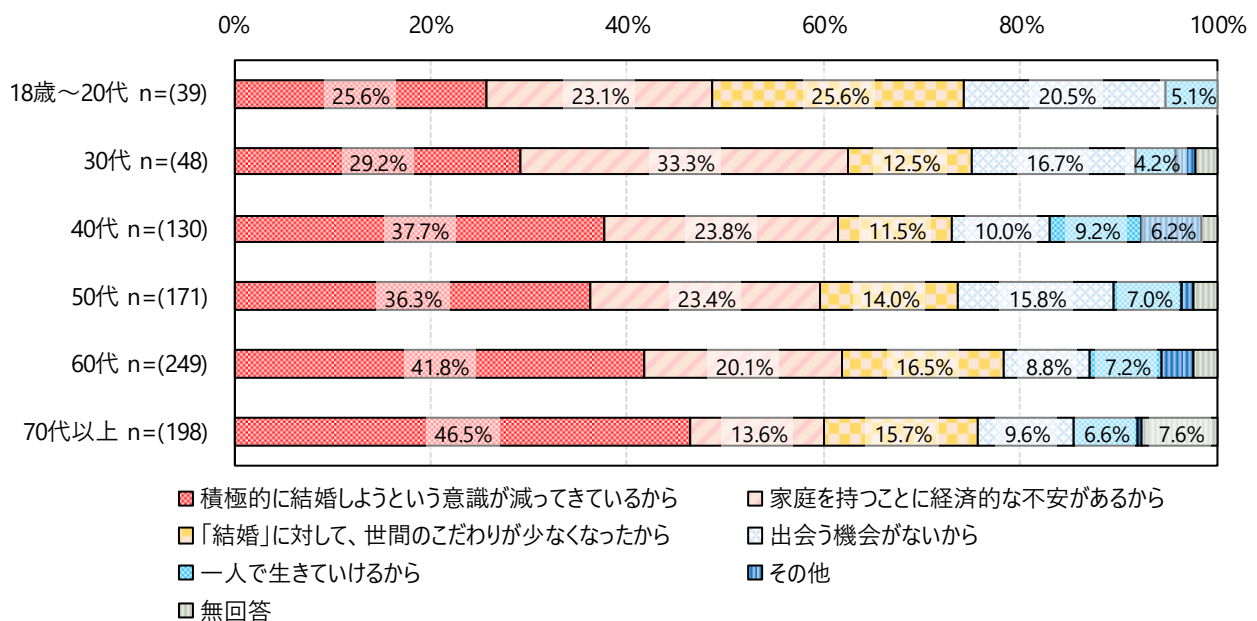
問3-2 人口減少、少子高齢化が止まらない要因の一つとして、未婚化、晩婚化が進んでいることが考えられますが、あなたは、未婚化、晩婚化の要因は何だと思えますか。(1つに○)

「積極的に結婚しようという意識が減ってきているから」が39.6%と最も高く、次いで「家庭を持つことに経済的な不安があるから」が20.8%、「結婚」に対して、世間のこだわりが少なくなったから」が15.2%と続きます。

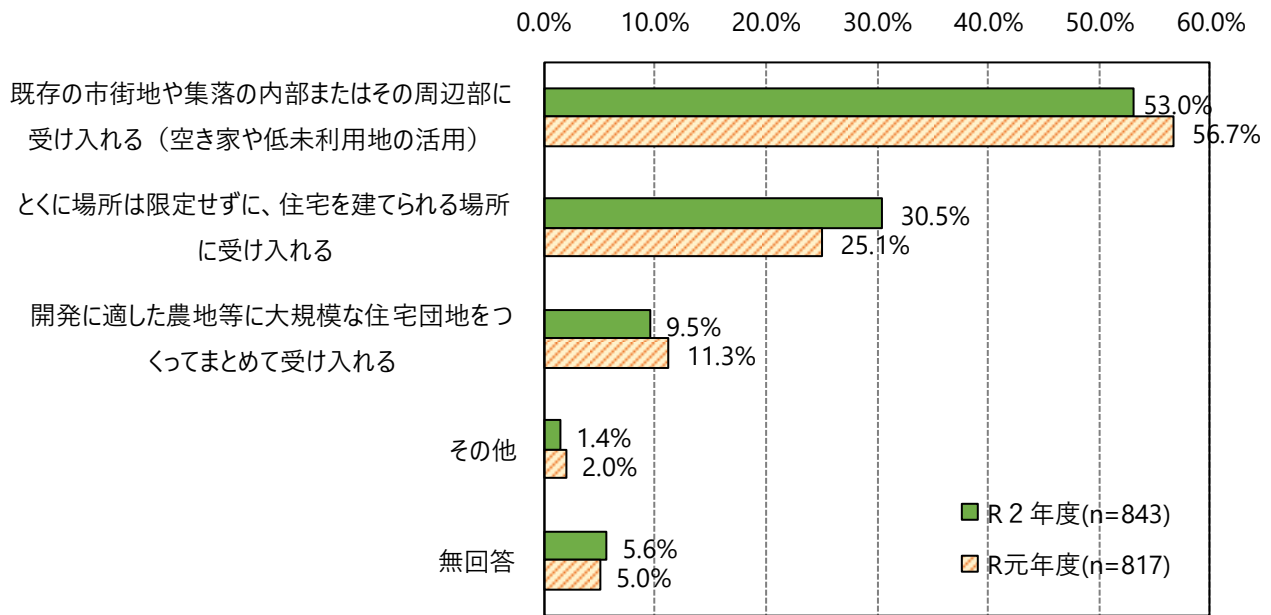
年代別にみると、「積極的に結婚しようという意識が減ってきているから」と考える人は、年代が高いほど高まる傾向がみられます。一方、30代以下の回答をみると、「家庭を持つことに経済的な不安があるから」と「出会う機会がないから」と回答した人の割合は相対的に高く、未婚化、晩婚化の要因は、結婚に対する意識の変化だけではないことがうかがえます。



年代別

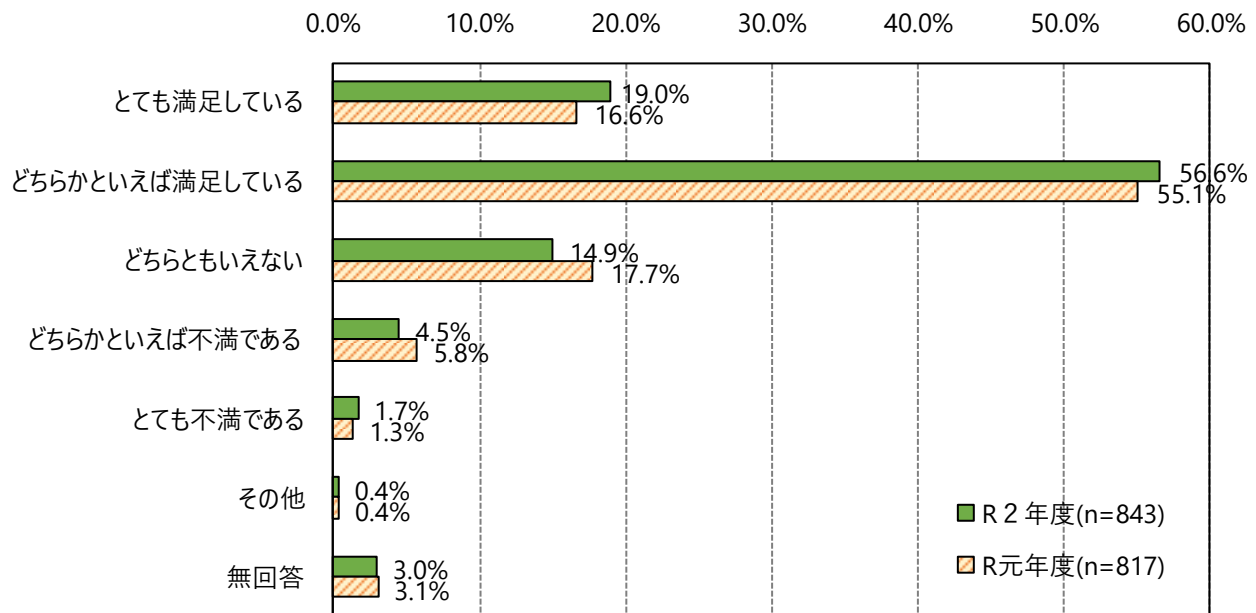


問3-3 人口が減少する中であっても、転入や市内での転居など、今後も一定の宅地需要は見込まれます。安曇野市内における宅地需要について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)



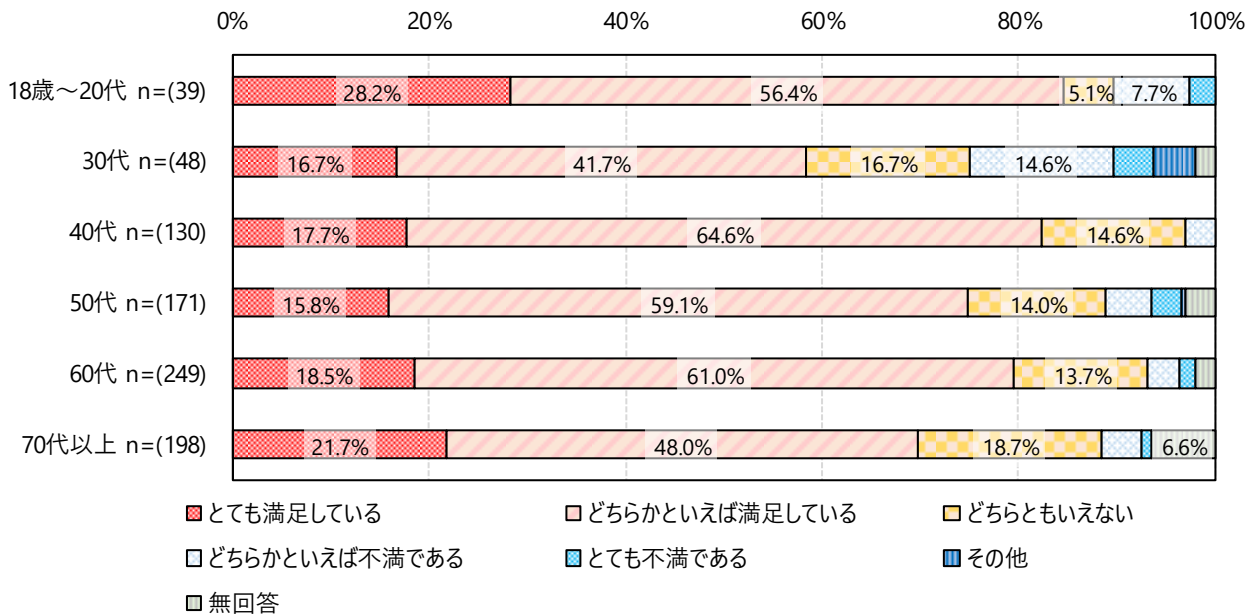
問3-4 あなたは、安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

「とても満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した人を合算した割合は 75.6%であり、前年(71.7%)と比べて 3.9 ポイント増加しています。



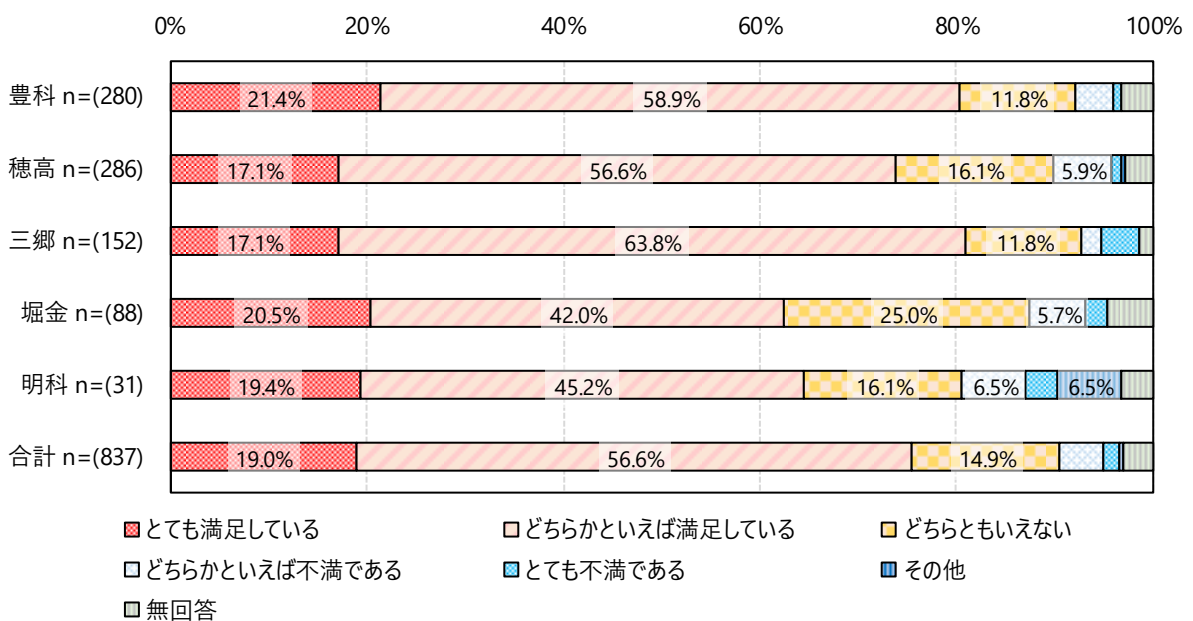
年代別

年代別にみると、「とても満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合は、18歳以上～20代で84.6%、次いで40代が82.6%、60代が79.5%と続きます。一方で、30代は58.4%と、低い割合を示しています。



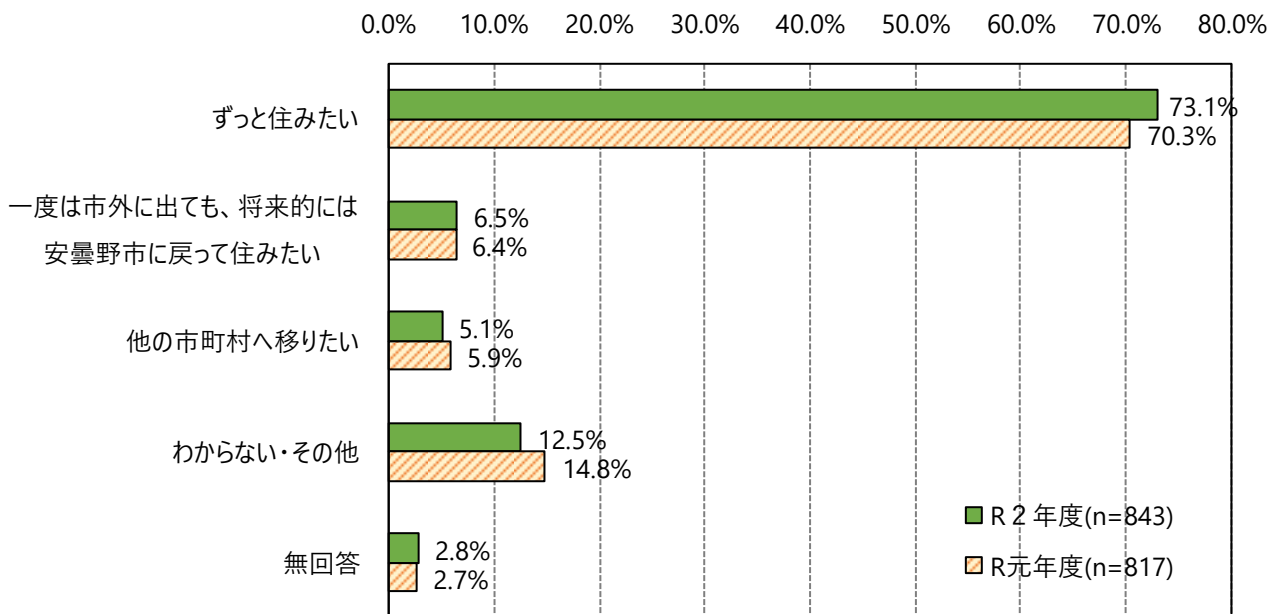
地域別

地域別にみると、「とても満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合は、三郷地域が80.9%と最も高く、次いで豊科地域が80.3%、穂高地域が73.7%、明科地域が64.6%、堀金地域が62.5%となっています。



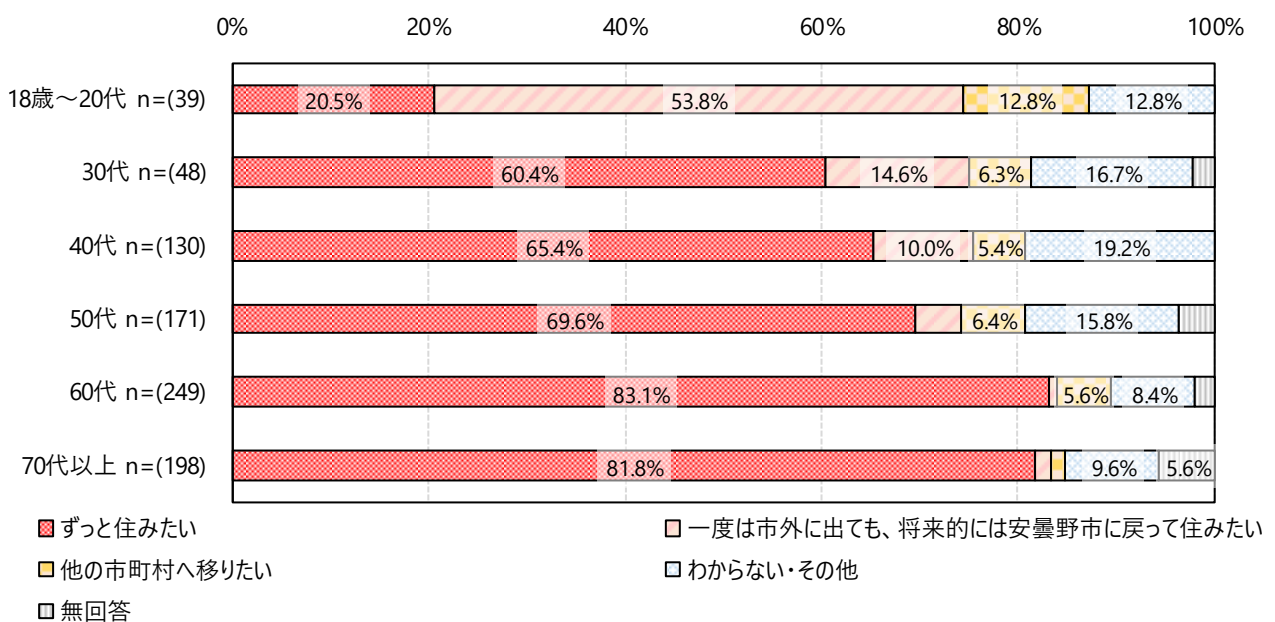
問3-5 あなたは、これからも安曇野市に住みたいですか。(1つに〇)

「ずっと住みたい」、「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した人を合算した割合は79.6%であり、前年(76.7%)と比べて2.9ポイント増加しています。



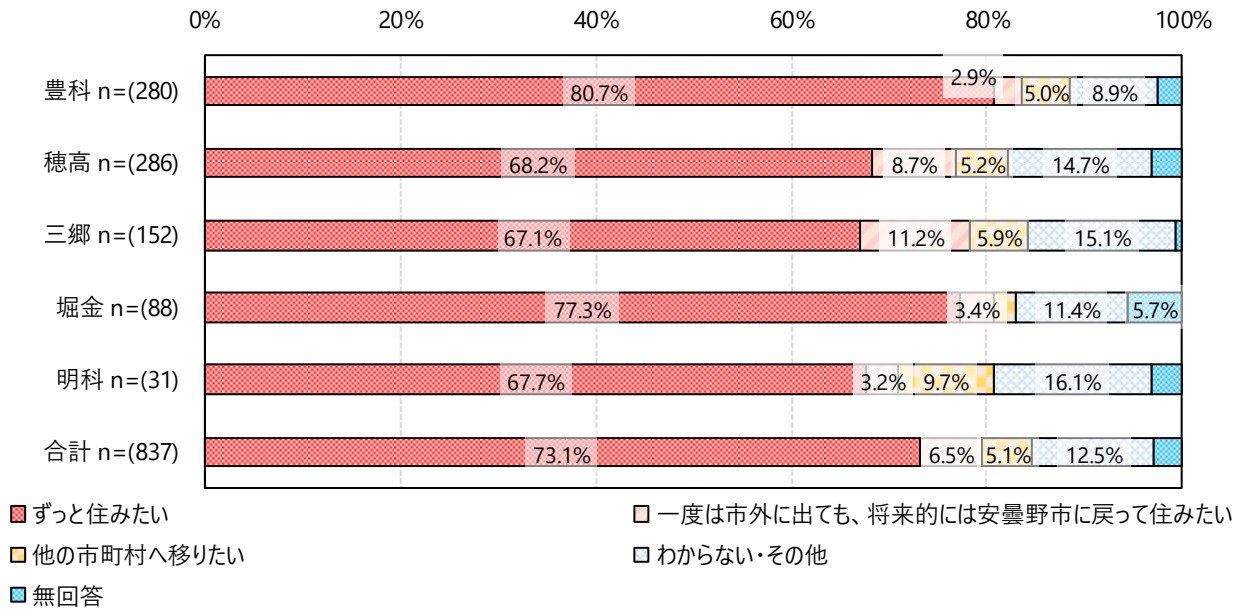
年代別

年代別にみると、「ずっと住みたい」、「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した人を合算した割合は、60代以上では特に高まる傾向がみられます。



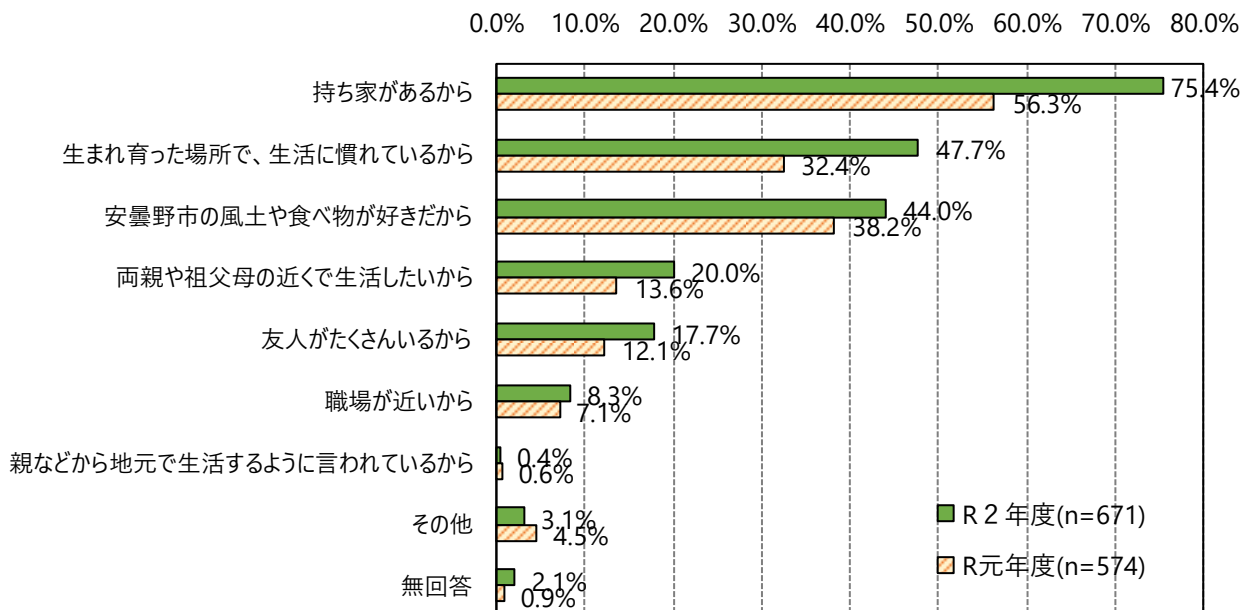
地域別

地域別にみると、「ずっと住みたい」、「一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい」と回答した人の割合は、豊科地域が 83.6%と最も高く、次いで堀金地域が 80.7%、三郷地域が 78.3%、穂高地域が 76.9%、明科地域が 70.9%となっています。



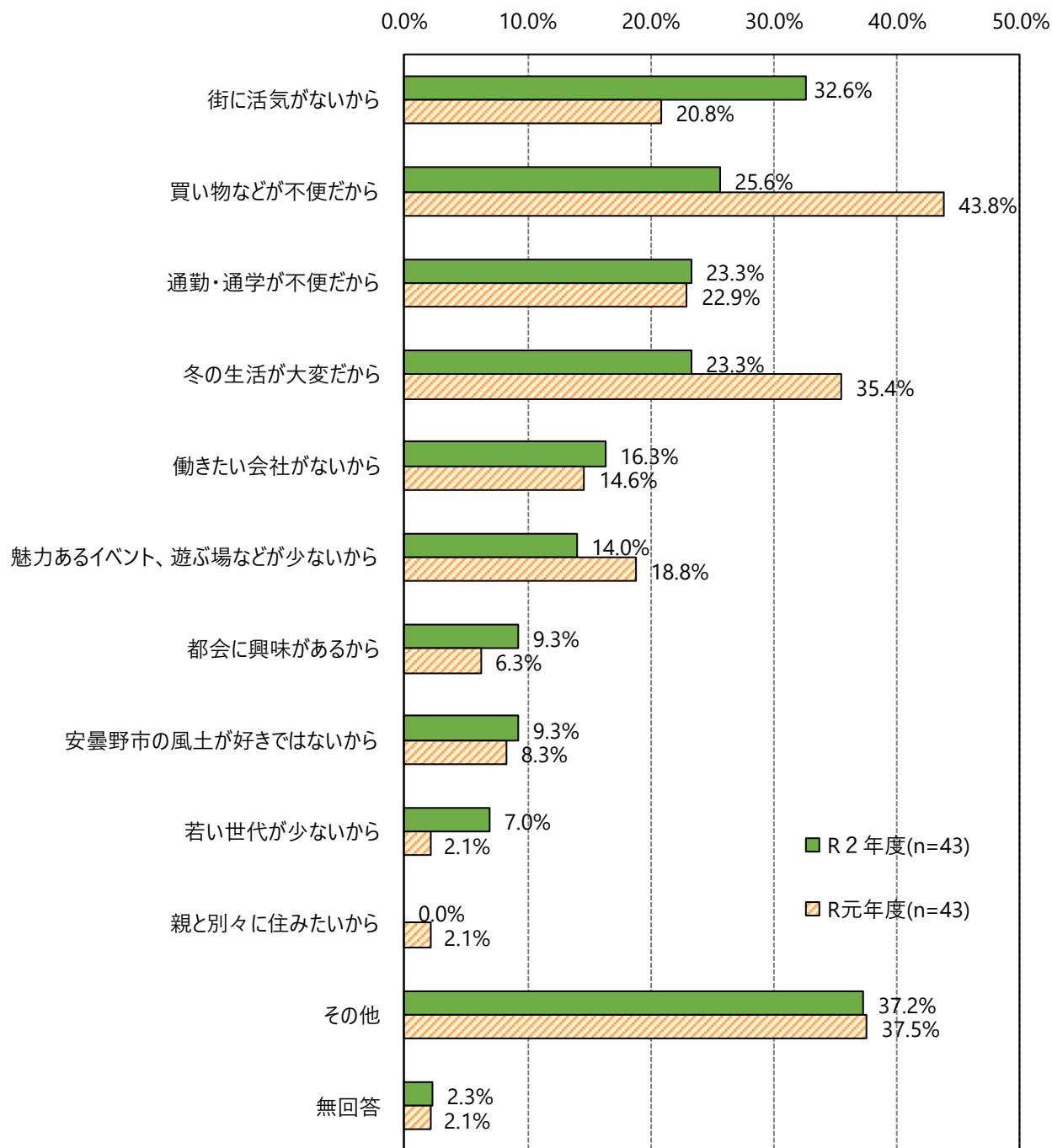
問3-6 【問3-5で、「1. ずっと住みたい」、「2. 一度は市外に出ても将来的には安曇野市に戻って住みたい」を選んだ方にお伺いします。】安曇野市に住みたい理由を教えてください。（特に当てはまるもの3つまで○）

「持ち家があるから」が 75.4%と最も高く、次いで「生まれ育った場所で、生活に慣れているから」が 47.7%、「安曇野市の風土や食べ物が好きだから」が 44.0%と続きます。



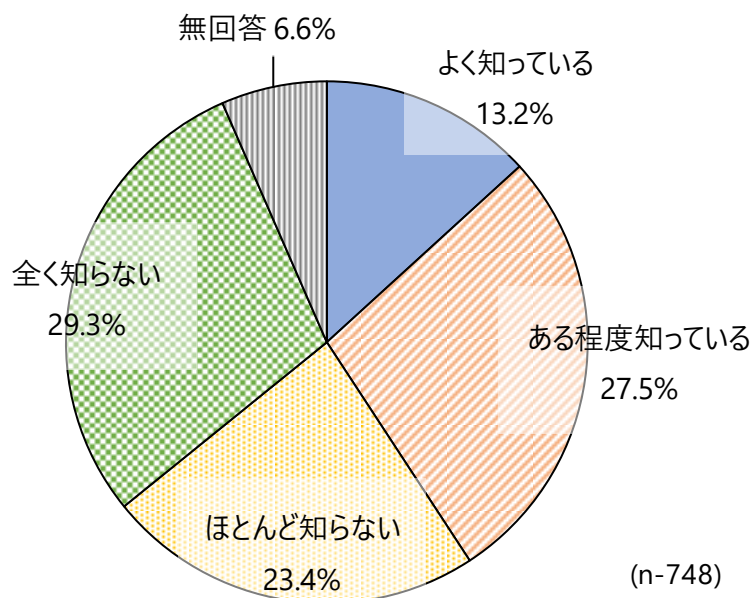
問3-7 【問3-5で、「3. 他の市町村へ移りたい」を選んだ方にお伺いします。】安曇野市に住みたくない理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

「街に活気がないから」が32.6%と最も高く、次いで「買い物などが不便だから」が25.6%、「通勤・通学が不便だから」と「冬の生活が大変だから」が23.3%と続きます。

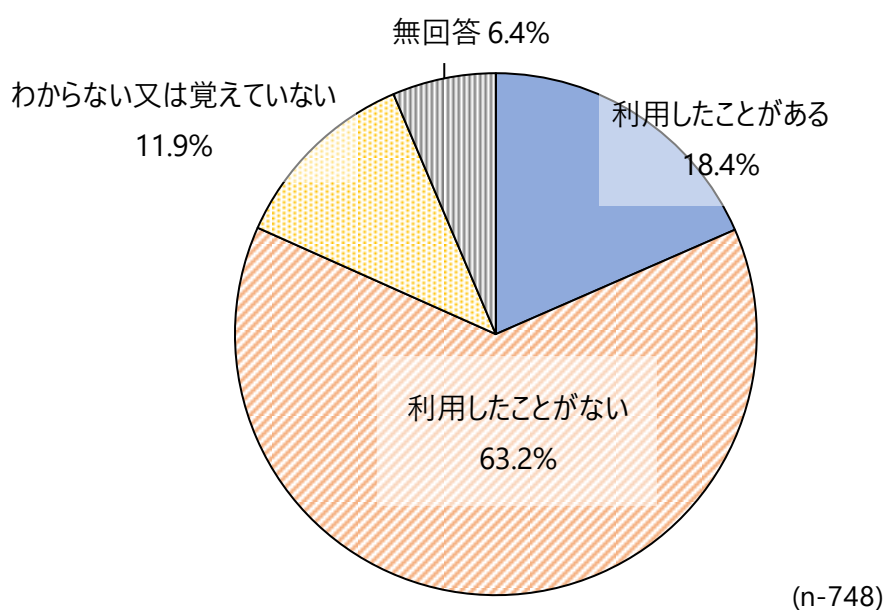


(4) 地域包括支援センターについて

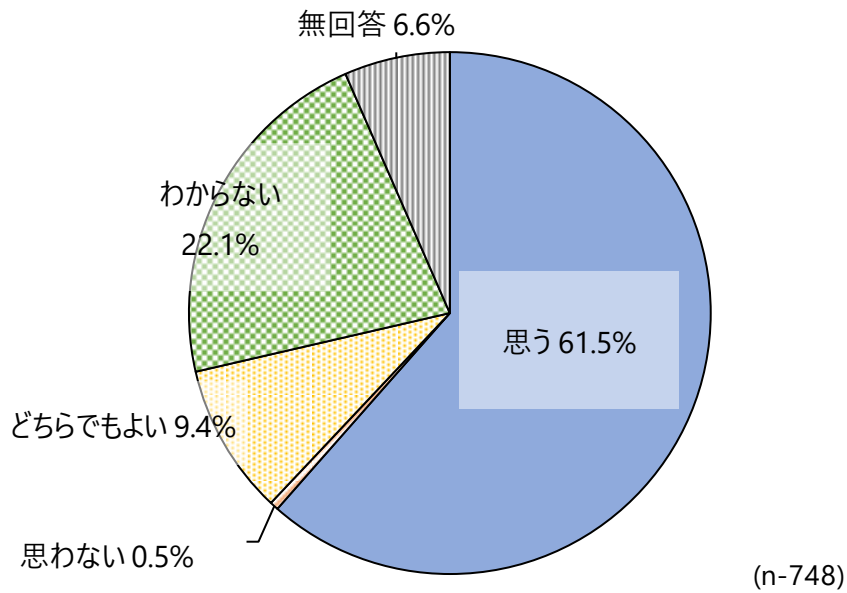
問4-1 【40歳以上の方にお伺いします。】あなたは、高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)



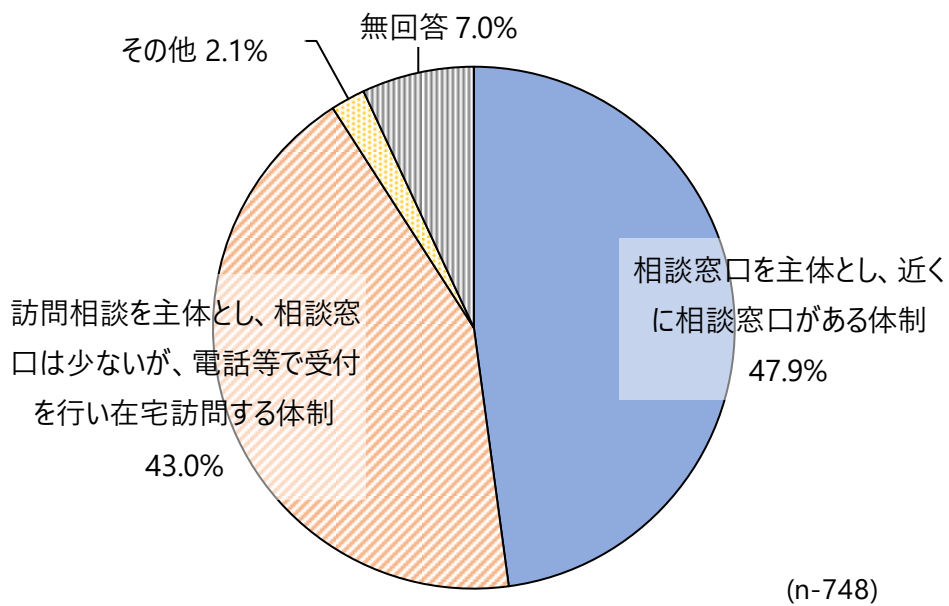
問4-2 【40歳以上の方にお伺いします。】あなたのご家族が地域包括支援センターを利用したことはありますか。(1つに○)



問4-3 【40歳以上の方にお伺いします。】あなたは、地域包括支援センターが身近にあった方がよいと思いますか。(1つに○)



問4-4 【40歳以上の方にお伺いします。】あなたは、あなたのご家族の体力が低下して日常生活に支援が必要と感じる状況になったり、介護が必要となった時に、あなたにとって、相談体制はどのようなかたちが良いと思いますか。(1つに○)



設問別 その他の意見（自由記載）

I 問1-9 1年以内の活動参加 その他の内容

- JA 総代
- 朗人大学を卒業
- 地区の社協でのストレッチ教室
- 救命講習会
- 特になし
- コロナ禍で巣ごもり状態
- 何もなし
- 無し
- 近くの公園の清掃
- JA あづみの役員

I 問1-13 外国籍市民への関わり その他の内容

- 周りにいないので考えたことがない
- 必要があれば関わる
- 自然な流れでよい
- 考えたことがない
- 必要に応じて対応したい。関わることに今のところどちらとも言えない
- 関わっている時間的余裕がない
- 無理せず自然体で
- 交流の機会があれば関わっても良い
- 時、場合等自然の流れで関わっていききたい
- 自分のことで大変なので今は関わりたくない
- 近くに外国人の方がいないのでわからない
- 接する機会がない
- 年齢的に自分の生活の事で全く外国籍市民の事は考えられない
- わからない
- 身近に居ないので関わる必要性を感じない
- よくわからない
- いまはコロナ禍で関わりたくない
- 関わる場面が想定できないため不明
- 日本国籍の人と同様に関わりたい
- 自然に接する
- 特に考えていない
- 時間がない
- 近くにいないのでその時にならないと？
- 関わりたいが、仕事が忙しく時間が取れない
- 日常生活で関わる事があれば関わりたい

- 自分たちが生きていくために、まだ周りに目がいけない
- 日本に住むなら日本語を話す
- 外国籍に関係なく同じ対応をしている
- 生活をしていて外国籍市民にあったら接する程度
- 近所等近くにいる場合は関わりたい
- 機会があれば
- 日常で接する機会があれば特に気にしない
- スポーツサークルで一緒に楽しんでいる
- 積極的に関わりたい
- 対象となる環境にない
- 経験がないのでわからない
- 普通に接し困っていたら助けてあげたい
- 日本国籍の市民と同じように接したい
- 地域活動や職場で
- 関わる機会があったらする
- かかわりがあれば適切に対処したい
- 障害で行動不可
- あまり考えていない
- 趣味などで一緒になれば共に楽しみたい
- 特別視するわけでもなく、積極的に関わることもなく、普通の市民として受け入れればいい
- ふつうに話しかけたい。日本の人と変わりなくというか…
- 住んでいる地区にいらっやれば、関わろうと考えるが、それ以外には消極的。
- 外国籍市民に対して、特に思うことはなく、上記の5項目にあてはまることはない。
- 自分と家族の生活で多忙
- 職場にいる人に対しては、普通に接したい
- 日本国籍の人たちと変わらない対応
- 自然なかたちで関わられたらいい
- 今まで見てきた人の印象が良くなかった
- 会社に大勢いるので仕事仲間として関わる

I 問1-16 市が取り組むべき市民の健康サポート その他の内容

- 家族で利用できる運動施設のクーポン配布
- 必要ない
- 免許返納し中央まで行かれないので、近くの施設を利用し行なって欲しい
- 本人次第なのでわからない
- 心の健康を考えて欲しい
- 情報の通知が弱いので"広報あづみの"だけではわからない
- 食べるのが大切、体を作る基
- 良いと思う項目がわからない
- シルバー人材センター入会 PR,就労施設や軽登山コース、ウォーキングコース等の整備
- 生活の安定、家庭に無に訪問して健康状況を
- 市が行うのではなく、地域に合ったものを利用し、民間が開業しやすくする。老人が移動しやすくする。

- 温泉施設の割引
- お金
- 体育館建設に市民の声が届いていない。スポーツジムや屋内プールの建設を
- 健康づくり用品の購入補助
- 無農薬野菜を流通させる。香害対策
- 現実的な金銭面での補助
- 検診を受けない人への働きかけ・健康づくりのための呼びかけ
- 個人でやればよい
- 学生や高齢者への健診の推進
- 道路整備、交通機関の整備
- 安曇野体操をこども園、小学校、児童館で積極的にやっていく
- 市管理のグラウンドのメンテ（使えない道具が多い）
- 正しい知識の共有・発信
- 上記の4項目は既に市が取り組みを進めていると感じるので、より充実させてほしい。
- 公園に（戸外用）いつでもだれもが使える運動ジム機器を設置
- 考えたことがない
- 特定検診を受けているけど、その後の歯科検診など、私の前の人に強制しているような態度をとっていたのはどうかと思ったので個別は嫌だ。
- 人間ドックの補助金アップ

I 問1-17 健康ポイント制度について その他の内容

- 知らない
- 参加しない
- 知ってる人は知っている、知らない人は知らないという不公平なことにならないければ参加したい
- 全ての市民が参加できる活動を考えてやるべき
- 人によって事情は様々なのでポイント制度は不平等と感じる
- 「健康」こそが活動の特典であり、ポイントとして税金を導入することには疑問
- ポイント以外は？
- ポイントやサービス券などが多いため、シンプルにお願いしたい。
- 参加したいと思わない。
- ポイント制はそぐわない。反対
- スマホを使ってない人も使用できるようにする
- ポイントがあれば集まるのであればそれなりの意義はあるが、なくても参加したくなるような活動
- ポイント制度は良いと思う
- ポイント制度は反対です
- 以前の方が良い
- 健康ポイント制度は1つの方法であり、良いと思うが、この制度が実施されても、参加するつもりはない。
- 働いていると活動自体に参加することが難しい。
- ポイントの為にでなく、参加したらポイントがついていたの方がいい。

I 問1-19 健康診断を毎年受診しない理由 その他の内容

- 忘れてしまう
- 学校での健康診査を受診していたから
- 子供が小さく1人で病院に行くことが難しいため。長時間預けられないため
- 若いから
- 予約が面倒くさい。指定された日が休めない
- 忘れてしまう
- 安曇野市では受診するになれず以前の住所市にかかりつけはあるため
- 特に症状がないから
- 特に理由はない
- 特に悪いところがないのでこれくらいでよいと思っている
- 高齢で医者に行くため
- 会社で行っている
- 2年ごと補助金が出る
- 病気で診てもらっている
- 病気のため毎月通院している
- 忘れてしまう
- 会社の健康診断を受けている
- 予約が取れなかった
- 介護があり受診する気持ちになれない。市の検診は簡易すぎ信用できない
- 会社で健康診査があるため
- 忘れる
- 申し込み方法が複雑になった
- 健康だから
- 会社で健診
- 面倒
- 学校で健診を受けている
- 受診の案内がまだ来る年齢ではないため
- 学生だし受けろと言われないから
- 内容があわない
- 会社受診
- 健康食品を飲んでいる

I 問1-20 地域福祉の推進に必要なこと その他の内容

- 核家族が増えている。子供の放課後の居場所の多様化、児童クラブ以外の選択肢
- ない
- 女性が仕事を続けられる子供の受け入れ先を増やしてほしい。児童館、未満児の受け入れ先、安心して預けられないと働けない→安心して住める地域になっていかないのでは
- 安曇野市には重度の介護者を受け入れてくれる事業所がないため、自宅介護が難しい。
- 在宅介護をしている家族への配慮
- 登録ボランティアの充実
- 地域にかかわる年齢が高すぎ、別に困っている事もない。問題が起きた時に感じる人が多いと思う

- 困ったときの日常生活の援助
- 個人情報保護が強まり近所、地域に積極的に関われない
- 支所などと顔合わせでの支え合いを
- 民生委員の見回り強化。あづみんより便利な移動手段
- PC やメールを使った配信やオンライン参加のプラットフォーム作り
- 市役所職員が市民のために問題解決に取り組み相談に乗ること
- 障害を持った子・保護者へのサポート
- 市政に市民の声が届く場があった方がよい
- 民生委員がもう少し踏み込んだ活動をしてほしい。人数増員を
- 不必要な事業の整理をし、社会ストレスを軽減する
- 自家用車がなくても行動できるよう支援
- 地域活動等へ参加することへの強要排除
- 民児協会長は福祉の心根を備えた人にやってほしい
- 未就学児全員の発達検査と結果から必要な支援。支援員の育成
- 同じ障害の方の集まりを積極的に通知してほしい
- 道路の整備

I 問1-23 家族介護用品購入助成事業の今後 その他の内容

- 助成の金額を上げて欲しい

I 問1-24 介護予防の充実 その他の内容

- 高齢者と高齢者以外の人と一緒にできる何かの居場所づくり(老人施設と保育園・学校等の複合施設)
- ほとんどの仕事(社会参加)
- 教室を開催することは良いが、参加を促す個別の声掛けをしないと広報等のみでは参加しにくい
- 何をしているか知らない人が多いと思う。情報をわかりやすく発信すべき
- 認知症カフェやサロンなど集える場
- 4.に関連した栄養指導(定期的な)
- 自宅で一人でも出来る情報提供
- 心の健康を考えて欲しい
- 外に出るのを嫌う人に対するケア
- 安全に散歩できる環境の整備
- 高齢になってからだとこだわりがあり参加を嫌がる方がいそうのため、60歳ころから体験等をさせる
- 教室に通うための足の確保(提示で利用できるバス等)
- 自分なりに散歩したり、整形外科で教えていただいた運動で不自由を感じていない。
- わからない
- 参加したことがないのでわからない
- ネット等が使えない高齢者に対する配慮がない(情報取得講習が必要)
- 年をとると参加できなくなる。7運転もできなくなる
- 認知症発祥のタイミングをつかみ支援につなぐ方法
- 介護予防事業へ参加する方への送迎システム
- 教室を行うことは良いことだが、送迎を市の職員が行ってくれるなら開催しても良い。住民主体にするなら迷惑。

- 働く、体を動かす、役割を与える、若者との交流等、社会に必要とされる存在へ
- 事業のアピール
- 身近な所で、安心して散歩・軽運動ができる場所や施設
- 運動のできる無料の施設
- 教室などで実施されても出かけられない老人が多いと思う
- 高齢者の運転マナールール教室
- 若い人、子育て世代の移住
- 参加したくても交通手段のない方、必要なのに出かけない方のための行動に結びつくものを考えてください
- 市役所の年中無休化
- 安全にウォーキング等出来る道路の整備・施設の確保
- 車のない世帯の交通手段の充実
- 個人が自宅で出来ること
- 歩道の整備・反射板の配布
- 趣味を活かし、継続できる運動
- 要介護者の真のニーズの把握とそのニーズに対する具体的な行動が必要。
- 何も無い
- 市になる前妊婦の料理教室に行ったとき、体に負担のない生活と言ってたけど栄養士さんに肉がフライパンにつくと「だめじゃない!」と言われびっくりしていると「ごめんなさい」ってもう行きたくないと思った。年よりも妊婦もはじめてのことで色々なことは、だめだなと目をつむってもらいたい。
- 本当に必要な人は自主参加はしない。強制参加のしくみ

I 問1-25 退職後にやりたいこと、退職している場合どのように過ごしているか その他の内容

- 大学の授業に参加する
- 区の活動をしている・健康体操など
- 退職がない仕事なので今の仕事をやり続けると思う
- 平常心を保つため自由にしている
- 出店・開業
- そのまま農業を続けたいと思います
- 何もできない
- JAの活動に参加
- スキルを活かした社会貢献
- 花作り
- 旅行
- 創造的な活動
- 地域活動・寺の世話人
- 妻の介護、車の運転
- 庭造り
- 親の介護
- 旅
- 地元に必要な企業を作りたい
- 起業・国際交流事業
- ガーデニング
- 介護

- コミュニケーションが難しい
- 親の介護
- 家の片付け、家庭菜園
- 遠隔地の空き家の処分・片付け
- 子育て
- 自宅で静かに暮らす
- 終活
- 孫の面倒をみてます
- 今のところ自分一人で動けない
- 考えていない
- 孫の世話
- やめずに続ける
- 自営業のため、家業に専念

II 問2-2 安曇野市の魅力は何か その他の内容

- 何もない
- なし
- 星がきれい
- ない
- 何もない
- 図書館が気軽に利用できる
- ない!!魅力はない!ない!!
- 北アルプスと田園の景観
- 野菜がおいしい
- 特にない

II 問2-3 農産物の購入方法 その他の内容

- 自分で生産
- 義祖父母から頂く
- 自分で作る
- 通販
- 生活協同組合
- 生協
- ほぼ自家製
- 自家菜園
- 実家からもらう
- 自家栽培
- 値段
- 自分で作っている。所属する農事組合で作っているものを購入している
- 自作

II 問2-4 農産物を購入する際に重視するポイント その他の内容

自由記載なし

II 問2-5 地元農産物を購入するか その他の内容

- 我が家で生産しているものがほとんどです
- 自家製のためほぼ買わない
- 買い物に行かない

II 問2-6 市内の加工所・直売所に求めるもの その他の内容

- 安心安全な品質
- 栽培方法
- 1と3
- おいしさ
- 別になし
- いつでも売り切れずに棚にあること
- 安心と安全
- 無農薬
- あまり割高感があると買えない
- 野菜それぞれの量の設定
- おいしいこと
- 安全性
- 低農薬

II 問2-8 農村社会（地域）で暮らすうえで心配・不安なこと その他の内容

- 周辺の林がなくなっていくこと（木が切られ住宅が増えること）
- 野焼き？外で火をたく人が多い。くさい
- 後継者の減少
- 子供を診てくれる夜の病院が近くにない
- 別になし
- 草の処理法、除草剤やめてほしい
- 街灯の少なさ
- 他県出身の嫁に対して冷たいと感じる。排他的という面で孤立を感じる
- 高齢化が進み、若者・子供が近隣に少なく、行事活動等が出来なくなるのでは
- 入浴できる施設が少ない
- 外来植物、有害植物
- 地区の役員等の仕事や種類が無駄に多い
- 都市化、住宅街化による温室効果
- ごみ捨てがない
- 高校が市内にあまりない
- 高齢化
- 所得の少なさ

- 木の処分
- 太陽光パネル事業によって景観が悪化している
- 野焼き
- 保育園民営化、農協の移転等寂しく暮らしくなっていく
- 旧態然とした交通マナー
- 道路の整備が不十分な為、高齢者が歩行しづらい
- 車の運転ができなくなった時の交通手段
- ごみのポイ捨てや犬のふんを持ち帰らない
- 農地が住宅地が変わっていくこと
- きれいな空気や水があればいいと思うがそれにあわない施設があること。

II 問2-9 農村社会が持つ魅力 その他の内容

- 別になし

II 問2-10 農村らしさを生かしたまちづくりに必要なこと その他の内容

- 移住した方の交流促進
- 市に農村らしさって
- 松くい虫対策後の森作り
- 民意の意見をきちんと納得いくまで精査してから決定実行すること
- Uターン、Iターンの促進化
- 別になし
- 農業の担い手支援
- 農地の荒廃化をどうするか
- 地元の人意識改革
- 観光の施設が不足している
- 利益の出る農業にする。農機具のレンタルやコストを下げる方法
- 農業自体の活性化
- 公共交通網の充実と文化的景観学習
- 子育てのしやすさ
- 鳥獣外への対策
- 子育てしやすい環境を作る
- 農家の後継者問題
- 高齢者の移動手段
- 新しく農業を始めたい人への情報発信
- 農業をする会社があったらいいと思う。職員として入社して、田んぼ作ったり、リンゴ作ったり。JAとは別で
- ネット等での魅力の情報発信
- 個人農家も高齢者の農家も作業が楽になるような取組み(ドローンやネットを使った作業など)
- 何千万もで土地を買い、家を建てたのに、アスベスト目で見たら取ってやっていると施設があり、いつか出ていかなくてははいけなかつらさが無い市。

II 問3-7 安曇野市の土地利用をコントロールするルール（土地規制）の考え方 その他の内容

- よくわからない
- 細かいルールがわからない。ルールの結果が適正かどうかわからない
- 居住地区付近では守られているが、市全体に関しては不明
- 何も知らないからわからない
- 農地を分筆し住宅が増え、景観が悪くなっている。将来空き家が増えると思う
- 太陽光パネルのおやみな設置は景観を大きく損ねる
- 規制が遅すぎた様に思える
- 景観、環境の保全はとても大切だが、高齢化率を考えると、人口増加や産業振興は先々を考ええると重要
- 住民が NO と言っている事業者に OK だして、土地を自由にできない計画を守らせて住民の住みにくい市があるということですか

II 問3-8 空家対策を推進するために必要な施策 その他の内容

- よくわからない
- 空き家をちいきのひとにレンタルできる仕組み（時間でサークル活動や地区活動に）
- 近隣に空き家があるが、所有者が今後どのようにしたいのか思いあぐねている状況があるように思う。長く空き家にしている所有者自身の悩んでいた気持ちを汲み取っていただきたいと思う。（経済的な困難さもあるように思う）
- 更地にしたらどうか
- 空き家の持ち主へのコンタクトの充実
- 支所の人が見回ってほしい
- 新築できる件数に制限をかける。家が増えると将来相続不備の家、空き家、建築語彙が増えたり、開発時に立ち退きも難しくなると思う
- ない
- リノベーション
- 長期空家の所有権の放棄、解体費用の完全公費負担など法的整備
- なぜ家を手放さなくてはいけなくなったのかの経緯、ずっと住みたいのにと言う人もいるでしょう

II 問3-9 空家に関する課題を解決するために必要な補助制度 その他の内容

- 解体費の補助・土地売却しやすい制度
- 空き家所有者へのヒヤリング
- 補助制度は必要だと思うが、売却等した場合補助額分は返納すべきだ（是正など）
- 難題すぎて答えは出ないです
- 固定資産税を上げれば良い。永年放置されている土地、家屋は行政が処分できる法を作れば良い
- 補助がある事は良いが税金が使われる。持ち主の責任で解決する。空き家になる原因を追究する
- わからない
- 景観、危険等が著しく悪影響を与える空き家は強制的除去（法的）処置が必要と思う
- 市で解体、売却する
- 住居のリフォームもかなり高価なので、大幅に補助がいる
- 家主が高齢になり管理できなくなり空き家になってしまう前に支援のできる体制をとっておく
- わからない
- 墓や仏壇に関する問題解決のための補助

II 問4-11 特色ある学校づくりのため、力を入れるべきこと その他の内容

- 現在関わっていないのでちょっと解りません
- 無駄な体育館は造るな
- 年齢で区切られている(横並びの関係)今の学校を、縦割りの教育をより増やし、老人ホームや保育園ともっと近づけるような仕組み)
- 道徳の時間を増やしてほしい
- わからない
- 自己肯定感を育てる教育(みんな一斉ではなくここを伸ばす教室)
- 生きる力を教えて欲しい。実体験
- 特色よりも子供の健やかな心を第一にと思います
- 地産地消(春色、旬菜)、自校給食のモデル校を残す
- 余裕ある教育、楽しい学校生活を
- 子供がいなくて良くわからない
- 校舎、教材を整え、気持ちよく学べる環境を整えて欲しい
- 教員の質の向上。積極的に外部からはいれるようにすること
- 多様性の尊重
- わからない
- 各学校の独自性ある取り組みへのサポート
- 教師の世間ずれを感じる。教師の社会性を育てて欲しい
- わからない
- 失敗しても再チャレンジができる環境
- 個性を尊重した教育
- 職業体験
- 世界に通用する教育
- 特別支援学級の在り方
- 教員の質の向上
- 障がいのある子ども地元の学校へ通えるようにする。学校へ行けない子の学びの保証。多様な学びへの公的支援
- 教員のサラリーマン化がひどい
- 教育者(先生)への報酬アップ
- 先生の仕事が多すぎ(生活指導など)学習指導がおろそかになる
- 1~5 がどういうことを指しているのかよくわからない

II 問4-12 生涯学習の参加状況 その他の内容

- サロンでの講演
- 孫育てと農作業で参加できない
- 博物館、美術館巡り
- NHK カルチャーセンターの学習
- web

II 問4-13 運動・スポーツの頻度 その他の内容

- ほとんどなし
- 全くやっていない
- ほとんどなし
- 運動、スポーツという意識で動いていないのでほとんど0です
- 仕事で精一杯
- していない
- 犬の散歩
- 数ヶ月に1回
- 朝ラジオ体操
- 農業が運動
- 全くしていない
- していない
- 特になし
- していない
- しない
- 何もしていない
- 全く行っていない
- コロナの影響で中止中
- 特にしていない
- 現在していない
- 全くやっていない、出来ない
- なし
- 健康診断前に3か月程度運動
- していない
- 子供の世話
- 年に数回のゴルフ
- なし
- 何もしていない
- 何もしていない
- 仕事での歩行距離が長い
- 仕事で疲れ切って休んでいる
- 全くやっていない
- 仕事で歩いている
- 無し
- 月 18~20 回
- なし
- ストレッチ程度、ほぼ毎日
- 週に4回
- 全くやっていない
- やっていません
- コロナ禍で行っていない
- なし

- 孫たちと散歩する程度
- 家でテレビ体操
- 今は一人では動けない
- ほぼしていない
- 全くしない
- していない
- していない
- ほとんどしない

II 問4-15 期待する安曇野市の博物館の姿 その他の内容

- 博物館に興味が無くわかりません
- 地元の学校が、地元にある博物館を利用していないことに問題がある
- 金のおいしめしないのでいけない
- 行きたくなる博物館
- 生涯学習の場は公民館が役割を果たすべきと考える。公民館活動に補助を
- 利用者の少ない博物館や資料館はいらないと思う。税金の無駄遣いだと思う
- 数はいらない。1つに④を集約したほうが良い
- 何回でも行きたくなる博物館。カフェがあって、カフェ目的でもよいと思う(美味しい食事やコーヒーがある)
"コト"作りが出来る(様々な体験、五感で感じることが出来る→楽しい)
- わからない
- 年とともに参加できなくなり、また、小さなまとまりがなくなり残念です。バスの定期運行をしてほしいです
- 見る、触る、聞くなど、五感で感じられる"楽しい"博物館
- わからない
- 総合博物館等、統合した施設
- 今ある物を洗練された展示方法で
- あまり活用されていないと思われる博物館は統廃合を考える方が良い
- 特に必要か
- わからない
- 博物館は必要ない
- 必要なし
- 新博物館の建設、歴史系。自然系を合わせた博物館がふさわしい
- 同じものの展示ではなく、いろいろな分野の作品等を展示してほしい
- 建物を纏める
- 知らない
- 知らない
- 博物館の必要性を感じない
- 博物館など必要ない!
- 地域の人のみならず、県内や国内からも注目される(展示物がある)博物館
- 市役所に展示環境を作ってもらいたい
- 博物館でなく図書館の中に④のコーナーを作ったらいと思う。
- 市民の料金無料

II 問5-1 市政情報の入手先としての広報媒体の利用度 その他の内容

- 区の会議

II 問5-3 市に意見や問い合わせをする際に使用した手段 その他の内容

- 議員へ
- 議員へ提言
- 直接担当者に依頼
- 議員

III 問1-2 塩素消毒の「におい」 その他の内容

- 温めた時、強く感じる時がある
- においは気にならないけど、市の他の人に聞くと水道水が白くついてしまう。それと（市の職員が言ってたけど）圧を勝手にする業者によって私の家の浴槽が土でにごった時があった。

III 問1-3 水道水の飲用 その他の内容

- 湧水を使用
- 山の水使用
- 1.2.4 をその時に応じて
- 数年前に大雨で水がにごって以降、水道水の消毒が強くなったのか、ポット内に白い固形物の付着が多くなりました。水も塩素臭が強くなった気がします。それ以降、飲用水はペットボトル水を使用し、水道水は風呂など生活用水という使い分けをしています。
- 飲用しない

III 問1-4 浄水器等を使用している理由 その他の内容

- 蛇口についているから
- ペットボトルが多く出回っている。昔は直接飲むがおいしく冷たい
- ミネラルウォーターを購入し飲用
- 水道管がさびていて体に良くないから
- システムキッチンについている
- 昔からペットボトルを使っていた
- あるから
- なんとなく
- 集落の末端で、塩素の試薬でかなり赤く染まった

III 問2-2 食品ロスの原因 その他の内容

- 家庭菜園の野菜が食べきれなく処分することがある
- 食べてみたらおいしくなかった
- 漬物が失敗した時
- 家で作ったものが多くて余る
- 子供が残す

- 体調が悪いと料理が出来ず材料が余ってしまう
- 来客の食べ残し
- 自分で作った野菜類の残り
- 農家で作り過ぎ、消化できない
- 食べ残しを忘れ古くなってしまふ
- 食品ロスが発生しないよう努めているが、多少は発生してします。
- 野菜の皮をむくため
- 冷蔵庫保存の仕方、もっと薄型、奥が深くないものが理想

Ⅲ 問2-4 外食等での食品ロス その他の内容

- 子供の食べ残しがあり食べきれなかった
- アレルギーのある食材
- 満腹になったため
- 宴会料理の量が多く食べきれないことが多い
- コロナで外食、宴会はしない
- 持ち帰れない
- 5と違い美味しくなかったため
- 飲む方がメインになってしまうから
- 自分では食品ロスを出さないようにしているが、食品ロスはあると思う
- 宴会で全員の好みや量は違う
- 人によりけり。
- 持ち帰れなかったため
- 子どもが注文したものを食べきれず、親も食べきれなかったとき
- 自分は出た料理はほぼ完食しますが、周りの人は食べきれないので。
- 飲酒がメインで食事に手をつけられない場が多い
- 家での食品ロスだけでなく人が来た時に出さなくてはと思うロス
- お酒の飲みすぎ
- 宴会はほとんど会席のためお料理が出るタイミングが遅かったりして、席を離れてしまふ。みなさんと会話しているとなかなか自分の席に戻ってこれない

Ⅲ 問3-1 人口減への施策 その他の内容

- 豊科地区は人口が増えているように感じます。ただ増やすのではなく、学校などのクラス数は限られているので、堀金や三郷、少ない地域で斡旋したらよいと思います。
- なぜ人口を増やす必要があるのか、なぜ増やす必要がないのか明確にした上で施策する。増えるからいい、減るからダメといった短絡的な施策さえなければいいと思う
- よくわからない
- 大きな会社がない。仕事場が少ない。
- 教育、老後の生活を考えて
- 洗練されたオーラのあるトップに変われば若者も魅力を感じ、地元に残まる
- 子育て支援
- 未満児保育園の充実
- 市役所の年中無休化

- 都市からの移住をすすめる
- 人口が減少するとどうまずいか、分からない。ほどよいくらいを維持できれば？
- わからない

Ⅲ 問3-2 未婚化晩婚化の要因 その他内容

- わかりません
- 親の面倒を見るため(一人っ子の人)
- 富める者のところに富が集中し、貧しいものはいつまでたっても貧しいままと世の中を動かしている、今までの政治自体が一番悪い
- 収入、出会いなど1~4全て
- 個々の考え方によるので、私個人ではわからない
- SNS等スマホがあれば淋しく無い、一人でも楽しい、気楽
- 未婚者にアンケートをする
- 1~5全て
- 1~5全て全て
- 社会的不安要素が多いため
- 雇用形態が不安定で収入も少ない
- 色々な生き方が認められてきたから
- 縁がないから
- 家庭を持って安心できる材料がない。市のサポートが薄い
- 経済的な問題を解決するため仕事の時間が増える
- 未婚・晩婚を問題にしているところが問題
- 高齢者が若年層の働く場をうばい収入がない又は少ないため
- 意識させる人、世話する人が少ないから
- 結婚しない人がいけないという考え方があるからではないでしょうか？それとお金がない若い人も多いのですぐ結婚できない。

Ⅲ 問3-3 宅地需要への考え方 その他の内容

- 不動産の有効利用。売りたい方買いたい方を公募して土地利用の促進を図る
- 農業目的の人は既存集落の近くの方が良いのでは？色々教えてもらえる。あまり周りの人と関わりたくない人は住宅団地の方が良いのでは？ニーズに対応できる対応を
- 意外と住民の方が受け入れ体制が出来ていないように思う。外者を簡単に受け入れられないような地域性
- わからない
- 大規模な商業施設・会社・工場等を誘致し、人口を増やす
- わからない
- 空き家の利用
- 安曇野市が良いと思って住む人たちががっかりさせないこと、市街地など色んな線引きはどうか？

Ⅲ 問3-4 安曇野市の満足度 その他の内容

- 車がないと生活が難しい
- 将来運転ができなくなった時不安
- 明科はどんどん住みづらいところになっている

Ⅲ 問3-5 市への定住意向 その他の内容

- 子供が他県に住んでいるので
- 交通弱者、高齢者に不便を感じさせない行政地なら住んでも良いかも
- 老後は、スーパーなどが近くて便利な所に住みたい
- 運転できなくなったらどこかに行く以外ない
- 持ち家はあるが他地域に別宅があり、移住の可能性はある
- 年なのでどちらでも良い
- 一人暮らしなので
- 年をとった時、温暖な気候の土地に移りたくなるかも
- 住みたいわけではない。住むしかない
- 地域の役が多すぎる
- 市街に出る理由がないので住むであろう
- 高齢になり車に乗れなくなったら移りたいが、不便なく暮らせるようになれば住み続けたい
- 一度市街に出たが戻ってきた
- 車の運転ができなくなり、一人になった時
- 交通の便がもう少し便利だといいいのですが、あづみんは時間が不規則なので目的地で一時間以上待ってました(病院で開院を)
- 戸建ての家に住んでいますが、家の維持管理にかかるコスト(外壁塗装やオール電化機器の買い替え)が高くなると流通の良いところに移住に行きたいと思う(長く住める補助制度が欲しい)
- 出れないだけ

Ⅲ 問3-6 住みたい理由 その他の内容

- 田舎過ぎず都会過ぎず生活しやすい
- 常念岳の見えるところに家を建てたかったから
- 福島県から転勤で安曇野へ移住、空気や水が美味しい
- 常会の中で結び付が良くまとまりがあるので
- 暮らしやすい
- 家族がいるから
- 住みよい
- 災害が少ないから
- 自然災害が少ないから
- 自然が良いから
- 安心、安全な市
- 空気と水がきれい
- 子供の家が近い
- 安曇野の気候・風景・自然の中で生活したいので(長野県外の生まれです)
- 環境がいい
- ほかに住む場所がない
- アルプスをはじめ、自然が美しい

Ⅲ 問3-7 住みたくない理由 その他内容

- 風害に悩まされている
- 住民税が高い、住みづらい、無駄な税金の使用、体育館造るくらいなら住民のために税金を使用して
- 好きで来たところではないから
- 家主が転出し空き家になっていて禽獣の住みかど化しているらしい。通学路の石塀も傾き危険である。市は何もしない、出来ない変わらないので自分達が出ていきたい
- 地元の人(特に高齢の方)が他県出身の嫁に対して冷たいから
- 年をとって車の運転ができなくなった時、医者等どこにも行けなくなるから
- 近所付き合いに不満
- 働く親にとって負担が多すぎる
- 転入時に攻撃を受けたことがある。名前を勝手に使用された。地区の役職が多すぎる
- ゴミ分別が細かい、地域活動が多い等
- 他の市町村の方が子育て世代に優しい
- 閉鎖的
- 近所付き合いが苦手
- 市政が悪いから
- 積極的に住みたい市町村がほかにあるから
- 空気や水が良いはずなのにアスベストなど住民の不安を考えて。あと家があるから移れない。

Ⅲ 問3-4 相談体制 その他の内容

- ①+②が理想
- その家庭により方法が違うと思うので、どちらとも言えない
- 電話でも窓口でも直接対応してくれるのが一番だと思います
- もっと切実なことが私達にはある
- 家族の立場を知り親身になって相談に乗ってくれる人を置いてほしい
- センターのことをよく知らない
- 相談窓口を主体とするが、全く相談のない家庭には積極的に電話をし、在宅訪問も必要に応じてする体制
- いざという時に頼れるところがあるとよいと思います
- 支援の内容がわからず、回答の使用がない
- 土、日、祭日も受け付けてくれる体制、時間外も
- 両方あるとよい
- 1.2 両方
- 支援センターって何?ほかの地域間の関係が分からない

市政全般に関する市民意識調査への協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では平成30年度から「第2次安曇野市総合計画」をスタートさせ、福祉や教育、まちづくり、産業振興など、さまざまな分野の推進、充実に取り組むこととしています。

こうした市の事業や施策の推進に、市民の意見や考えを反映するため、市民意識調査を実施することにいたしました。

この調査は、市内にお住まいの18歳以上（令和3年3月1日時点）の2,000人の皆様を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、是非、ご回答をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年3月 安曇野市長 宮澤 宗弘

<ご記入にあたってのお願い>

- 本調査は無記名でお答えください。調査結果は統計的に処理し、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されることはありませんので、率直なお気持ちをご回答ください。
- 必ず「宛名のご本人」様がお答えいただくようお願いいたします。このため、ご病気等によりご回答いただけない場合は、廃棄等していただいてもかまいません。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、令和3年4月9日(金)までにお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
-

<この調査のお問い合わせ先>

安曇野市 政策部 政策経営課 企画担当

電話：0263-71-2401（直通）※平日の8:30~17:15

FAX：0263-71-5155

Eメール：seisakukeiei@city.azumino.nagano.jp

Ⅰ あなたやご家族のことについて

問1-1 あなたの性別をお答えください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問1-2 あなたの年齢をお答えください。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

問1-3 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業（専業） | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人（常勤） |
| 4. 勤め人（パート・アルバイト、派遣等） | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他（ ） | |

問1-4 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 1. 豊科南穂高 | 2. 豊科光 | 3. 豊科田沢 | 4. 豊科高家 |
| 5. 豊科 | 6. 穂高有明 | 7. 穂高北穂高 | 8. 穂高 |
| 9. 穂高柏原 | 10. 穂高牧 | 11. 三郷明盛 | 12. 三郷温 |
| 13. 三郷小倉 | 14. 堀金烏川 | 15. 堀金三田 | 16. 明科東川手 |
| 17. 明科中川手 | 18. 明科光 | 19. 明科七貴 | 20. 明科南陸郷 |

問1-5 世帯の状況をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし | 3. 二世帯同居（親一子） |
| 4. 三世帯同居（親一子一孫） | 5. その他（ ） | |

問1-6 あなたを含め、同居しているご家族の中に以下の方はおられますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|------------------|------------|-----------------|-----------|
| 1. 65歳以上～74歳以下の方 | 2. 75歳以上の方 | 3. 障害者手帳を持っている方 | |
| 4. 介護認定を受けている方 | | | 5. いずれもない |

II 安曇野市の行政に関すること（総合計画の施策分野ごと）

(1) いきいきと健康に暮らせるまちについて（健康・福祉分野）

あなたは、次の市の取組状況についてどのように感じていますか。

(それぞれ1つに〇)つ

			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
【設問番号】			①	2	3	4	0
健康	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	1	2	3	4	0
	2	地産地消や家族での食事を推進するなど、食育が行われている	1	2	3	4	0
高齢者	3	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	1	2	3	4	0
	4	高齢者が住み慣れた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	1	2	3	4	0
子育て	5	出産・子育てしやすい地域である	1	2	3	4	0

あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。（行動）

(それぞれ1つに〇)つ

【設問番号】			積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
健康	6	日常的な健康づくりをしている（検診・食事・運動・ストレス解消など）	1	2	3	4
	7	食の大切さを理解し、健全な食を実践したり、地産地消を心がけている	1	2	3	4
子育て	8	子育て家庭へのサポートをしている	1	2	3	4

あなたは、次のことを知っていますか。(認知度)

(それぞれ1つに〇)つ

【設問番号】つでも

			知っている	知らない
健康	9	ストレスや悩みを抱えたときに市や各種機関で相談ができること	1	2
	10	安曇野市で歯科口腔保健条例を制定し、市民の歯と口腔の健康づくりに取り組んでいること	1	2
子育て	11	安曇野市の全公立認定こども園が信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度で認定を受けていること	1	2
	12	『男女共同参画』という言葉	1	2

問1-13 外国籍市民に対して、あなたはどう関わりたいですか。(1つに〇)

1. 積極的に話しかけたい 2. 支援団体の活動に参加したい 3. 交流の場を企画したい 4. 関わりたいが、具体的な方法が分からない 5. 積極的に関わりたくない 6. その他 ()

問1-14 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で知っているものはどれですか。

(〇はいくつでも)

1. 健康診査（特定健康診査・がん検診など） 2. 保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など） 3. 子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など） 4. 市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操 5. 健康づくりのための運動・栄養の講座 6. 健康づくり推進員活動

問1-18 あなたは、健康診査（特定健康診査やがん検診など）を受診していますか。（1つに〇）

1. ほぼ毎年受診している（市や勤務先の検診や人間ドック・医療機関などで）
2. 3、4年に1度は受診している
3. ほとんど受診していない
4. 全く受診していない

問1-19 問1-18で「2. 3、4年に1度は受診している」「3. ほとんど受診していない」「4. 全く受診していない」を選んだ方にお伺いします。あなたが、健康診断をほぼ毎年受診しない理由はなんですか。（1つに〇）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 忙しくて時間がない | 2. お金がかかる |
| 3. 治療等で定期受診している | 4. 受診の必要性を感じない |
| 5. その他 | |
| (|) |

問1-20 あなたが、地域で生活するために（地域福祉の推進に）必要だと感じることはなんですか。（〇はいくつでも）

1. 地域の係わりや住民同士の支え合い
 2. 困ったときの相談場所の確保
 3. 地域活動や地域行事への参加（世代間交流）
 4. 要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児等の配慮を要する方）への支援
 5. 生活するうえで必要な福祉に関する情報の取得
 6. その他
- ()

問1-21 市が実施している高齢者福祉事業で、あなたが、知っているものはどれですか。

【①在宅高齢者福祉サービス】（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 配食サービス | 2. 緊急通報サービス |
| 3. 高齢者通院等支援サービス（タクシー券交付） | 4. 軽度生活援助サービス |
| 5. 訪問理美容サービス | 6. 住宅改良の補助・アドバイス |
| 7. 家族介護用品購入助成事業（介護用品購入助成券交付） | 8. 知っているものはない |

【②高齢者の生きがいづくり支援サービス】（○はいくつでも）

- | |
|---|
| 1. 高齢者の生きがい講座支援事業（地域での学習活動を通じ、健康づくり・生きがいづくりを促進する団体への支援） |
| 2. 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業（高齢者が主体的に活動する地区公民館事業への補助） |
| 3. 老人大学講座（仲間づくりをしながら実施する、教養・技能講座） |
| 4. アクティブシニアがんばろう事業（健康増進や介護予防のために健康づくり活動を定期的に行う団体への支援） |
| 5. 知っているものはない |

問1-25 あなたは、今の仕事を辞めたあと、やりたいことはありますか。また、既に辞められている方は、どのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 再雇用等で勤め続ける | 2. 市等の実施する事業へ参加する |
| 3. 個人の趣味を楽しむ | 4. ボランティアなど社会貢献をする |
| 5. 野菜作りやコメ作りなど農業をする | 6. 仲間とサークル活動をする |
| 7. 特にない、わからない | 8. その他 () |

(2) 魅力ある産業を維持・創造するまちについて (観光・農業分野)

問2-1 あなたは、安曇野市の魅力を市外の友人や知人に紹介していますか。(1つに〇)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 積極的に紹介している | 2. まあまあ紹介している |
| 3. あまり紹介していない | 4. 紹介していない |

問2-2 あなたが市外の友人等に誇れる「安曇野市の魅力」は何ですか。(1つに〇)

- | | | | |
|------------|------------|----------|-----------|
| 1. 自然環境 | 2. 人のつながり | 3. 豊かな水 | 4. 働く環境 |
| 5. 生活環境 | 6. 多彩なイベント | 7. 子育て環境 | 8. 災害の少なさ |
| 9. その他 () | | | |

問2-3 あなたが日頃、農産物を購入する際の購入方法を教えてください。

(当てはまる購入方法全てに〇)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 小売店 (スーパーマーケット) | 2. 農産物直売所 |
| 3. 生産者から直接購入 | 4. インターネット注文 |
| 5. 宅配サービスの利用 | 6. その他 () |

問2-4 あなたが農産物を購入する際、重視していることはなんですか。

(特に当てはまるもの3つまで〇)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 価格 | 2. 見た目 |
| 3. 食味・香り | 4. 安全・安心 |
| 5. 鮮度 | 6. 地元 (安曇野市) 産 |
| 7. 生産者情報 | 8. 栽培方法 |
| 9. 旬や季節性 | 10. ブランド性 (産地・品名等) |
| 11. その他 () | |

問2-5 あなたは、日頃、地元産農産物を購入しますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 積極的に購入する | 2. どちらかと言えば購入する |
| 3. 意識して購入することはない | 4. その他 () |

問2-6 あなたが、市内の直売所・加工所に求めることはなんですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 新鮮な地元野菜があること | 2. 値段の安さ |
| 3. 品ぞろえの豊富さ | 4. 家の近くにあること |
| 5. その他 () | |

問2-7 あなたが、利用したことのある直売所・加工所を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. とよしな旬彩市 | 2. Vif 穂高 |
| 3. ほりがね物産センター | 4. 三郷サラダ市 |
| 5. 安曇野スイス村 ハイジの里 | 6. ファーマーズガーデンあかしな |
| 7. 豊科農産物加工交流センター | 8. 穂高農産物加工所 |
| 9. 明科農産物加工交流施設 (えべや) | 10. この中に利用したことのある施設はない |

問2-8 あなたが農村社会(地域)で暮らすうえで、心配なことや不安に感じることはなんですか。

(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 農地の荒廃化 | 2. 景観の悪化 |
| 3. 鳥獣被害の拡大 | 4. 空き家の増加 |
| 5. 交通が不便 | 6. 近所付き合い |
| 7. 買い物をする商業施設が近くにない | 8. 医療施設が近くにない |
| 9. 近所の人と話す機会がない | 10. 災害時の対応 |
| 11. 世代間の乖離 | 12. 伝統的な食文化の衰退 |
| 13. 孤独・孤立 | 14. 特にない |
| 15. その他 () | |

(3) 安全・安心で快適なまちについて（景観・防災・住環境等の分野）

あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。（行動）

（それぞれ1つに〇）

【設問番号】つでも）

		積極的に 取り組ん でいる	まあまあ 取り組ん でいる	あまり 取り組ん でいない	取り組ん でいない	
景観	1	市街地の緑化や美化活動	1	2	3	4
	2	家のまわりの手入れを行うなど、美しい景観を守ること	1	2	3	4
防災	3	地震や台風などの災害への備え	1	2	3	4
	4	地域の自主的な防災活動への参加	1	2	3	4

問3-5 あなたは、市で実施している住宅関係の助成制度について、知っていますか。

また、利用したことがありますか。（それぞれ1つに〇）

		知って いる	知らな い	利用し たこと がある	利用し たこと はない	今後 利用し たい
(記入例)		<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input checked="" type="radio"/> 3
住宅耐震改修促進事業		1	2	1	2	3
住宅用太陽光発電システム設置補助金		1	2	1	2	3
緑化推進記念樹等交付		1	2	1	2	3
生垣設置等補助金		1	2	1	2	3
住宅用雨水貯留施設設置補助金		1	2	1	2	3

問3-6 あなたは、平成23年4月から施行されている「安曇野市の適正な土地利用に関する条例」や、それに基づく「安曇野市土地利用基本計画」を知っていますか。

(1つに〇)

1. 内容まである程度知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容まで知らない
3. 名前すら聞いたことがない

あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。(行動)

(それぞれ1つに○)つ

【設問番号】つでも

			積極的に 取り組ん でいる	まあまあ 取り組ん でいる	あまり 取り組ん でいない	取り組ん でいない
教育	7	地域の子どもの健全育成	1	2	3	4
生涯 学習	8	公民館などで学んだ知識の地域づくりへの還元	1	2	3	4
	9	生涯学習への取組み(過去5年間)	1	2	3	4
交流	10	国際交流イベントへの参加	1	2	3	4

問4-11 あなたは、特色ある学校づくりのため、市では、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 独自の特色ある教育や地域活動 2. 地域との協働による真に開かれた学校づくり 3. 切磋琢磨し個性や能力を高める教育 4. 郷土への愛着や誇りを高める教育 5. 小・中学校の学びが連続的で発展性と魅力がある教育 6. その他 () |
|--|

問4-12 あなたは、ここ2,3年、生涯学習としてどんなものに参加していますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主的な集まりやサークル活動 2. 個人的な趣味の活動 3. 各種団体や企業の講座・講習・教室等 4. 市主催の講座・講習・教室等 5. 自らが主催者側で係わる活動 6. いずれも参加していない 7. その他 () |
|---|

問4-13 あなたは、どの程度の頻度で運動・スポーツ(散歩やウォーキングを含む)をしていますか。(1つに○)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎日 2. 週に3回程度 3. 週に1~2回程度 4. 月に1~3回程度 5. 年に1~3回程度 6. その他 () |
|---|

問4-14 あなたは、安曇野市が、東京2020オリンピック・パラリンピックでオーストリアのカヌーチームのホストタウンとなっていることを知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

現在、市の博物館や資料館等は、旧町村時代の老朽化した建物が多いため、今後のあり方について検討を進めるとともに、テーマを設けた出前展示(コンパクト展示)などで情報発信に努めています。

問4-15 あなたが期待するこれからの安曇野市の博物館の姿はどれですか。(〇はいくつでも)

1. 市民にとって親しみやすく身近な存在で、興味関心を高める企画展示や刊行物、インターネットを通じての情報発信など、教育普及活動に積極的な博物館
2. 未来を担う子どもたちの学びの場となるとともに、市民の生涯学習の拠点となり、郷土への愛着や誇りを高める役割を果たす博物館
3. 活動の透明性(博物館活動の見える化)や利用者の安全性、ユニバーサルデザイン化が実現されている博物館
4. 将来を見通し、自然災害などからの被害を防ぎ、長期にわたった資料の保存と活用が可能な博物館
5. 所蔵資料や伝統行事などの調査・研究を市民とともにやり、それらの価値を明らかにする博物館
6. その他 ()

(5) 広報・広聴について（基本計画推進に当たっての経営方針）

問5-1 あなたの市政情報の入手先として、それぞれの媒体をどの程度利用しているか教えてください。（それぞれ1つに○）

	頻繁に利用	たまに利用	利用しない	知らない
	1	2	3	4
(記入例)				
市報（広報あづみの） ※毎月第3水曜発行	1	2	3	4
市のホームページ	1	2	3	4
区配布の回覧文書	1	2	3	4
市のラジオ番組（あづみ野エフエム）	1	2	3	4
市のツイッター	1	2	3	4
あづみ野テレビ	1	2	3	4
一般の新聞・テレビ・ラジオ	1	2	3	-
一般のウェブサイト（ホームページ）	1	2	3	-
友人・家族からの口コミ	1	2	3	-
その他（ ）	1	2	3	-

問5-2 あなたの市の広報媒体の満足度を教えてください。（それぞれ1つに○）

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
市報（広報あづみの） ※毎月第3水曜発行	1	2	3	4	5
市のホームページ	1	2	3	4	5
市のラジオ番組（あづみ野エフエム）	1	2	3	4	5
市のツイッター	1	2	3	4	5

問5-3 あなたが市に意見や問い合わせをする際、使ったことがある手段は何ですか。
あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 直接来庁 | 2. 電話 |
| 3. 手紙 | 4. ファクス |
| 5. 電子メール | 6. 市ホームページ（お問い合わせフォーム） |
| 7. 市長への提案用紙 | 8. パブリックコメント（意見公募） |
| 9. 区等の団体による調書 | 10. 市民説明会 |
| 11. 問い合わせしたことがない | 12. その他（ ） |

問1-5 あなたは、安曇野市の水道水が地下水であることを知っていましたか。

(安曇野市の水道水は、北アルプスの雪解け水、日量約70万トンの冷涼な地下水を使用しています。)(1つに〇)

1. 知っていた

2. 知らなかった

(2) 食品ロスについて

「食品ロス」とは、本来食べられるにも関わらず廃棄される食品をいい、食品ロスの削減は国際的にも重要な課題となっています。当市においても令和3年3月に「食品ロス削減推進計画」を策定したことから、これに基づき削減のための施策を推進してまいります。

問2-1 あなたの家庭において食品ロスは発生しますか。

1. 発生する

2. 発生しない

問2-2 【問2-1で「1. 発生する」を選んだ方にお伺いします。】食品ロスの発生について、

あなたはどのようなことが原因だったと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 食品を買いすぎ、使い切れずあまってしまったため

2. 食品を買ったが、食べるのを忘れてしまい古くなってしまったため

3. 家に在庫があるのに、不必要なものを買ってしまったため

4. 料理を多く作りすぎ、食べ残してしまったため

5. 期限切れに近い見切り品を買ったが、食べきれなかったため

6. お土産などで食品をいただいたが、食べられなかったため

7 そ の 他
()

問2-3 外食や宴会等において、あなたの周りで食品ロスは発生しますか。

1. 発生する

2. 発生しない

問2-4 【問2-3で「1. 発生する」を選んだ方にお伺いします。】 外食や宴会等における食品ロスの発生に関して、あなたはどのようなことが原因だったと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 少量のメニューが提供されていなかったため
2. 注文時に思っていた量よりも多く出てきてしまったため
3. コース料理などでまとめて注文したが、量が多く食べきれなかったため
4. 接待や宴会の席で積極的に食べにくかったため
5. 味が好みでなかったため
6. お酌に回る時間が主となり、料理に手をつけられなかったため
7. その他 ()

(3) 人口減対策について

問3-1 安曇野市の人口は近年減少に転じていますが、市の施策の今後の望ましい方向性として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに〇)

1. 人口の維持または増加のための施策を積極的に進める
2. 自然の流れにまかせる
3. 人口の減少を前提とした施策展開を図る
4. その他 ()

問3-2 人口減少、少子高齢化が止まらない要因の一つとして、未婚化、晩婚化が進んでいることが考えられますが、あなたは、未婚化、晩婚化の要因は何だと思えますか。(1つに〇)

1. 出会う機会がないから
2. 積極的に結婚しようという意識が減ってきているから
3. 家庭を持つことに経済的な不安があるから
4. 「結婚する、結婚しない」ということに世間のこだわりが少なくなったから
5. 一人で生きていけるから
6. その他 ()

問3-3 人口が減少する中であっても、転入や市内での転居など、今後も一定の宅地需要は見込まれます。安曇野市内における宅地需要について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

1. 主として、既存の市街地や集落の内部またはその周辺部に受け入れる(空き家や低未利用地の活用)
2. 主として、開発に適した農地等に大規模な住宅団地をつくってまとめて受け入れる
3. とくに場所は限定せずに、住宅を建てられる場所に受け入れる
4. その他()

問3-4 あなたは、安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. とても満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. とても不満である | 6. その他() |

問3-5 あなたは、これからも安曇野市に住みたいですか。(1つに○)

1. ずっと住みたい
2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい
3. 他の市町村へ移りたい
4. わからない・その他()

問3-6 【問3-5で、「1. ずっと住みたい」、「2. 一度は市外に出ても将来的には安曇野市に戻って住みたい」を選んだ方にお伺いします。】安曇野市に住みたい理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

1. 両親や祖父母の近くで生活したいから
2. (親などから) 地元で生活するように言われているから
3. 友人がたくさんいるから
4. 生まれ育った場所で、生活に慣れているから
5. 安曇野市の風土や食べ物が好きだから
6. 職場が近いから
7. 持ち家があるから
8. その他()

問3-7 【問3-5で、「3. 他の市町村へ移りたい」を選んだ方にお伺いします。】安曇野市に

住みたくない理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 都会に興味があるから | 2. 買い物などが不便だから |
| 3. 働きたい会社がないから | 4. 街に活気がないから |
| 5. 親と別々に住みたいから | 6. 魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから |
| 7. 通勤・通学が不便だから | 8. 若い世代が少ないから |
| 9. 安曇野市の風土が好きではないから | 10. 冬の生活が大変だから |
| 11. その他 () | |

18歳から39歳までの方につきましては、以上でアンケートは終了となります。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

40歳以上の方につきましては、以下の4問にもお答えください。

(4) 地域包括支援センターについて

問4-1 【40歳以上の方にお伺いします。】あなたは、高齢者の相談窓口である地域包括支援セ

ンターを知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. ほとんど知らない | 4. 全く知らない |

問4-2 【40歳以上の方にお伺いします。】あなたのご家族が地域包括支援センターを利用した

ことはありますか。(1つに○)

- | |
|------------------|
| 1. 利用したことがある |
| 2. 利用したことがない |
| 3. わからない又は覚えていない |

問4-3 【40歳以上の方にお伺いします。】あなたは、地域包括支援センターが身近にあった方

がよいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない |
| 3. どちらでもよい | 4. わからない |

問4-4 【40歳以上の方にお伺いします。】あなたは、あなたのご家族の体力が低下して日常生活

活に支援が必要と感じる状況になったり、介護が必要となった時に、あなたにとって、

相談体制はどのようなかたちが良いと思いますか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 相談窓口を主体とし、近くに相談窓口がある体制 |
| 2. 訪問相談を主体とし、相談窓口は少ないが、電話等で受付を行い在宅訪問する体制 |
| 3. その他 () |

以上でアンケートはすべて終了となります。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。